	No. 22 —	1 基本事務事	業名一商	工振興事務	务	事務事為	業名 商	工会支援事業	Ė		公的関与	7 シ	一ト作成日	平成21:	年6月10日
	部局名	産	業建設	:部	課名	商工観決		主務課長		高	橋弘一	シー	−ト作成者≉		村百合子
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務事			金•負担金•克		車業涯	営方法	1 直			全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管理	理 🔘	6 内部	管理事務・そ	の他	尹未廷	百刀瓜		-部委託		補助等
					展するまちづくり			実施計画					の開始・終		
	総合計画	基本計画(施					<u> </u>	1 該当			17	~ 平	成	年 🔽 期間	間設定なし
		主要施策	(1))商工会の	育成		0	2 非該当		根拠	去令等				
		対象(誰を、 何を)	阿波市商	剪工会											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	賑わいイ	ベント等の実施や地	域でのま	ちづくりを	を担う人材、商	工会の	運営∙活	動を支援し	ます。			
PL		たいのか)	今年度												
AN					ますか。(主なもの	の5つまつ	で)								
N		① 阿波市4词													
	事業の	② 商工会の			きす。										
	活動内容	③ 商工業の													
			環境設備	帯を図ります	0										
		5		1-111											
		指標名	<u> </u>		は指標設定理由	単位		平成 19			平成 20 年		平成 2	21 年度	最終目標
	数値目標 (事業の目的	商工会の会員	数	商工会のをみるため	会員数により発展 か	業者	目標 実績		12 10			1200 992		1200	1200
	及び活動内						目標								
	容の達成度 を測る指標)						実績								
	で活の1月1年/						目標								
	マケボロ	스 됩			ᄉᆗ	± <i>l</i> a	実績	- 弗		·= 4	女 一 弗				印建
	予算費目	会 計	1 1	一般: ² 成 19		款 平成	7 商 20	<u>↓</u> 負 年度決算	· 平月		商工費 21 年度	予算	目	1 商工振	哭
		国庫支出		÷ 灰 R	9 <u> </u>	十八	20	<u> </u>		χ, 2		17 异 0 千円		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
		県支出	金		0 千円			0 TP				0 千円	ı		
		地方			0 千円			0 TP				0 千円	ı		
D	直接事業費	その他特定則			0 千円			0 fr				0 千円	ı		
0		一般財	源		12,800 千円			12,160 千円				0 千円	ı		
		計(A)	777		12,800 千円			12,160 千円				0 千円	ı		
		正職員工数·紀	経費 0	.300 人	1,836 千円	0.310	人	1,897 千円		20 人	-	1 千円	ı		
	人件費(B)	臨時·嘱託暗		/ \	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		- 7	-,	1.32				ı		
		臨時·嘱託工数·		.000 人	0 千円	0.000	人	0 千円	0.00	00 人		0 千円	ı		
	全体事	· 業費(A+B)			14,636 千円			14,057 千円			14,17	1 千円	i		

			チェック項目			一 岁	文評価		_	·次評価の	説明			二次	評価	
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の第 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	実施	O 4	少ない	● 大き	٤٢١		二経営指導 を援してい			0	少ない	大き	٤L١
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められる。	はい。	O 16	はい	ある		団体に補	前助するこ	اع. اعا	より、	\circ	ない	ある	
	性		住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある		○ ₺	ある	○ ない	١		D阿波市商 子与できる			•	ある	○ ない	1
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニー: 上回るサービスとなっている。	ズを) l	いる	● いな	il١	す。	1760		, 6	0	いる	● いな	i()
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない	١,	O 1	いえない	● いえ	.る)各種事業 るが、商			0	いえない	● いえ	.る
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない	١,	O (いえない	● いえ	. ි	数は減り)傾向です	-。時	代に即	0	いえない	● いえ	.る
C	性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。		ं वृ	する	しな	:LN	したサー す。	ビスの提	供が!	必要で	0	する	しな	い
X O M I O		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。		0 7	できない	● でき	·る	9 0				0	できない	● でき	る
K		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。		O E	標に比	べて劣ってし	いる		年4月1日 た中小企			0	目標に比り	「て劣ってし	いる
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。		ා ක	きり上が	がっていない			た中小正を行い補			•	あまり上が	っていない	
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。		〇 概	既ね達成	 えしている		しました。				0	概ね達成り	ている	
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。										0	十分達成	している	
		1.	効果に比べてコストが高い。		〇 淳	高い	● 適当	当		減の観点	から見	直し	0	高い	● 適当	当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。		O 7	できる	○ でき	ない	を検討し	まり 。			•	できる	○ でき	ない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。		O at	ある	○ ない	١					0	ある	● ない	1
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。		○ ₺	ある	○ ない	١	1				•	ある	○ ない	١
			一次評価			Т				二》	欠評個	<u> </u>				
	評値	五点		合評	価		必要性	1	与 効性	達成度	Ę.	効率性	生	総	合評価	
	△ 4	を の	3 4 2 2	<u>B</u> 引委部	£	0	3 拡大∙充	<u> </u> 宝	4	2 ₹維持		<u>2</u> 5法改割	<u> </u>		<u>B</u>]委託等	
A		句性		11 54 11		Č			統合/終			<u> </u>		<u> </u>	一	
C				=				二次		指摘事項				の相違点		
CH-OZ		面の 題	平成21年4月1日に阿波市内4商工会が合併し一本化するにあた会事業が異なるため内容を詳しく吟味し、事務がスムーズに図れることです。			5 ·実	(行計画に) 工業の振興			ださい。 たす役割に	+++	1.1 <i>t-x</i> 5	会併:	を継にそ	の指道∙፣	一一
N	وع ا	草案 実行 画	商工会合併により阿波市商工会本所で内容を検討し、チームワーク いアイデアを出し合い活気ある商工会にすることです。	ク作り	及び新					援に努め			н И	ک ایجرات ک	10 11	-1 /A
		会 事項														

	No. 22 —	2 基本事務事	業名 商工	上振興事務	务	事務事	業名 たじ	ばこ販売組	1合支护		公的関与	7 シ	ート作成日	平成21:	年6月10日
	部局名	産	業建設	-	課名	商工観光	光課	主務認	果長名	Ī	高橋弘一	シー	-卜作成者4		村百合子
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務事			金•負担金		+ + -	軍営方法		営		全部委託
	争未四万	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務		也	主百刀瓜		·部委託		甫助等
					展するまちづくり			実施計	画				の開始・終		
	総合計画	基本計画(施		商業の振			0	- H21-		平成		~ 平	成	羊 🗸 期間	問設定なし
		主要施策	(2)	商業経営	の近代化の促進			2 非該当	<u> </u>	根拠	l法令等				
		対象(誰を、 何を)	阿波市内	消費者・カ	とばこ小売人組合										
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし -	最終的	阿波市内	のたばこ販売店の	振興発展	並びに、	たばこの市	内消費	者の拡大	こ資するこ。	Ł.			
PL			今年度												
AN					ゝますか。(主なも										
N)			事項による売り上げ	げ推進対策	会議の3	支援します。	ı						
	事業の	② たばこ地元	- 購買運	動の推進の	の支援します。										
	活動内容	3													
		4													
		5		- <i>b-b-</i> >		1 3271		T ß	,			<i></i>			
		指標名	1	計算式入	は指標設定理由	単位		半 及	19 年		平成 20		半成 2	21 年度	最終目標
	数値目標	たばこ販売業者	香数	登録される	た販売店数	件	目標 実績			80 92		80 86		80	80
	(事業の目的 及び活動内						<u>夫棋</u> 目標			92		80			
	容の達成度						実績								
	を測る指標)						目標								
							実績								
	予算費目	会 計		一般	会計	款	7 商	工費		項 1	商工費		目	1 商工振	興費
			平	·成 1	9 年度決算	平成	20	年度決	算 :	平成	21 年	度予算		備考	
		国庫支出			0 千円			0	千円			0 千円			
		県 支 出	金		0 千円				千円			0 千円			
	直接事業費	地方	債		0 千円				千円			0 千円			
D	正汉于不兵	その他特定則			0 千円				千円			0 千円			
0		一般財	源		376 千円			350				332 千円			
		計(A)	7曲 0	040	376 千円			350		0.010		332 千円			
	し (4) 悪 (5)	正職員工数·紹		010 人	61 千円	0.020	人	122	十円	0.010 人		63 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職 臨時·嘱託工数·編		000 人	0 m	0.000	I	0	7 m	0.000 人		0 7 7			
	全体事	<u> </u>	生貝 U.	000 人	0 千円 437 千円		<u> </u>	472		0.000 人		0 395 千円			
		1-3-2 (1 1 2			111			

			チェック項目		_	次評価	_	-次評価の		_	次評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	大きい		売業者の販 消費の拡大		○ 少ない	、 ● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	ある		fの喫煙防止 ・安全な社会		○ ない	ある
	女性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	○ ない		・女王は任気 も必要性が		ある	○ ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	0	いる	いない				○ <i>い</i> る	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえなし	ハ ● いえる		たばこ小売。 し販売促進		○ いえな	い ・ いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえなし	ハ ○ いえる	る。また、	たばこの注	意点等喫煙	● いえな	い 〇 いえる
C	性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない	運動のよ	びかけを行	ハます。	○ する	● しない
HE		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できなし	、				○ できな	い
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標に	比べて劣っている	従来に比ます。。	ズ喫煙者は	減少してい	○ 目標に	比べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上	_がっていない	6 9 0 0			● あまり_	上がっていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。		概ね達	 成している				○ 概ね違	を成している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。			成している				〇 十分達	達成している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当		も中元及び、 ります。そ <i>の</i>		○高い	● 適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	● できない	しては、化	健康に対する	安全性等	○ できる	● できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	● ない	を住民に す。	広報等によ	り周知しま	<u></u>	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	● ない				ある	● ない
			一次評価		Т			二次	評価		_
	評値	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	価			有効性	達成度	効率'	性	総合評価
		を の	3 3 2 4 C	千笙		3)拡大・充実	3 │ ○ 現状	 2 犬維持	_ 4 〕方法改	 基	C 民間委託等
		句性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止	- H)縮小 〇	統合/終				人间安心守
A	751	,,	O 1111 O 1110 E 1110 E 1110			- 1111				呼価との相違	皇点
TIO			近年たばこ販売業者が減少傾向にある。禁煙防止を呼びかけつで促進をするという矛盾との共存の難しさがあります。	つ、販		未成年の喫煙					て、周知、理解
N	計	画	講習会、市内でのPRをふやします。		σ)下、たばこ販売	も組合への	の支援を行 	ってください	١,	
		員会 事項									

	No. 22 —	3 基本事務事	業名一商コ	L振興事剂	务	事務事為	業名 業種	赴別重点指導	対策事	業補助金	公的関与	シー	一卜作成日	平成21:	年6月10日
	部局名		業建設		課名	商工観決		主務課		高	橋弘一		-卜作成者:		村百合子
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務事			金•負担金•		車業涯	営方法	」1 直			全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・そ		学 未经	百刀丛		部委託		補助等
					展するまちづくり			実施計画	1				の開始・終		
	総合計画	基本計画(施						1 該当			17 年 ~	~ 平	成 :	年 🛂 期間	間設定なし
		主要施策	(1)	商工会の	育成 二		O	2 非該当		根拠》	去令等				
		対象(誰を、 何を)	阿波市商	五会											
	事業の 対象・目的	目的(どうい)	最終的	小売卸売	業、建設業、製造業	き、サービ	ス業等業	種別に抱える	る問題を	を提起し、	相互の交流に	こよりそ	の対策を検	:討します。	
PL		たいのか)	今年度												
AN					ゝますか。(主なも	の5つまで	で)								
N		0 1			色を支援します。										
	事業の	② 各業種に	よる問題	点を支援し	<i>、</i> ます。										
	活動内容	3													
		4													
		5		I = 1 tete 12		3271				- 1		<u> </u>		<i></i>	
		指標名	1		は指標設定理由	単位		平成 1	9 年度		平成 20 年		半成 2	21 年度	最終目標
	数値目標	業種別講習会	参加数	参加数に る。	より必要性をみ	名	目標			200		200		200	200
	(事業の目的			ବ ତ			実績 目標			140		148			
	及び活動内 容の達成度						日 <u>标</u> 実績								
	を測る指標)			 											
							実績								
	予算費目	会 計		一般:	<u> </u>	款	7 商	 L 費		項 1	商工費		目	1 商工振	興費
			平	成 19		平成	20	年度決算	1 平		21 年度	予算		備考	
		国庫支出	金		0 千円			0 +			() 千円			
		県 支 出	金		0 千円			0 Ŧ	·円		() 千円			
	直接事業費	地 方	債		0 千円			0 T	·円		() 千円			
D	但按爭未負	その他特定則	才 源		0 千円			0 千	·円		() 千円			
0		一 般 財	源		600 千円			570 ∓	·円		542	2 千円			
		計(A)			600 千円			570 千	_		542	2 千円			
		正職員工数·約		010 人	61 千円	0.020	人	122 ∓	円 0.	.010 人	63	子円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職													
		臨時·嘱託工数·編	経費 0.	000 人	0 千円	0.000	人	0 ∓		.000 人		1 千円			
	全体事	業費(A+B)			661 千円			692 千	·PJ		60	千円			

			チェ	ック項目				一次	(評価		_	·次評価の)説明	月		二次	評価	
		1.	市が実施しなくても、公平 主体があり、事業を廃止・				0 4	少ない	● 大き	い		経営指導援してい			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年	度以降実施す	トる緊急性が認	忍められない。	O 10	はい	ある		団体に補	削するこ	ことに	より、	0	ない	•	ある
	性		住民満足度の向上のために、				O a	ある	● ない		県下一 <i>0</i> 性化に著)阿波市			0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの低下がみられ上回るサービスとなってい		目治体と比較し	ノてニーズを -	O 1	いる	● いな	い	す。	1766	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	0.6	0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実現するために	、事業内容が必	がずしも適切とに	まいえない 。	• ı	いえない	いえ	3	商工会の)各種事業			•	いえない	0	いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、旅	西策への貢献度7	が著しく高いと	はいえない。	O 1	いえない	● いえ	3		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			0	いえない	0	いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類	類似・重複した	と事務事業が存	存在する。	O 3	する	しな!	l1	したサー す。	ビスの提	供が	必要で	0	する	0	しない
X O M I O		4.	事業の継続をしても成果の)向上が期待で	できない。		0 7	できない	○ でき	3	9 0				0	できない	0	できる
K		1.	目標設定に対して進捗状況	記が劣っている	ると思う。		0 [標に比ん	べて劣ってい	る		F4月1日(れからの)			0	目標に比り	て劣っ	っている
	達	2.	目標設定に対して成果があ	うまり上がって	こいないと思う	5 。		うまり上が	「っていない		のアイデ	アができま	す。2	20年度	•	あまり上が	っていた	まい
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標	悪を達成してし	いると思う。		〇 相	既ね達成	している			旧町4商 業に有効			0	概ね達成	している	5
		4.	目標設定に対して十分に目	標を達成して	こいると思う。			├分達成			られたと		0.711	100 1		十分達成	している	3
		1.	効果に比べてコストが高い	١,			O #	高い	● 適当	í		減の観点	から.	見直し	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや	新たな制度を	た活用できる。		O 7	できる	○ でき	ない	を検討し	まり。			•	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で	、実施手段等	等を見直す余地	也がある。	O a	<u></u> ある	○ ない		1				•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約方法の変更な	こどによりコス	スト削減の余地	也がある。	O a	<u></u> ある	● ない		1				0	ある	0	ない
				一次評	価							=:	次評	西				
	評値	五点	必要性有効性	達成度	効率性	総合評	価	Ų	必要性	7	与効性	達成原	Ŧ	効率性	生	総	合評	価
	<u></u>	を の	4 3 ○ 拡大·充実 ○ 現∜	<mark> </mark>	<u>2</u> 方法改善	B ○ 民間委詞	千等	0	4 拡大∙充	<u> </u> 宝	3 ○ 現状	2 :維持		<u> 2 </u> 方法改割	É		<u>B</u>]委託	- 生
Λ		句性	○ 縮小 ○ 統合/終		廃止/休止	O EVIHISTI		0	縮小		統合/終			落山/休		O POIE) X II (
A C T			•							二次	評価での	指摘事項	及び	「一次評	価と	の相違点	į	
T-0Z		面の!題	商工業の活動状況が合併す 化のチームワーク作りができ			る効果的な事業	きの活性		・計画に必	いて	進めてくだ	* 11						
N	と写 計	革案 実行 画	景気減退により、又若者の地 エの活性化のアイデア作りを		する気持ちをな	なくすよう、魅力	ある商		」。日四167日	, J C.	E 07 C \/.	C-V-0						_
		員会 事項																

	No. 22 —	4 基本事務事業名	商工振興事務		事務事業名	3 商エ	-振興補助金((青色申告	公的関与	7 シ	一卜作成日	平成21年	₹6月10日
	部局名	産業	建設部	課名	商工観光談	#	主務課長名	呂	高橋弘一	シー	-ト作成者名	西木	有合子
	事業区分	○ 1 ソフト事業		経常的事務事業	集 ● 5	補助釒	È·負担金·支	援事	業運営方法	1 直			部委託
	争未四万	○ 2 ハード事業		施設の維持管理	里 () 6	内部管	管理事務・その)他	K 连 当 刀 仏		·部委託		亅
		基本構想(政策)					実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策)					1 該当	平月		~ 平	成 年	✓ 期間	設定なし
		主要施策	(1)商工会の育	育成		•	2 非該当	根	拠法令等				
		対象(誰を、 何を)	皮市内商工会										
	事業の 対象・目的	目的(どうい 最)う状態にし	終的 青色申告者	めおりまた かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かいまい かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま か	に青色申告	制度の	普及拡大を支	援します。					
PL		たいのか) 今:	年度										
AN		具体的にどのよ ^っ											
N		① 青色申告特別			复式簿記の打	首導							
	事業の	② パソコン用会		指導									
	活動内容	③ 講習会・講演											
		④ 川島税連及び	ド県連、全青色総	連合等の事業への	の参加と協力]							
		5						,		,		,	
		指標名		は指標設定理由	単位	- I=	平成 19		平成 20		平成 21		最終目標
	数値目標	青色申告相談件数	対 相談件数に みる。	より、必要性を		目標		3000		3000		3000	3000
	(事業の目的		07°0°			実績 目標		3214		2893			
	及び活動内 容の達成度					コ <u>(宗</u> 実績							
	を測る指標)					_{天限} 目標							
						口惊							
	予算費目	会 計	一般会	 計		商工	 _ 費	項	1 商工費		目 1	商工振興	祖費
			平成 19	年度決算	平成	20	年度決算	平成		度予算		備考	
		国庫支出金	2	0 千円			0 千円			0 千円			
		県 支 出 金		0 千円			0 千円			0 千円			
	直接事業費	地 方 債		0 千円			0 千円			0 千円			
D	但按书未良	その他特定財源		0 千円			0 千円			0 千円			
0		一般財源	Į	260 千円			244 千円			232 千円			
		計(A)		260 千円			244 千円			232 千円			
		正職員工数·経費	0.010 人	61 千円	0.020 人		122 千円	0.010	人	63 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職種											
	A /L = 3	臨時·嘱託工数·経費	0.000 人	0 千円	0.000 人		0 千円	0.000		0 千円			
	全体争员	業費(A+B)		321 千円			366 千円			295 千円			

			チェック項目		一次	評価		-次評価の				二次	評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	〇 少	ない	大きい	阿波市内 成の相談	i中小企業 &、合わせ ⁻	者の て企業	指導・育 業経営の	0	少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	な!	い	ある		全な発展を	へ図る	ることを	0	ない	ある
	女性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	ある	3	○ ない	日的とし	ています。			•	ある	○ ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	O 1/2	3	● いない					0	いる	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	O 112	えない	いえる		特別控除 の完全複:			0	いえない	● いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	O 11	えない	● いえる	などによ	り、中小企			0	いえない	いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	3	● しない	をくい止る	めます。			0	する	● しない
CHECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	でき	きない	⊙ できる					0	できない	● できる
K		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	〇 目	標に比り	べて劣っている		講演会の開 知識を取得			0	目標に比り	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<u></u>	まり上が	っていない	ができま		.] O 1L		0 1	あまり上が	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概	ね達成	している					• ;	概ね達成	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	O +:	分達成	している					O .	十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	〇高	(1	● 適当		産催の研修			0	高い	● 適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	でき	きる	● できない	決算書·	確定申告記	≛•消	費税申	0	できる	● できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<u></u> ත්	3	● ない	■告・源泉・ 果性は高	事務指導等 いです。	手にお	いて効	0	ある	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	ある	3	○ ない					•	ある	○ ない
			一次評価				•		次評	-			
	評値	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評 3 4 3 3 A	価	ý.	必要性 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	有効性 4	達成月	支	<u> </u>	生	総	合評価
	今往	を の	3 4 3 3 A A ○ 拡大・充実 ○ 現状維持 ● 方法改善 ○ 民間委託		0	<u></u>		」 3 犬維持	<u> </u>	<u> </u>	<u></u>	民間	_ <u>A</u> Ī委託等
A		句性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止		_	縮小	統合/終			廃止/休			
ACT						二次	マ評価での)指摘事項	真及で	バー次評	価との	り相違点	į
			平成21年4月1日に阿波市内4商工会が合併します。、合併により、専門が必要な青色申告相談事務がスムーズにはかれるよう支援することです			〔会と連携し、 [∙]	青色申告 <i>0</i>	の普及、啓	発に	努めてくた	ごさい 。		
N	وع	革案 実行 ·画	阿波市4商工会で内容を検討し、チームワーク作り及び、新しいアイデア い活気ある商工会になることです。	を出し台	実行	計画に沿って	進めてくた	さい。					
	委員指摘	員会 事項											

	No. 22 —	5 基本事務事						₽小企業の経営	支援事務	公的関与	7 シ	一卜作成日	平成21年	₹6月10日
	部局名		E業建設	-	課名	商工額		主務課長		高橋弘一		ート作成者名		寸百合子
	事業区分	① 1 ソフト를			3 経常的事務			助金・負担金・ 支		業運営方法	✓ 1 値			҈部委託
	尹未囚刀	○ 2 ハード			4 施設の維持) 6 内部	部管理事務・その	D他 ^{事,}	未连舌刀広		-部委託		亅
					展するまちづく	IJ		実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施						○ 1 該当	平月		~ 平	·成 年	☑ 期間	設定なし
		主要施策	(1)	商工会 σ	育成		(● 2 非該当	根	.拠法令等				
		対象(誰を、 何を)	中小企業	 養者										
		目的(どういう状態にし	最終的		者であって、社: れるものの支援		的環境の)要因により、経済	F状態が一	定の要件に記	核当し、長期	朝的にその業績	重が回復し	,発展すること
PLAZ		たいのか)	今年度	中小企業としての下	が信用保証協会 市の認定事務の	会の信用保 支援	!証を別枠	で受けるために	必要な中小	企業信用保	険法第2条	第4項各号に	基づく特定	中小企業者
A					ゝますか。(主な									
N		① 特定中小	企業者0	り申請書を	申請者本人、ま	たは代理ノ	しが持参し	し、市としては審査	፟ዸ∙認定を行	テっています。				
	事業の	2												
	活動内容	3												
		4												
		5												
		指標名	各	計算式又	(は指標設定理	由単位		平成 19		平成 20		平成 21		最終目標
	数値目標	認定件数		国の認定	事務	件数	目標		20		100		100	0
	(事業の目的						美科		17		119			
	及び活動内 容の達成度						目標							
	を測る指標)						実績							
							目標実績							
	予算費目	会 計			스 計			<u>引</u> 有工費	項	1 商工費		目 1	商工振興	日春
) 77 X L	Д	耳		9 年度決算		•	年度決算	平成		度予算		備考	<u> </u>
		国庫支出			0 =			7 千円	1 //4		87 千円		1010 - 2	
		県 支 出				f円		0 千円			0 千円	1		
		地方	債			f円		0 千円			0 千円	1		
D O	直接事業費	その他特定則	財源		0 =	F円		0 千円			0 千円	1		
0		一 般 財	源		0 =	F円		0 千円			0 千円	1		
		計(A)			0 =	f用		7 千円			87 千円	1		
		正職員工数·	経費 0.	.300 人	1,836	F円 0.310	0 人	1,897 千円	0.310	人 1	. <mark>948</mark> 千円	1		
	人件費(B)	臨時·嘱託職	战種]		
		臨時·嘱託工数·	経費 0	人 000.	0 =		0 人	0 千円	0.000		0 千円			
	全体事業	業費(A+B)			1,836	f円		1,904 千円		2	.035 千円			

			チェック項目		— <u>></u>	欠評価	一次評価の説明	二次	:評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	大きい	中小企業者が必要とする資金調 達の円滑化及び経営基盤の安	○ 少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	ある	定化に寄与しています。	○ ない	ある
	性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	● ない		<u></u>	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	0	いる	● いない		ાગ્ઢ	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえない	ヽ ● いえる	金融機関の信用性が比較的低 い中小企業にとつては、徳島信	○ いえない	● いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえない	○ いえる	用保証協会の保証がつくことに	○ いえない	いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない	より、融資が簡単に受けられ、中 小企業を支援する事業としては	する	● しない
CHEC		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できない	○ できる	有効です。	○ できない	● できる
K		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標にと	とべて劣っている	平成20年度は、119件の申請 があり、事務処理を円滑に支援	○ 目標に比/	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。		あまり上:	がっていない	できました。	○ あまり上が	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。		概ね達成	 或している		● 概ね達成し	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。			成している		○ 十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当	職員が申込書の審査を行ったう えで、借入者の聞取り調査を行	○ 高い	● 適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	● できない	うため事務が複雑化している。し	○ できる	● できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	● ない	かし、市内業者なので市の職員 が審査するのが支援事務として	<u></u>	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	● ない	円滑に進み望ましいです。	<u></u>	● ない
			一次評価				二次評価		
	評値	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合語	7価			有効性 達成度 効率性	生 総	合評価
	今往	多の	4	迁等	С	4 〕拡大∙充実	4	<u> </u>	_A 引委託等
Δ		句性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止 ——	-			統合/終期設定 ○ 廃止/休		15401
AC						二次	(評価での指摘事項及び一次評	価との相違点	į
TIO			認定業種も拡大され、書類審査時の業種が事実の主業種か副業種かた にくいです。	が分か	中		は厳しい状況であり、引き続き事業	- 推進は必要で ⁻	す。
N	と多	革案 実行 ·画	市の広報誌等に制度概要及び申請書の記載例等を掲載し、事務処理の を図ります。	の迅速	化	行計画に沿って	進めてください。		
		員会 事項							

	No. 22 —	6 基本事務事業	名 商工排	長興事	務	=	事務事業	名 企業	美立地推進事	業		公的関	与 7	シート化	F成日	平成21:	年6月10日
	部局名	産業	業建設部		課名	Ē	 百工観光	課	主務課長	名	Ę	- 橋弘一	-	シート作	成者名	西	村百合子
	事業区分	● 1 ソフト事			3 経常的事務				金・負担金・支		車業点	運営方法		直営			全部委託
	尹未四刀	○ 2 ハード事			4 施設の維持		! O 6	内部管	管理事務・そ(の他	学 未足	生名刀及		2 一部委			甫助等
		基本構想(政策				くり			実施計画				事	業の開	始∙終了	7	
	総合計画	基本計画(施策						O	1 該当		平成	17 <u>左</u>	₹~	平成	年	✓ 期間	間設定なし
		主要施策	(1)商	工会の)育成			0	2 非該当		根拠	法令等					
		対象(誰を、 何を)	たに立地	を検討	する企業												
		目的(どうい 量う状態にし	是終的 企	:業立地	の促進(市の流	舌力の	向上、地均	或経済 <i>0</i>)活性化、雇用	促進)	につな	げます。					
PLAN		たいのか) 4	今年度														
A		具体的にどの。			いますか。(主	なもの	5つまで)									
N		① 工業団地・1															
	事業の	② 企業訪問に															
	活動内容	③ パンフレット	·作成、広	報誌の	掲載でPR												
		4															
		5	1-	1 to 10 =	_ , , ,	m 1 I	*** / 1		— —	- -		— -	<i>-</i> -		12	<i>-</i> -	
		指標名			スは指標設定理		単位		平成 19	牛皮		平成 2	0 年度		成 21		最終目標。
	数値目標	企業立地数	立 る	地数に	:より有効性を∂	*	社 -	目標 実績			3			0		3	3
	(事業の目的 及び活動内		9	0				<u>夫棋</u> 目標			U			0			
	容の達成度							実績									
	を測る指標)							<u>天順</u> 目標									
								実績									
	予算費目	会 計	<u> </u>	一般	会計		款	7 商コ	- - -費]	項 1	商工	ŧ		目 1	商工振	興費
		<u> </u>	平成	, 1	9 年度決	算	平成	20	年度決算	平月		21	年度予算			備考	
		国庫支出:	金		0	千円			0 千円				0 Ŧ	-円			4
			金		0	千円			0 千円	I			0 Ŧ	-円			
	直接事業費		債		0	千円			0 千円	l			0 Ŧ	-円			
D	但汉于木具	その他特定財			0	千円			0 千円	I			0 Ŧ	-円			
0			源			千円			0 千円				0 =				
		計(A)				千円			0 千円				0 =				
	L 1/1 =# /= >	正職員工数·経		0 人	734	千円	0.130		795 千円	0.12	20 人		<mark>754</mark> ∓	-円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職科		o '			0.000										
		臨時·嘱託工数·経	:質 0.00	0 人		千円	0.000		0 千円		00 人		0 =				
	王 作 争 差	業費(A+B)			734	千円			795 千円				<mark>754</mark> ∓	-H			

			チェック項目		一次	マ評価	一次評価の説明	二次	評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0 4	少ない	● 大きい	景気減退により立地は思うよう にいってません。西長峰工業団	○ 少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	O 1	ない	ある	地も3区画県営ではありますが	○ ない	ある
	性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	O 8	ある	○ ない	残っています。しかし、阿波市内 活性化のためには、根気強くPR	ある	○ ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	Ο ι	いる	いない	していく必要性があります。	○ いる	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	Ο ι	ハえない	● いえる	企業に対しても、会社等の訪問 を行い、各担当者と良好な関係	○ いえない	● いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	Ο ι	ハえない	● いえる	を築くことができました。	○ いえない	● いえる
CH	性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0 3	する	● しない		○ する	● しない
E		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0 7	できない	● できる		○ できない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	O E	目標に比	べて劣っている	企業者からの相談のほか工業 団地の総会に出席し、よりよい	○ 目標に比/	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	O at	あまり上か	がっていない	情報収集ができました。	● あまり上が	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	〇 相	既ね達成			○ 概ね達成し	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	0 +	十分達成			○ 十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	O #	高い	● 適当	企業の現状を把握するのには必 要性が高です。	○高い	● 適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0 7	できる	○ できない	安住が同じり。	● できる	○ できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	O d	 ある	○ ない		ある	○ ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	O a	<u></u> ある	● ない		<u></u>	● ない
			一次評価				二次評価		
	評値	五点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	価	į		有効性 達成度 効率 l	生総	合評価
	今後	を の	3 4 1 2 B ○ 拡大·充実 ○ 現状維持 ● 方法改善 ○ 民間委詞	 £等	0	3 拡大·充実	4 2 2 ┃○ 現状維持 ┃⑥ 方法改割	<u> </u>	_ <u>B</u>
A		句性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止	<u> </u>	O		統合/終期設定 ○ 廃止/休		
C						二次	評価での指摘事項及び一次評	価との相違点	
T		画の 題	企業立地の促進と工業団地の不法投棄の防止です。						
0						∼演進Ⅰ 企業で	Σ地の推進に努めてください。		
N	と多	草案 実行 画	企業誘致に促進に向けた条件設備をするのと、環境安全のための不法 止看板を設置します。	投棄防					
	委員	日 員会 事項							

	No. 22 —	7 基本事務事業		長興事務					業振興資金等					ノート作成し		21年6	3月10日
	部局名		美建設部		課名	商工	観光課		主務課長	名	高	橋弘一		一ト作成者			百合子
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務				È·負担金·支		李浬	営方法		直営		3 全部	
	争未区力	○ 2 ハード事			4 施設の維持		O 6 P	内部管	管理事務・その	D他 ³	木迁	百刀瓜		一部委託		4 補助	力等
		基本構想(政策				IJ			実施計画					業の開始・網			
	総合計画	基本計画(施策							1 該当		F成	17 年	~ ₹	P成	年 🗸	期間部	定なし
		主要施策	(1)商	工会の	育成			•	2 非該当		根拠》	去令等					
		対象(誰を、 何を)	波市商工	会加入	中小企業者												
	事業の 対象・目的	目的(どうい 最う状態にし	長終的 中	小企業	者の融資の利係	更性を図り)、経営	基盤の)安定化を促進	します。							
PLAN		たいのか) 4	6年度														
A		具体的にどのよ					まで)										
N		① 阿波市商工															
	事業の	② 商工会・中/				t。											
	活動内容	③ 商工業・中/	小企業者の	の経営を	支援します。												
		4															
		5	I=			111 22 1				左击	1 -	T	<i>F</i>	1	- <i>-</i> -		
		指標名			は指標設定理			1 +##	平成 19			平成 20			21 年度		最終目標
	数値目標 (事業の目的	利子補給件数			件数により経済 性をみる。	·文 件	美	標 		1: 1:			16 16			10	0
	及び活動内 容の達成度] 標 €績								_	
	を測る指標)							₹積 <u></u>]標			+					_	
								1 信 €績			+			_		\rightarrow	
	予算費目	会 計		一般:	 会計			商工	 _ 費	項	1	商工費		目	1 商工	振興	<u></u>
			平成					20	年度決算	平成	2		度予算			考	
		国庫支出:	金		0 +	-円			0 千円				0 千円	3			
		県 支 出 :	金		0 Ŧ	-円			0 千円				0 千円	3			
	直接事業費		責		0 1	-円			0 千円				0 千円	3			
DO	但按书未良	その他特定財活			0 Ŧ				0 千円				0 千円				
0			源		39 ∓				55 千円				100 千円				
		計(A)			39 =				55 千円				<mark>100</mark> 千円	_			
	1 /ul ==== /= :	正職員工数·経		0 人	61 T	-円 0.0	20 人		122 千円	0.010	人		63 千円	3			
	人件費(B)	臨時·嘱託職科		0 1 1			00			0.000			0				
	△/★車÷	臨時·嘱託工数·経	實 0.00	0 人	0 7		00 人		0 千円	0.000	人		0 千円				
	王仲争	業費(A+B)			100 T	-H			177 千円				<mark>163</mark> 千円	1			

			チェック項目		_	-次評価		_	·次評価の	説明		二次	:評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少なし		大きい	中小企業	者が必要は	とする資金		○ 少ない	● 大きい
	必	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	● ₹	53	に必要で	す。		(○ ない	ある
	要性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	O ta	えい	1			(ある	○ ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	• 1	ない				(○ เงอ	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえな	in O i	いえる		入者に対す 怪営支援に			○ いえない	● いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえな	(1) O (いえる	МДСО С1		- H 201 C 7 (○ いえない	いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	⊙ L	ない				(つ する	● しない
CHECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できな	い O て	できる				(○ できない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標に	比べて劣って	ている		∓度は、16 しました。	件の利子	補(目標に比っ	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり.	上がっていなり	l1	和で又扱	しました。			う あまり上が	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	0	概ね道	を成している					(● 概ね達成	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	0		産成している						十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 通	 当		の連携、活 果性が高い		援(○ 高い	● 適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	O 7	できない		木はか、同り		(○ できる	● できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	O ta	すい				(ある	○ ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	● t _o	ټار،	1			(● ない
	Т		一次評価		T				二》	欠評価			
	評値	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合詞	価		必要性	7	有効性	達成度	効	率性	総	合評価
			3 3 3 C C C C C C C	イ 左 生		<u>3</u>	大中	4 │ ○ 現状	<u>3</u> に維持	 ● 方法i	<u>3</u>		_ A 引委託等
		多の 句性		1寸		 拡大・ 縮小	兀夫	<u>□ 現1</u> 統合/終		○ 万运			可安武寺
A	731	311				<u> </u>	$\overline{}$			_		ことの相違点	į
ACTION		面の !題	中小起業者に対して支払利子の10%の補助を行っています。しかし、そが払えない業者がありました。景気減退による歯止めをどのようにするたれからの課題です。		ت ا		への支援	制度は必	要です。成	津の向上	が期	待出来ないね	
N	وع	革案 実行 ·画	阿波市4商工会で景気減退の貸し付け対策を検討し、チームワーク作り を出し合い活気ある商工業者になることです。	アイ・	デア	か、成果が	上がる:	方策はない	いか検討し	てみてくだ	さい。		
		員会 事項											

	No. 22 —	8 基本事務事業						麻植広域商工業振					7成21年6月10日
	部局名	産	業建設部	形	課名	商工観		主務課長		高橋弘一		−ト作成者名┃	西村百合子
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務等			金·負担金·支		業運営方法	1 直		3 全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管		6 内部	管理事務・その)他	未连占刀仏		- × + 0	✓ 4 補助等
					展するまちづくり	J		実施計画				の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施策					0			成 17 <mark>年</mark>	~ 平	·成年[✓ 期間設定なし
		主要施策	(1)	商工会の	育成		O	2 非該当	相	製拠法令等			
		対象(誰を、 何を)	可波麻植	地区広域	商工会								
	事業の 対象・目的	目的(どうい)	最終的	阿波市・書	5野川市の阿波麻	末植地区広	域の地域	事業所の連携を	をし、活性	化・商工振興を	図ること	です。	
PLAN		たいのか)	今年度										
A					vますか。(主な -	もの5つま	で)						
N		① 協議会の選											
	事業の	② 商工業の選											
	活動内容)	收善普及	事業の推	進を支援します。								
		4											
		5		=1 //ct					<i>F</i> - C -		<i>F</i>	T. C	
		指標名		計昇式又	は指標設定理の	自 単位	ㅁ墲	平成 19	午	平成 20	午 区	平成 21 年	F度 最終目標
	数値目標			数值設定	になじまない。		目標 実績						
	(事業の目的 及び活動内					+	目標						
	容の達成度						実績						
	を測る指標)						目標						
							実績						
	予算費目	会 計		一般	会計	款	7 商	L費	項	7 商工費		目 1 階	5工振興費
			平	成 19	9 年度決算	平成	20	年度決算	平成	21 年	度予算		備考
		国庫支出	金		0 f 1	円		0 千円			0 千円		
		県 支 出	金		0 千日	円		0 千円			0 千円		
	直接事業費	地 方	債		0 千日			0 千円			0 千円]	
DO	但以于不負	その他特定財			0 f l			0 千円			0 千円]	
O			源		360 ∓1			360 千円			360 千円		
		計(A)	, #		360 ∓I	_		360 千円	0.01.5		360 千円		
	1 /4 弗 / 6 \	正職員工数·経		10 人	61 千F	円 0.020	人	122 千円	0.010	人	63 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職		100 1	0	T 0.000		0	0.000		0 -		
	全休車:	臨時·嘱託工数·約 業費(A+B)	±負 U.U	000 人	0 千F 421 千F		<u> </u>	0 千円 482 千円	0.000		0 123 千円	-	
	土件事	未貝(ATD)			421 TI	7		402 十円			1 23 十円		

			チェック項目		— <u>;</u>	欠評価	一次評価の説明	二次	評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	● 大きい	商工団体に補助することにより商工会活性化に寄与してい	○ 少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	ある	ます。	○ ない	ある
	性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	○ ない		ある	○ ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	● いない		○ いる	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	•	いえない	○ いえる	商工会の会員数が減少傾向 です。時代に即したサービス	いえない	○ いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえない	○ いえる	の提供が必要です。	○ いえない	● いえる
C	性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない		する	● しない
CHEC		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できない	○ できる		○ できない	● できる
K		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標によ	比べて劣っている	商工活性化するにあたり、補 助することにより景気減退をく	○ 目標に比/	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上	がっていない	いとめる事ができます。	○ あまり上が	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	0	概ね達用	 或している		● 概ね達成	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	•	十分達	成している		○ 十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当	景気減退により、商工業の活	○高い	● 適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	○ できない	性化のため補助の効果性は 高いです。	○ できる	● できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	● ない	1	<u></u>	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	● ない		<u></u>	● ない
			一次評価				二次評価		
	評化	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合語	[価				生 総	合評価
	今往	多の	3	托等		3 〕拡大∙充実		<u> </u>	<u>_C</u>]委託等
A		句性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止	_			統合/終期設定 ○ 廃止/休		
C						二次	評価での指摘事項及び一次評	価との相違点	į
ACT-O		面の思題	阿波市・吉野川市の相互の連携を図ることです。				両市の連携は必要です。阿波r		
N	وع ا	革案 実行 ·画	阿波麻植地区商工会広域連携協議会をなお一層の統一をするこ	とです		向であり、協議	会も組織形態、事業内容の見	直しが必要で	す。
		員会 第事項							

	No. 22 —	9 基本事務事	業名一商	工振興事務	务	事務事為	業名 どた	より夏まつり事			公的関与 8	シー	一卜作成日	平成21	年6月10日
	部局名	卢	[業建設	部	課名	商工観決		主務課長		高	橋弘一	シー	-卜作成者名		·佐賢二
	事業区分	○ 1 ソフト?			3 経常的事務事	業 ①	5 補助:	金•負担金•ラ	支援 。	李温	営方法	1 直			全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・そ	の他	木连	・苦ガム		部委託		甫助等
					展するまちづくり			実施計画					の開始・終		
	総合計画	基本計画(施					<u> </u>	1 該当		F成	17 年 ~	,		年 🛂 期間	間設定なし
		主要施策	(3))祭り・イベ	ントの活用		0	2 非該当		根拠流	去令等 阿	波市補助	助金交付規	則	
		対象(誰を、 何を)	市民												
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	地域の夏	まつりとして「どなり	夏まつり」	を開催す	てることにより、	地域の活	性化を	上図ります。				
PL		たいのか)	今年度												
AN					ゝますか。(主なも	の5つま	で)								
N		① たらいうと													
	事業の	② ダム周辺													
	活動内容	③ ブラックバ	バス釣り大	会											
		4													
		5		I - 1 tele 12							_			<i></i>	
		指標名	Š .		は指標設定理由	単位		平成 19			平成 20 年		半成 2	21 年度	最終目標
	数値目標 (事業の目的	イベント参加者	首数	イベントのするため)参加者数を確認	人	目標 実績		100 80			1000 800		1000	1000
	及び活動内 容の達成度						目標			-					
	を測る指標)			-			実績			+		-			
							目標 実績								
	予算費目	숲 計		一般:	 会計	款	7 商	上費	項	1	商工費		目	1 商工振り	興費
			ㅋ	Z 成 19	9 年度決算	平成	20	年度決算	平成	2	1 年度	予算		備考	
		国庫支出	│ 金		0 千円			0 千円	3		0	千円			
		県 支 出	金		0 千円			0 千円	3		0	千円			
	直接事業費	地 方	債		0 千円			0 千円	3		0	千円			
D	但该于未具	その他特定原			0 千円			0 千円	3			千円			
0		一 般 財	源		680 千円			646 千円				千円			
		計(A)			680 千円			646 千円				千円			
		正職員工数:		.010 人	61 千円	0.020	人	122 千円	0.020	人	126	千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職													
	A /L==	臨時·嘱託工数·	経費 0	.000 人	0 千円	0.000	人	0 千円		人		千円			
	全体事	業費(A+B)			741 千円			768 千円	3		740	千円			

				J	エック項					— ;	次評価		-	-次評価の	の説り	明		二次	評価	
		1.					が確保できる等 影響は大きくな		0	少ない	•	大きい		まつり事業 阿波市の			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、グ	7年度以降	実施す	する緊急性が認	忍められない。	0	ない	•	ある	産物の「対対の関係を	たらいうど	ん」を	PRする	0	ない	0	ある
	性	3.	住民満足度の「	句上のために	、現在の	段、カ	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない	刈未がめ	りかまり。			0	ある	0	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサーb			近隣目	自治体と比較し	_ン てニーズを	0	いる	•	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するため	に、事業の	容が必	必ずしも適切とい	はいえない。	0	いえなし	,	いえる		まつり事業 也域の活性			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、	施策への	貢献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	, 0	いえる	が出来ま		_ 10 0		0	いえない	0	いえる
CH	効性	3.	市が実施する	る施策の中で	·類似 • 重	複し <i>†</i>	と事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない					0	する	•	しない
E		4.	事業の継続を	をしても成界	見の向上か	期待で	できない。		0	できなし	O	できる					0	できない	0	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗な	だ況が劣っ	ている	ると思う。		0	目標に	比べて劣っ	っている		まつり事業 也域の活性			0	目標に比	べて劣・	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果が	「あまり」	がって	ていないと思う	ō 。	0	あまり上	がっていた	まい	した。	.C->,077 <u> </u>	L 10/3	2106	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成	してし	ハると思う。		0	概ね達	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5					0	概ね達成	している	3
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を遺	成して	ていると思う。		0	十分達	成している	3					0	十分達成	してい	3
		1.	効果に比べて	てコストが高	らい。				0	高い	•	適当)額(前年度 とととしてという。			0	高い	0	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウ	つや新たな	制度で	を活用できる。		0	できる		できない	り夏まつ	り事業の補	甫助슄	きとしては	0	できる	0	できない
	性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係	で、実施	手段等	等を見直す余均	也がある。	0	ある	•	ない	効率的で	あると考え	え より	0	•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	的方法の変更	などによ	りコス	スト削減の余均	也がある。	0	ある	0	ない					0	ある	0	ない
				į.		一次評									次評					
	評値	西点	必要性 4	有効性	達用		効率性	総合評	[価		必要性	E 7	有効性	達成		効率性	生	総	合評	価
	今後	多の	4 ○ 拡大·充	<mark> 3</mark> ○ 3		<u> </u>	<u> 2 </u>	B ○ 民間委託	迁等			<u>_</u> • 充実	3 │ ○ 現∜	<u>3</u> 犬維持		<u></u> 方法改善	Ė		B l委語	f.等
Δ		句性			終期設定								統合/終			廃止/休				
C				•		-						二次	ζ評価でσ)指摘事项	頁及7	ゾー次評	価と	の相違点	į	
TIO		面の思題	どなり夏まつり	り事業の内容	ドがマンネ	リ化して	ている傾向にあ	ります。		_	(仕た 掛	一年一八	野仏組みん	D模索、マ	いえ!	ルの紹治	4生	内容绘制	おいぶ	亜です
N	と多	革案 実行 ·画	関係団体と協 つり)の開催を			特色が	[、] PRできるイベ	ント(例 たらし	ゝうど		N C IXI	- ₄₀₁ C 0 ·	4人・ノ 小丘 0 下 0	/ 大水、、	<i>-</i> -1 · ·	ノ (ロマノガギ ル	7 17 (ני אלי בדיני	ינשפי 13	× (7 o
		員会 j事項																		

	No. 22 —	10 基本事務事	業名商	L振興事務	务	事務事為	業名 阿法	皮市納涼祭事	業		公的関与 8	シー	卜作成日	平成21	年6月10日
	部局名	産	業建設	部	課名	商工観決		主務課長		高	橋弘一	シート	·作成者名		·佐賢二
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務事			金•負担金•叏		李浬	営方法 🖳	1 直営			全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その	の他 ^す	木连		2 一音			甫助等
					展するまちづくり			実施計画					開始•終		
	総合計画	基本計画(施					<u> </u>	1 該当		F成	17 年 ~	平成	左	₹ ☑ 期間	間設定なし
		主要施策	(3)	祭り・イベ	ントの活用		0	2 非該当	;	根拠為	去令等 阿波	市補助	金交付規	.則	
		対象(誰を、 何を)	市民												
	事業の 対象・目的	目的(どうい) う状態にし	最終的	地域の夏	まつりとして「阿波で	市納涼祭 」	を開催す	ることにより、	地域の活	性化を	と図ります。				
PL		たいのか)	今年度												
AN				舌動を行い	ゝますか。(主なも	の5つまつ	で)								
N		① 阿波おど													
	事業の	② キャラクタ	!ーショー												
	活動内容	3													
		4													
		5	•	1=1 <i>b</i> c=1:=		25/ / [b	-			T - L		
		指標名	<u> </u>		は指標設定理由	単位		平成 19			平成 20 年度		平成 2		最終目標
	数値目標 (事業の目的	イベント参加者	ó数	イベントの するため	参加者数を確認	人	目標 実績		4000 3300			300		2000	2000
	及び活動内 容の達成度						目標								
	谷の達成度 を測る指標)						実績								
							目標 実績								
	予算費目	会 計		一般:	 会計	款	7 商	 L費	項	1	商工費			1 商工振り	興費
			<u> </u>	成 19		平成	20	年度決算	平成	2		算		備考	727
		国庫支出	金		0 千円			0 千円			0	千円			
		県 支 出	金		0 千円			0 千円			0	千円			
	直接事業費	地 方	債		0 千円			0 千円	1		0	千円			
D	但按爭未貝	その他特定則	オ源		0 千円			0 千円			0	千円			
0		一般財	源		850 千円			807 千円			767	千円			
		計(A)			850 千円			807 千円			767	千円			
		正職員工数·絲		010 人	61 千円	0.020	人	122 千円	0.020	人	126	千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職													
		臨時·嘱託工数·	経費 0.	000 人	0 千円	0.000	人	0 千円		人		千円			
	全体事	業費(A+B)			911 千円			929 千円			893	千円			

			チェック項目		—;	欠評価	_	次評価の説	说明	二次	マ評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	大きい	阿波市納	涼祭事業を実 すをPRする郊	実施するこ	○ 少ない	● 大きい
	必	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	ある	ます。			○ ない	ある
	要性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	○ ない	1			೦ ಹಕ	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	0	いる	● いない				○ <i>い</i> る	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえない	○ いえる		涼祭事業を閉 域の活性化		○ いえない	● いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえない	○ いえる	が出来ま		C M O C C	いえない	○ いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない				○ する	● しない
STECX		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できない	○ できる				○ できない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標によ	とべて劣っている		涼祭事業を閉 域の活性化		○ 目標に比	べて劣っている
	達成	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上	がっていない	した。	525,007/11 11 11	73 EN 10 C	○ あまり上か	「っていない
	度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	0	概ね達月	 或している	1			● 概ね達成	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	0	十分達	成している				○ 十分達成	たしている
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当		額(前年度比 に支出されて		○高い	● 適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	○ できない	波市納涼	祭事業の補助	功金として	● できる	○ できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	● ない	は効率的	であると考え	よ り。	ある	○ ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	○ ない]			ある	○ ない
			一次評価					二次記			
	評値	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合語 4 3 3 2 B	[[任]		必要性 7 4	有効性 3	達成度	効率1	生 総	合評価 B
	今征	後の		托等	С				 方法改言	善 ○ 民	 間委託等
A	方「	句性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止) III •	統合/終				
A						二次	評価での	指摘事項及	び一次評	価との相違が	<u> </u>
TIO		面の問題	平成20年度から花火大会を実施しなくなったことにより、イベント参加者 減少しています。	が大幅	副に						
Ö	H-1					行計画に沿って	進めてくだ	さい 内突の	給討が必ず	트で す	
Ň		革案 実行	関係団体と協議しながら、阿波市の特色がPRできる魅力的なイベントの	開催		川町画に沿って	EG) C (/C)	Co. 6140)	1天日170.2013	Z (9 o	
		₹1」	検討します。								
		員会 語項									

	No. 22 —	11 基本事務事	業名 商	工振興事務	务	事務事為	業名 やれ	<u> aこじき実力</u>			公的関与 8	シー	<u>-卜作成日</u>	平成21年	年6月10日
	部局名	卢	產業建設	治	課名	商工観決		主務課		高	橋弘一	シー	卜作成者名		佐賢二
	事業区分	○ 1 ソフト?			3 経常的事務事			金•負担金		車業涯	営方法	1 直部			È部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理 🔘	6 内部	管理事務•		事 未足	百刀丛		邹委託		助等
					展するまちづくり			実施計	画				D開始·終		
	総合計画	基本計画(施					0	1 該当		平成	17 年 ~	1 77		F 🗸 期間	設定なし
		主要施策	₹ (3	:)祭り・イベ	ントの活用		0	2 非該当		根拠》	去令等 阿	皮市補助	力金交付規	,則	
		対象(誰を、 何を)	観光客	·市民											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	歴史的伝	統のある「やねこじ	き」を市場	町商店往	話を中心に関	開催する	ことにより	、地域の活性	化を図り	ります。		
PL		たいのか)	今年度												
AN				活動を行い	ゝますか。(主なもん	の5つまで	で)								
N		① やねこじ	き												
	事業の	2													
	活動内容	3													
		4													
		5	_	I - 1 - 1 - 1 - 1				1		- 1				<i>-</i> -	
		指標名	各		は指標設定理由	単位	I	半 成	19 年原		平成 20 年		平成 2		最終目標
	数値目標 (事業の目的	イベント参加者	皆数	イベントの するため)参加者数を確認	人	目標 実績			5000 4300		5000 4500		5000	5000
	及び活動内						目標								
	容の達成度 を測る指標)						実績								
	で活の1月1年/						目標								
	7 体 带 口	A =11		60	A = 1	-1.	実績	- #		1	一一中				D #
	予算費目	会 計	1 3	一般:		款	7 商		क । त		商工費	7. 位	目 1	1 商工振り 備考	兴 賀
		国庫支出		平成 19		平成	20	年度決	_	F成 2	21 年度 ⁻			1 拥	
		国庫支出県支出	金		0 千円			0 =				千円			
		地方	<u>亚</u> 債		0 千円			0 -				千円			
D	直接事業費	その他特定			0 千円			0 -				千円			
O		一般財	源		342 千円			342				千円			
		計(A)	////		342 千円			342				千円			
		正職員工数:	経費(0.010 人	61 千円	0.020	7	122		.020 人		千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯				0.020		122		.520 /	120				
	11130(2)	臨時·嘱託工数·		0.000 人	0 千円	0.000	人	0 :	f円 0	.000 人	0	千円			
	全休事:	業費(A+B)			403 千円		- 4	464				千円			

				チェ	ック項目					— ;	欠評価		_	-次評価の	の説明	月		二次	(評価	Б
		1.	市が実施しなき						0	少ない	• J	大きい	業を実施	前から続く することで	5、阿2	皮市の		少ない	0	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況	況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	○ a	53	伝統行事 す。	をPRする	効果	がありま	0	ない	0	ある
	性		住民満足度の向						0	ある	O 75	まい	9 0				0	ある	0	ない
		4.	住民ニーズの仕上回るサービス			隣自	お体と比較し	,てニーズを	0	いる	• ı	ない					0	いる	0	いない
		1.	施策の目的を実	現するために	、事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえない	• l	ヽえる		き事業を開 すの活性化			0	いえない	0	いえる
	有効	2.	事業内容のマンネ	ネリ化など、カ	施策への 貢献	就度な	が著しく高いとに	はいえない。	0	いえない	. O i	ヽえる	出来ます			0-22	•	いえない		いえる
C	性	3.	市が実施するが	施策の中で舞	頁似•重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	Ο ι	ない					0	する	•	しない
X O M I O		4.	事業の継続を	しても成果の	つ向上が期	待で	ぎきない。		0	できない	• • •	できる					0	できない	0	できる
K		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標によ	とべて劣って	ている		き事業を開			0	目標に比	べて劣	うっている
	達	2.	目標設定に対	して成果がも	ちまり上が	って	いないと思う	j 。	0	あまり上	がっていな	ر،	た。	ж о олд II II	J/3 E	11000	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目標	票を達成し	てじ	ると思う。		0	概ね達用	戊している		1				•	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		0	十分達	成している						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて:	コストが高し	١,				0	高い	O i			額は必要、やねこじ			0	高い	0	適当
	効率	2.	他の実施主体の	のノウハウヤ	5新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0 7	できない	補助金と	しては効率			•	できる	0	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	がある。	0	ある	① /c	ほい	考えます	0			0	ある	0	ない
		4.	電子化や契約に	方法の変更な	ょどにより	コス	ト削減の余地	がある。	0	ある	O to	ほい					•	ある	0	ない
					— <u>;</u>	欠評	·価							=	次評	価				
	評化	西点	必要性	有効性	達成度	7±	効率性	総合評	F価		必要性	7	有効性	達成原	茰	効率性	生	総	合評	評価
	今 1	後の		3 実	<u> 3</u> 比維持		2 方法改善	B ○ 民間委託	千等	С	<u> 4 </u> □ 拡大•	<u></u>	3 │○ 現∜	<u>3</u> 		<u>_</u> 方法改善	É		B 引委	 托等
Δ		句性		○ 統合/終		0	廃止/休止	0 7017321					統合/終			////////////////////////////////////				
A C T			•		•							二次	(評価での	指摘事項	頁及て	ゾー次評	価と	の相違点	Ī.	
T-0Z		面の	やねこじき事業	の内容がマン	ノネリ化して	こいる	る傾向にありま	す。		10	の年の点	こ 統 ⁄元 す	事であり継	結け心亜-	です	車業内容	の捨	計が必要	゙゙ヹ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙ヹ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	-
N	وع ا	革案 実行 ·画	地域の貴重な(より、地域の活			と協	議しやねこじき	・事業を開催す	-るこ		, 5 - 0 7 1	ת ו טעוי ב-	- 〜 GJ・7 中 <u></u> 年1	10.10.10.3C.3C	~ J o	7~17	♥	снт <i>1</i> 0 ° 22 ° 3	,	0
		員会 事項																		

	No. 22 —	12 基本事務事						名行列実施事		公的関与		一卜作成日		年6月10日
	部局名	卢	E業建設	部	課名	商工観力	光課	主務課長	名	高橋弘一		-ト作成者名	岩	佐賢二
	事業区分	○ 1 ソフト?			3 経常的事務事			金•負担金•支		業運営方法	1 直			È部委託
	争未四万	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その	D他 事	未连占力丛		-部委託		輔助等
					展するまちづくり			実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施					0)1 該当	平		~ 平		☑ 期間	設定なし
		主要施策	(3))祭り・イベ	ジントの活用		С)2 非該当	根	!拠法令等	阿波市補	助金交付規則	IJ	
		対象(誰を、 何を)	観光客∙	市民										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	阿波藩祖	蜂須賀公の「大名	行列」を市	場町商店	活街を中心に開	崔すること	により、地域の	活性化を	図ります。		
PL		たいのか)	今年度											
AN				舌動を行し	ゝますか。(主なも	の5つま	で)							
N		① 大名行列												
	事業の	② 抽選会												
	活動内容	③ 大道芸												
		4												
		5	-	1=1 //		2271			<i>b</i> −	-		T - 1	h	
		指標名	<u> </u>	-	スは指標設定理由	単位	口柵	平成 19		平成 20		平成 21		最終目標
	数値目標 (事業の目的	イベント参加者	 對	するため)参加者数を確認	人	目標 実績		4000 3300		4000 3500		4000	4000
	及び活動内						目標							
	容の達成度 を測る指標)						実績							
	で別の指標/						目標							
	3 ケ 井 口	A = 11		60	A = I	1 +1	実績	<u> </u>		1				#1 ##
	予算費目	会 計	I TO	一般		款	7 商		項	1 商工費	ロマタ	目 1	商工振り	兴 賀
		同庄士山		7成 1	9 年度決算	平成	20	年度決算	平成	21 年	度予算		備考	
		国庫支出県支出	金		0 千円 0 千円			0 千円			0 千円			
		地方	<u>亚</u> 債		0 千円			0 千円			0 千円			
D	直接事業費	その他特定			0 千円			0 千円			0 千円			
O		一般財	源		1,280 千円			1,280 千円		1.3	216 千円			
		計(A)	<i>////</i>		1,280 千円			1,280 千円		· ·	216 千円			
		正職員工数:	経費 0	.010 人	61 千円		人	122 千円	0.020		26 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯				5.526	- \		5.523	· 1				
		臨時·嘱託工数·		.000 人	0 千円	0.000	人	0 千円	0.000	人	0 千円			
	全体事	業費(A+B)			1,341 千円			1,402 千円		1,3	342 千円			

				チ:	ェック項目					_	·次評	西		_	-次評価	の説	明		二次	:評価	ā
		1.					が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	•	大きい	١		大の阿波 の大名行			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次	年度以降到	€施す	トる緊急性が認	忍められない。	0	ない	•	ある		ることに	より、阿え	皮市の	の伝統	0	ない	0	ある
	女性	3.	住民満足度の「	向上のために、	現在の手具	殳、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない		行事をF す。	Rする対	果が	「ありま	0	ある	•	ない
		4.		D低下がみら; ごスとなって		丘隣自	目治体と比較し	ンてニーズを 	0	いる	•	いない		9 0				0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	字が必	がずしも適切とに	まいえない 。	0	いえな	ı, o	いえる			列実施事 より地域			0	いえない	0	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	u C	いえる			が出来る			0	いえない	0	いえる
CH	性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	复した	と事務事業が存	存在する。	0	する	0	しない						0	する	0	しない
E		4.	事業の継続を	としても成果の	の向上が其	明待で	できない。		0	できな	ı, O	できる						0	できない	0	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	況が劣って	こいる	ると思う。		0	目標に	比べて	劣っている	5		列実施事 り地域の		開催した	0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果が	あまり上か	バって	こいないと思う	5 。	0	あまり」	こがってに	いない		れました		ノンローコ		0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	標を達成し	てし	いると思う。		0	概ね達	成してに	いる						0	概ね達成	してい	る る
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	 して	こいると思う。		0	十分達	成して	いる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高	ر١ _°				0	高い	0	適当			の額は必			0	高い	0	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	制度を	た活用できる。		•	できる	С	できな		事業のネ	補助金と	しては	がえた心は効率的	•	できる	0	できない
	性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係	で、実施引	F段等	等を見直す余 均	也がある。	0	ある	0	ない		であると	:考えます	0		0	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	的方法の変更	などにより	ノコス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	С	ない						•	ある	0	ない
					_	次評	価								=	次評	価				
	評値	西点	必要性	有効性	達成	度	効率性	総合評	価		必要	性	有	<u> </u>	達成	度	効率	生	総	合評	-価
	今往	を の	4 ○ 拡大·充	<mark> 3</mark> ○ 現	<u> 3 </u> 状維持	0	<u> 2 </u> 方法改善	B ○ 民間委詞	托等	(<u>4</u>)拡	 大•充∮	₽ T		<u>3</u> 犬維持		<u>_</u> 方法改善	Ė		B 引委記	 £等
A		句性	○ 縮小		>期設定	O	廃止/休止	0 10117201)縮			統合/終		Ō	廃止/休				
C				•								=	次	評価での)指摘事:	項及	び一次評	価と	の相違点	Ī.	
TIO		面の !題	大名行列実施	拖事業の内容 が	バマンネリイ	比して	いる傾向にあ	ります。		٧.	545 = 1°	`キレ油 サ	惟』	/二·8左 6/1 <i>十</i> >	· 行車 レ た :	ってし	いる。内容(の拾	計が必要	です	
N	と多	革案 実行 ·画		よ伝統芸能とし 性化を図ります		本と協	協議し大名行列	事業を開催すん	ること		-1a-l	/CC廷1	房し	다마마다	IJ Ŧ C∕ŏ	<i>J</i> (0	…v。内台(ソが大	" "少女	C 9 c	
		員会 i事項																			

	No. 22 —	13 基本事務事	業名一商	L振興事務	务	事務事為	業名 はた	まつり実施		公的	的関与 8 シ	一卜作成日	平成21年	丰6月10日
	部局名	産	業建設	部	課名	商工観決	光課	主務課長	:名	高橋弘	ムー シー	−ト作成者名		佐賢二
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務事			金•負担金•叏		業運営力	5注 📙 1 値			部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その	の他 ^事	未连占人	2 -	-部委託		亅
					展するまちづくり			実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施					0	1 該当			•		✓ 期間	設定なし
		主要施策	(3)	祭り・イベ	ントの活用		0	2 非該当	†	艮拠法令	等 阿波市補	助金交付規則	<u>I</u>	
		対象(誰を、 何を)	市民											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	花のまち	阿波市をPRするた	め「はなま	つり」を閉	昇催することに	より、当市	のイメーシ	ブアップを図りま	す。		
PL		たいのか)	今年度											
AN				舌動を行い	ゝますか。(主なも	の5つまつ	で)							
N		① 花苗配布												
	事業の	② フリーマー												
	活動内容	③ コンサート	`											
		④ 宝投げ												
		5		I = 1 hete 12					<i>-</i>		<i>L</i> -		<i></i>	
		指標名	ž		は指標設定理由	単位		平成 19			20 年度	平成 21		最終目標
	数値目標 (事業の目的	イベント参加者	首数	イベントの するため)参加者数を確認	人	目標 実績		2500 2000		2500 2000		2500	2500
	及び活動内						目標							
	容の達成度 を測る指標)						実績							
							目標 実績							
	予算費目	会 計		一般:	수計	款	7 商	 □ 費	項	1 商	工費	目 1	商工振興	L 祖春
	, ,,,,,,,,		म	成 19		平成	20	年度決算	平成	21	年度予算	Н .	備考	170
		国庫支出	1 金		0 千円			0 千円	1		0 千円			
		県 支 出	金		0 千円			0 千円	1		0 千円	1		
	古拉古类弗	地 方	債		0 千円			0 千円	1		0 千円	1		
D	直接事業費	その他特定則			0 千円			0 千円	1		0 千円			
0		一 般 財	源		250 千円			237 千円	l		226 千円	1		
		計(A)			250 千円			237 千円	l		226 千円			
		正職員工数·		010 人	61 千円	0.020	人	122 千円	0.020	人	126 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職												
		臨時·嘱託工数·	経費 0	.000 人	0 千円	0.000	人	0 千円		人	0 千円	1		
	全体事	業費(A+B)			311 千円			359 千円			352 千円			

				チ.	ェック項目					_	次評值	西		_	-次評価	の説	明		二次	(評化	fi
		1.					が確保できる等 彡響は大きくな		0	少ない	•	大きい		はなまつ 花のまち			することで る効果	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次	年度以降到	に施す かんしょう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ しんしょ しんしょ しんしょ しんしょ しんしょ	トる緊急性が認	忍められない。	0	ない	•	ある		がありま	す。			0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の「	句上のために、	現在の手具	没、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない						0	ある	0	ない
		4.		D低下がみら ごスとなって		丘隣自	目治体と比較し	ンてニーズを 	0	いる	•	いない						0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	二、事業内容	字が必	がずしも適切とい	まいえない 。	0	いえなし	,\ <u> </u>	いえる		はなまつ より地域の	り事業を	開催す	けることに ることが	0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	', C	いえる		出来ます		C EI (y-C13	0	いえない	0	いえる
CH	性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	复した	- 事務事業が存	存在する。	0	する	0	しない						0	する	•	しない
E		4.	事業の継続を	をしても成果	の向上が其	明待で	できない。		0	できなし	۰,۱ 🔘	できる						0	できない	0	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状	況が劣って	こいる	ると思う。		0	目標に	比べて	劣っている		はなまつ	り事業を			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果が	あまり上た	バって	こいないと思う	5 。	0	あまり上	こがってし	いない		た。		/J · [2] /	1000	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成し	してし	いると思う。		0	概ね達	成してし	いる						0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	戈して	こいると思う。		0	十分達	成して	いる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高	い。				0	高い	0	適当		補助金の 必要経費				0	高い	0	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	削度を	た活用できる。		0	できる	C	できなり	l1	なまつり	実施事業	の補助	助金とし	•	できる	0	できない
	性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係	で、実施引	F段等	ទを見直す余 均	也がある。	0	ある	0	ない		ては効率	的である	と有7	え まり。	0	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更	などにより	ノコス	スト削減の余均	也がある。	0	ある	С	ない						0	ある	0	ない
				_		·次評										次評	** *				
	評値	西点	必要性 4	有効性	達成	度	効率性	総合評	F価		必要	性	有	効性	達成.	度	効率	生	総	合評	描
	今後	を の	4 ○ 拡大·充		<u>」 3</u> 状維持	0	<u> 2 </u> 方法改善	B	托等			L 大∙充⋾	₽ T		<u>. 3</u> ド維持	0	<u></u> 方法改氰	<u></u> 集		B 引委	 托等
A		句性			冬期設定	O	廃止/休止	0 14114324	<u> </u>) 縮			統合/終		Ō	廃止/休		0 24:		
C				•		•						=	次	評価での	指摘事:	項及7	び一次評	価と	の相違点	Ī.	
TIO		面の !題	はなまつり事	業の内容がマ	ンネリ化し	ている	る傾向にありま	す。			1 PT 45 i	このくべ	٠, ١	たごき継	いで宝体	1 71	い る。内容	の☆	➡お心亜	です	
N	と多	革案 実行 ·画	関係団体と協 検討します。	露議しながら、[可波市の特	色が	PRできる魅力	ーーー 的なイベント <i>0</i>)開催		1m1 /7,	5077*	ンド	で コ で が か	v·℃ 天 心	<u> </u>	~の。四台	少 (尺)	n' / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	C 9	,
		員会 i事項																			

	No. 22 —	14 基本事務事業	名 商工	振興事務	务	事務事	業名 切	噃寺町振興᠑	実施事業	業	公的関与 8	シート作成日		年6月10日
	部局名	産業	建設部	- ß	課名	商工観	光課	主務課長	長名	高	橋弘一 き	ノート作成者名		佐賢二
	事業区分	○ 1 ソフト事業	-		3 経常的事務事			金•負担金•〕		車業涯		直営		全部委託
	争未区力	○ 2 ハード事			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・そ		学 未进	2	一部委託		助等
					展するまちづくり			実施計画				業の開始・終っ		
	総合計画	基本計画(施策		観光の振			<u> </u>	1 該当		平成			☑ 期間	設定なし
		主要施策	(3)	祭り・イベ	シトの活用		С	2 非該当		根拠	法令等 阿波市	補助金交付規則	įl	
		対象(誰を、 何を)	民											
	事業の 対象・目的	目的(どうい 最 う状態にし	終的	切幡地区	のイベントとして「ち	贝幡寺町 振	長興実施	事業」を開催す	トることに	こより、地	地域の活性化を図	ります。		
PL		たいのか) 今	7年度											
AN				動を行い	ゝますか。(主なも	の5つま	で)							
N		① タイムトライ	アル											
	事業の	② コンサート												
	活動内容	③ 防災訓練												
		4												
		5		- 1		\$\$7.7.1							-	
		指標名			は指標設定理由	単位		平成 1			平成 20 年度	平成 21		最終目標
	数値目標 (事業の目的	イベント参加者数		イベントの するため)参加者数を確認	人	目標 実績			300 200	30 20		300	200
	及び活動内 容の達成度						目標							
	春の達成度 を測る指標)						実績							
							目標 実績							
	予算費目	会 計	ļ	一般	 会計	款	7 商	 工費		項 1	商工費	目 1	商工振り	具 費
			平			平成	20	年度決算			21 年度予算		備考	12.7
		国庫支出金	金		0 千円			0 千	円		0 千	円		
		県 支 出 🕏	金		0 千円			0 千日	円		0 f	円		
	直接事業費		責		0 千円			0 T I	円		0 ∓	円		
D	但按爭未頁	その他特定財源	原		0 千円			0 千日	H H		0 ∓	円		
0			原		170 千円			162 ∓।	円		162 千			
		計(A)			170 千円			<mark>162</mark> ∓।			162 千			
		正職員工数·経動		10 人	61 千円	0.020	人	122 千日	∄ 0.0	20 人	126 千	円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職種												
	A 11 -1	臨時·嘱託工数·経	費 0.0	00 人	0 千円	0.000	人	0 千		00 人	0 ∓			
	全体事	業費(A+B)			231 千円			284 千I	円		288 千	円		

			チェック項目		一次	評価	一次評価の説明	二次	:評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	〇 少7	ない	大きい	地元の住民で組織する実行委員 会がイベントを開催することによ	○ 少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	ない	,	ある	り、切幡地区の一体化を図る効 果があります。	○ ない	ある
	女性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	೦ ಹಕ	3	● ない	未かめりより。 	<u></u>	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	○ <i>い</i> る	5	● いない		○ いる	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	いえ	えない	● いえる	切幡寺町振興実施事業を開催 することにより地域の活性化を図	○ いえない	● いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	● いえ	えない	○ いえる	ることが出来ます。	いえない	○ いえる
CH	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	する	3	● しない		○ する	● しない
E		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ でき	きない	● できる		○ できない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	目標	票に比へ	で劣っている	切幡寺町振興実施事業を開催し たことにより地域の活性化が図	○ 目標に比べ	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あま	り上がっ	っていない	れました。	○ あまり上が	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	〇 概1	a達成し	している		● 概ね達成	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	O +5	分達成し	している		○ 十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	高I	۸.	適当	補助金の額(前年度比5%減)は 必要経費に支出されており、どな	○ 高い	適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	でき	<u>き</u> る	○ できない	り夏まつり事業の補助金としては	◎ できる	○ できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	೦ ಹಕ	3	● ない	効率的であると考えます。	ある	○ ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	ා ක්ද	3	○ ない		ある	○ ない
			一次評価				二次評価		
	評値	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合語	価	业		可効性 達成度 効率 [†]	生 総	合評価
	全征	多の	4 3 1 2 B ○ 拡大·充実 ○ 現状維持 ● 方法改善 ○ 民間委	千等	0	_ 4 拡大∙充実	3 3 1 ┃	<u> </u>	_ <u>B</u> 『委託等
A		句性				縮小	統合/終期設定		1540 1
C						二次	評価での指摘事項及び一次評	価との相違点	į
TIO		面の	切幡寺町振興実施事業の内容がマンネリ化している傾向にあります。		市业	中容の検討が	「必要です。実行計画に沿って進め	ンナノゼナい	
N	と多	革案 実行 ·画	関係団体と協議しながら、阿波市の特色がPRできる魅力的なイベントの 検討します。	開催を	尹 未	だるのでで	・必女(9。天1」計画に石づて進め) CN/2016	
		員会 事項							

	No. 22 —	15 基本事務事	業名商	工振興事務	务	事務事業	ミ名 宮川	内鯉のぼり	曷揚実施	事業 公	的関与 8 シ	ノート作成日	平成21年	丰6月10日
	部局名	卢		部	課名	商工観光		主務課長		高橋	弘一シ	一卜作成者名		佐賢二
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務事			金・負担金・支		業運営		直営		҈部委託
	争未区力	○ 2 ハート			4 施設の維持管	理	6 内部管	管理事務・そ(の他 ^ザ	未连占	2 -	一部委託		助等
					展するまちづくり			実施計画				業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施					<u> </u>	1 該当				P成 年		設定なし
		主要施策	(3))祭り・イベ	ントの活用		0	2 非該当	†	艮拠法令	う等 阿波市科	補助金交付規則	.1]	
		対象(誰を、 何を)	観光客•	市民										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	4月上旬か	いら5月上旬まで宮月	川内ダム公	遠に鯉の	のぼりの掲揚を	そ行うことに	こより、当	当市のイメージア	プップを図ります	, o	
PL		たいのか)	今年度											
AN				舌動を行い	ますか。(主なも	の5つまで	ご)							
N		① 鯉のぼり	の掲揚											
	事業の	2												
	活動内容	3												
		4												
		5	_	1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -		W 11							<i></i>	
		指標準	<u> </u>	計算式又	は指標設定理由	単位		平成 19		半月	龙 20 年度	平成 21		最終目標
	数値目標 (事業の目的	観光客数		観光客数	を確認するため	人			3000 2500		3000 2700		3000	3000
	及び活動内						目標							
	容の達成度						実績							
	を測る指標)						目標							
							実績							
	予算費目	会 計		一般:		款	7 商		項	1 商	工費	目 1	商工振興	具費
				·成 19		平成	20	年度決算	平成	21	年度予算		備考	
		国庫支出			0 千円			0 千円	+		0 千円	-		
		県 支 出	金		0 千円			0 千円			0 千円	⊸ l		
	直接事業費	地方	債		0 千円			0 千円			0 千円	_		
D	正汉于水关	その他特定			0 千円			0 千円			0 千円	_		
0		一般財	源		0 千円			40 千円			40 千円			
		計(A)	/ ₩ =#1		0 千円			40 千円			40 千円	—		
	L //L # / C >	正職員工数:		.000 人	0 千円	0.020	人	122 千円	0.020	人	126 千円	3		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		000 1		0.000			0.000					
	A / 古	臨時·嘱託工数	· 栓質 0	.000 人	0 千円	0.000	人 <u> </u>	0 千円		人	0 千円	_		
	王14年	業費(A+B)			0 千円			162 千円			166 千円] [

			チェ	ック項目				一次	マ評価		_	−次評価の)説明			二次	評価	
		1.	市が実施しなくても、公平 主体があり、事業を廃止・				0	少ない	● 大き	·L1	することで	!のぼり掲! で宮川内地	易事業を 区をPR	実施する	O 1	少ない	• ;	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年	F度以降実施す	上る緊急性が 認	忍められない。	0	ない	ある		効果があ	ります。			0 :	ない	O t	ある
	性		住民満足度の向上のために、				0	ある	● ない						0	ある	• 1	ない
		4.	住民ニーズの低下がみられ 上回るサービスとなってし		自治体と比較し	ノてニーズを -	0	いる	いな	い					0	いる	Ο ι	いない
		1.	施策の目的を実現するために	、事業内容が必	がずしも適切とに	はいえない 。	0	いえない	● いえ	る		のぼり掲げ			0	いえない	Ο ι	ハえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、カ	施策への貢献度:	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	○ いえ	る		出来ます。	· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			いえない	Ο ι	ハえる
C	性	3.	市が実施する施策の中で数	頁似・重複した	と事務事業が存	存在する。	0	する	しな	い					O .	する	Ο Ι	しない
X O M I O		4.	事業の継続をしても成果の	つ向上が期待で	できない。		0	できない	○ でき	3					O .	できない	O 7	できる
K		1.	目標設定に対して進捗状況	兄が劣っている	ると思う。		0	目標に比	べて劣ってい	る		のぼり掲打			0 1	目標に比り	べて劣っ	ている
	達	2.	目標設定に対して成果があ	ちまり上がって	こいないと思う	5 。	0	あまり上か	べっていない		れました。		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,, E	0 7	あまり上が	っていな	(L)
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標	票を達成してし	いると思う。		0	概ね達成	している						• ‡	概ね達成	している	
		4.	目標設定に対して十分に目	目標を達成して	こいると思う。		0	十分達成	たしている						O -	十分達成	している)
		1.	効果に比べてコストが高し	١,			0	高い	● 適当	á		額は必要 宮川内鯛			0 :	高い	• i	適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウヤ	か新たな制度を	上活用できる。		•	できる	○ でき	ない	事業の補	助金として			O .	できる	0 7	できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で	で、実施手段等	等を見直す余 地	しがある 。	0	ある	● ない		あると考え	えます。			0	ある	O 1	ない
		4.	電子化や契約方法の変更な	よどによりコス	スト削減の余地	也がある。	•	ある	○ ない		1				0	ある	O 1	ない
				一次評	評価							=;	欠評価					
	評値	三点	必要性有効性	達成度	効率性	総合評	価	اِ	必要性	1	与効性	達成原	交	力率作	生	総	合評值	五
	△ 4	を の	4 3 ○ 拡大·充実 ○ 現∜	<u> 3</u> ├維持	<u> 2 </u> 方法改善	○ 民間委詞	千等	0	4 拡大∙充	<u> </u> 宝	3 ○ 現状	<u>3</u> は維持		<u>1</u> - 水主	Ė.		<u>B</u>]委託	<u></u>
lacksquare		句性	○ 縮小 ○ 統合/終		廃止/休止	CINIX		0	縮小	$\widehat{\Box}$	統合/終			<u> </u>			13416	·1
C										二次	評価での)相違点	į	
ACT-OZ		通の	施設の老朽化がみられます	0				中《		\ って:	進めてくだ	:+1\						
N	وع	草案 実行 画	関係団体と協議しながら、阿	波市の観光地	の宮川内地区	をPRします。		天1	ᆙᆒᅩᅔ	1 J C	座αノてへた	.⊄∿ '₀						
		員会 i事項																

	No. 22 —	16 基本事務事	業名 商	工振興事務	务	事務事第	業名 ラン	<u>/ランフェア</u>	実施事	業	公的関与 8	シー	<u>-卜作成日</u>	平成21年	年6月10日
	部局名	產	業建設	:部	課名	商工観決	光課	主務課	長名	高	橋弘一	シー	卜作成者名		·佐賢二
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務事			金·負担金·		車業涯	堂方法 🖳	1 直			全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理 〇	6 内部	管理事務・		事 未廷	百万丛		邹委託		甫助等
					展するまちづくり			実施計画	1				D開始·終		
	総合計画	基本計画(施					<u> </u>	1 該当		平成	17 年 ~	1 //			設定なし
		主要施策	(3)祭り・イベ	ントの活用		0	2 非該当		根拠》	去令等 阿沙	皮市補則	力金交付規則	則	
		対象(誰を、 何を)	市民												
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	ランの花の	D阿波市をPRする	ため「ラン	ランフェア	7」を開催する	ることに	より、当市	のイメージアッ	ップを図	ります。		
PL		たいのか)	今年度												
AN				舌動を行い	ますか。(主なもの	の5つまつ	で)								
N		① 切り花の													
	事業の	② 農産物の	即売会												
	活動内容	3													
		4													
		5													
		指標名	各		は指標設定理由	単位		平成 1			平成 20 年月		平成 21		最終目標
	数値目標 (事業の目的	イベント参加者	首数	イベントの するため	参加者数を確認	人	目標 実績			2500 2200		2500 2200		2500	2500
	及び活動内						目標								
	容の達成度 を測る指標)						実績								
	で別の指标)						目標								
	- 45 Th -				A =1		実績				1			165 11 75	
	予算費目	会 計	1 7	一般:		款	7 商		- 1 		商工費	7 1515	目 2	1 観光費	
				7成 19		平成	20	年度決算	_	7成 2	21 年度			備考	
		国庫支出			0 千円			0 ∓	_			千円			
		県 支 出	金		0 千円			0 ∓				千円			
D	直接事業費	地 方 その他特定!	債		0 千円			0 T	_			千円			
0			源源		0 千円				· 円			千円			
		一 般 財 計(A)	//尔		350 千円 350 千円			330 ±	· 円			千円			
		正職員工数:	終弗 ∩	.000 人	0 千円	0.020	1	122 1		020 人		千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		.000 人	0 713	0.020	<u> </u>	122	11 0.	020 人	120	TD			
	八斤貝(口)	臨時·嘱託工数·		.000 人	0 千円	0.000	7	0 ∓	- П	.000 人	n	千円			
	全休事:	業費(A+B)		/	350 千円		^\	452 1		/\		千円			

				チュ	ック項目					_	次評	西		_	次評価·	の説	明		二次	:評句	Б
		1.					、確保できる等 と響は大きくな		0	少ない	•	大きい			ェア実施 :り、シンI		を開催す ひム(切り	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	犬況の中、次年	丰度以降 実	[施す	る緊急性が認	忍められない。	0	ない	0	ある					の花のま いありま	0	ない	0	ある
	女性	3.	住民満足度の同	句上のために、	現在の手段	设、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない	す。		ZPR96	0刈未	こかのりま	0	ある	0	ない
		4.		O低下がみられ ごスとなってし		[隣自	治体と比較し	ンてニーズを 	0	いる	•	いない						0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を写	実現するために	、事業内容	₹が必	ずしも適切とに	まいえない 。	0	いえな	ı, o	いえる					を開催す性化を図	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、カ	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	n 0	いえる			出来ます。		1710612	0	いえない	0	いえる
CH	効性	3.	市が実施する	6施策の中で数	類似・重複	更した	- 事務事業が存	存在する。	0	する	0	しない						0	する	0	しない
E		4.	事業の継続を	としても成果の	の向上が期	得で	ごきない 。		0	できな	v o	できる						0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて貧	劣っている			エア実施しまり		を開催し 性化が図	0	目標に比	べて劣	うている
	達	2.	目標設定に対	付して成果がな	あまり上が	うて	いないと思う	5 。	0	あまり」	こがってし	いない		ました。		V)/L	工10% 四	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目標	票を達成し	てじ	いると思う。		0	概ね達	成してに	いる						0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	付して十分に目	目標を達成	えして	いると思う。		0	十分達	成してい	いる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	こコストが高い	۰,۱۰				0	高い	0	適当			額は必要 ランラン		に支出さ	0	高い	0	適当
	効率	2.	他の実施主体	*のノウハウ*	や新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できなし	* 業(の補助	金として			0	できる	0	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手	段等	Fを見直す余 ^は	也がある。	0	ある	0	ない	7 68	と考えま	とす。			0	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	り方法の変更な	よどにより	リコス	くト削減の余地	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	0	ない
					_	次評	価								Ξ	.次評	価				
	評値	当山	必要性	有効性	達成原	英	効率性	総合評	価		必要	性	有效		達成	度	効率性	生	総	合評	描
	全征	を の	4 ○ 拡大·充	3 注	<u>3</u> 犬維持		<u> 2 </u> 方法改善	B ○ 民間委託	千生		<u>4</u>)拡:	L 大∙充実	3 :		<u>3</u> :維持		<u> </u>	Ė.		B 引委:	 托等
A		句性		○ 統合/終		_	廃止/休止	O POINT OF							期設定	0	廃止/休		O EGIF	-1321	
C						Ū						Ξ				項及	び一次評	価と	の相違点	Ī.	
TIO		面の!題	ランランフェア	実施事業の内	容がマンネ	ネリ化	としている傾向	にあります。									定着し、地	域の	活性化効	果が	あると思
N	と多	革案 実行 ·画		政課・JA)と協 阿波市をPRし		、シ	ンビジウム(切	り花)の生産量	が日	本	かれます 	ナが、内特	容の検 	彰討も必	多です。						
		員会 事項																			

	No. 22 —	17 基本事務事業	業名 商工	振興事務	务	事務事簿	業名 観シ	光PR事業		公的関与	8 シ	ート作成日 -		6月10日
	部局名	産	業建設部	部	課名	商工観	光課	主務課長	名	高橋弘一	シー	-卜作成者名		上賢二
	事業区分	● 1 ソフト事			3 経常的事務事			金•負担金•支	42 5	業運営方法		営		部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その	D他 デ	木廷占刀仏		·部委託 [4補	助等
					展するまちづくり			実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策					O	1 該当	平				✓ 期間	没定なし
		主要施策	(5)	観光PR	活動の強化		0	2 非該当	根	拠法令等	阿波市補	助金交付規則		
		対象(誰を、 何を)	見光客•⋷	市民										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	観光産業	に携わる市民をは	じめ、市民	全体が観	見光でうるおうま	ちづくりを	目指すため、	観光宣伝活	5動を実施します	•	
PL		たいのか)	今年度											
AN				動を行し	ゝますか。(主なも	の5つま	で)							
N		① ポスターの												
	事業の	② パンフレット												
	活動内容	③ 観光キャン	ペーンの	り実施										
		4												
		5												
		指標名		計算式 又	は指標設定理由	単位		平成 19		平成 20		平成 21 年		最終目標
	数値目標	パンフレットの配布教 (阿波市観光ガイド・	数 マップ)			部	目標 実績		10000 9000		10000 9000		10000	10000
	(事業の目的 及び活動内	パンフレットの画					目標		10000		10000		10000	10000
	容の達成度	ハンフレットの間 (阿波の土柱)	C 仰 致			部	実績		9000		9000		10000	10000
	を測る指標)		•				目標		3		5		5	5
		観光キャンペー				□	実績		3		5			
	予算費目	会 計		一般		款	7 商二		項	1 商工費		目 2 権	見光費	
				成 1	1 (20, 45)	平成	20	年度決算	平成	21 年	度予算		備考	
		国庫支出			0 千円			0 千円			0 千円			
			金		0 千円			0 千円			0 千円			
	直接事業費		債		0 千円			0 千円			0 千円			
D		その他特定財			0 千円			0 千円	1		0 千円			
0			源		2,210 千円			1,661 千円			,872 千円			
		計(A)	/ 曲 0 /	200 1	2,210 千円			1,661 千円	0.010		, <mark>872</mark> 千円			
	し (4) 悪 (5)	正職員工数·経		200 人	1,224 千円	0.210	人	1,285 千円	0.210	人 1	<mark>,320</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職		200 1	0 ==	0.000		0	0.000	1	0			
	ク は事	臨時·嘱託工数·紹 業費(A+B)	至其 0.0	000 人	0千円3,434千円		<u> </u>	0 千円 2,946 千円		人 2	0 千円 ,192 千円			
	土冲尹	木貝(ATD)			3,434 十円			2,540 十円			, 132 十円			

			チェック項目		_	·次評価	_	次評価の	説明		マ評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0				事業(パンフ Fャンペーン		○ 少ない	大きい
	必	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	ある	ることによます。	り、市の活	性化が図れ	○ ない	ある
	要性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	● ない	まり。			<u></u>	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	0	いる	● いない				○ いる	いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえない	い の いえる		増加と、特別 リ、地元経済	産品の販売	○ いえない	● いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえない	い 〇 いえる	が図れま			いえない	○ いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない	1			○ する	● しない
CHECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できなし	い ◎ できる				○ できない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標に	比べて劣っている			イベントの開 定どおり進	○ 目標に比	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上	上がっていない	んでいます		たとのうに	○ あまり上が	^{がっていない}
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	0	概ね達	成している				● 概ね達成	たしている
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	0	十分達	成している				○ 十分達成	さしている
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当	本市の知数・観光派	名度の向上 当費額の増	や、観光客 加が見込	○高い	● 適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	○ できない	め、市内の		展につなが	● できる	○ できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	● ない	ります。			<u></u>	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	○ ない				ある	○ ない
			一次評価						:評価		
	評值	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合語 4 3 3 2 B	[個		必要性 4	<u>有効性</u> 3	達成度	効率	生 系	合評価 B
	今往	後の		托等		 ○ 拡大·充実				善	 間委託等
A	方	句性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止			○ 縮小 ○	統合/終	期設定() 廃止/休	:止	
AC			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			二次	マ評価での	指摘事項。	及び一次評	価との相違	点
TIO		面の 関題	パンフレットは、外国語バージョン等観光ニーズを捉えたものを作成して があります。	いく必		^ # !! - = !		, - 1		n - - - - - - - -	
N	وع	革案 実行 計画	パンフレット作成に対する広告主を募集し、作成経費に補填することをも す。	診討し		新工会等他の団体	▼との連携?	を図り、さら	こは隣接市局	叮村との連携 [:]	も必要です。
		員会 第事項									

	No. 22 —	18 基本事務事業	業名 商工	上振興事務	务	事務事美	業名 観シ	光施設管理事	業	公	的関与 8 シー	一卜作成日		丰6月10日
	部局名	産	業建設	-	課名	商工観決	光課	主務課長	:名	高橋	弘一シー	-卜作成者名		佐賢二
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務事			金•負担金•ヲ		業運営		営		≧部委託
	争未四万	○ 2 ハード			4 施設の維持管		6 内部	管理事務・そ	の他 📗 ^ザ	木廷占	<u> </u>	·部委託		助等
					展するまちづくり			実施計画				の開始・終っ		
	総合計画	基本計画(施)					0	1 該当		成 1			☑ 期間	設定なし
		主要施策	(1)	見光・交流拠	l点の整備充実、ネッ	トワーク化の	推進	2 非該当	木	見拠法令	う等 阿波市補	助金交付規則	則	
		対象(誰を、 何を)	睍光客∙ⅰ	市民										
	事業の 対象・目的	目的(どうい)	最終的	市内観光	施設の維持管理を	を行うことに	より受入	態勢を強化し	、観光客の	誘致を	図ります。			
PL		たいのか)	今年度											
AN					vますか。(主な t	の5つま	で)							
N		① 観光施設の		搬業務										
	事業の	② 観光施設の	の除草											
	活動内容	3												
		4												
		5							, .				, ,	
		指標名		計算式又	(は指標設定理由	単位		平成 19		平月	戊 20 年度	平成 21		最終目標
		施設等に係るク	ルーム			回	目標	_	0		0		0	
	(事業の目的 及び活動内	奴					実績 目標		3		2			
	容の達成度						実績	-						
	を測る指標)						目標							
							実績							
	予算費目	会 計		一般	会計	款	7 商	 L費	項	1 商	工費	目 1	観光費	
			平	成 1	9 年度決算	平成	20	年度決算	平成	21	年度予算		備考	
		国庫支出	金		0 千円	3		0 千円	3		0 千円			
		県 支 出	金		0 千円	3		0 千円	3		0 千円			
	直接事業費	地 方	債		0 千円	3		0 千円	3		0 千円			
D	但汉于木貝	その他特定財			0 千円	_		0 千円			138 千円			
0		一般財	源		6,080 ∓₽			6,465 千円			7,838 千円			
		計(A)	++-		6,080 ∓ ₽			6,465 千円			7,976 千円			
	 	正職員工数·紹		200 人	1,224 千円	0.210	人	1,285 千円	0.210	人	1,320 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職		200 1		0.000			0.000					
	人生主	臨時·嘱託工数·約	全費 0.0	000 人	0 ↑ ₽		人	0 千円		人	0 千円			
	王 体 争 差	業費(A+B)			7,304 千円	1		<mark>7,750</mark> 千円	1		9,296 千円			

				チェッ	ク項目					_	次評	価			一次	評価の)説	明		二次	:評信	<u> </u>
		1.	市が実施しなくても、 主体があり、事業を序						0	少ない	0	大き	きい					できるよ がありま	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、	次年	度以降実	施す	る緊急性が認	思められない。	0	ない	C	ある	5	す。		, 0,2			0	ない	0	ある
	性	3.	住民満足度の向上のため	に、現	!在の手段	、方	法等の改善の急	余地がある。	0	ある	C	ない	Λ						0	ある	0	ない
		4.	住民ニーズの低下がみ上回るサービスとなっ			隣自	治体と比較し	ノてニーズを -	0	いる	C	いた	ほい						0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実現するた	めに、	事業内容	が必	ずしも適切とに	はいえない 。	0	いえなし	,\ (いえ	ta					こ保つこ	0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化な	ど、施賃	策への貢献	(度か	が著しく高いと	はいえない。	•	いえなし	', C	いえ	きる	できる					0	いえない	0	いえる
C H	性	3.	市が実施する施策の中	で類値	以·重複	した	:事務事業が存	存在する。	0	する	C	しな	ほい						0	する	0	しない
E		4.	事業の継続をしても成	は果の[句上が期:	待で	きない。		0	できなし	۱ (C	でき	₹ る						0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対して進捗	歩状況が	が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて	劣ってし	いる					管理業 り良好	0	目標に比	べて学	らっている
	達成	2.	目標設定に対して成界	見がある	まり上が	って	いないと思う	j .	0	あまり上	こがって	いない		な状態					0	あまり上が	ってし	ない
	度	3.	目標設定に対して概ね	3目標で	を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成して	いる							•	概ね達成	してし	る
		4.	目標設定に対して十分	分に目れ	票を達成	して	いると思う。		0	十分達	成して	いる							0	十分達成	してに	る
		1.	効果に比べてコストか	で高い。)				0	高い	C	適	当	コスト				理業務	0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体のノウィ	ハウや新	新たな制	度を	活用できる。		0	できる		でき	きない	貝 근 1시	յ լիսյ Մ	(0.0	90		0	できる	0	できない
	性	3.	予算・人員と成果の関	関係で、	, 実施手	段等	を見直す余地	也がある。	0	ある	C	ない	Λ						0	ある	0	ない
		4.	電子化や契約方法の変	変更な。	どにより	コス	ト削減の余地	也がある。	0	ある		ない	.1						0	ある	0	ない
						欠評	-									二;	欠評					
	評値	五点	必要性 有効 4 3	性	達成度		効率性	総合評	価		必要		1	<u>有効性</u> 3		達成原	Ŧ	効率性	生	総	合語	呼価
	今後	後の		 現状 [;]	3 維持 ┃		2 方法改善	B ○ 民間委詞	£等			<u>・</u> 大・充	 : :実:		 !状維	3 持		2 方法改善	<u></u>		B 事	托等
A		9性			明設定		廃止/休止	0 1011720				小		統合/:				廃止/休		0 241		
C					•								二次	(評価で	の指	摘事項	[及7	ゾー次評	価と	の相違点	į	
Ţ		面の題	施設の老朽化に伴う	維持管	哲理費用(の増	か見込ま	れます。														
Ō											2行計	上画に	'沿っ'	て進めて	てくだ	さい。						
N	改革 と第	草案 ミ行	▮餓兀谷かり祝しよイレマ	5施設	を目指し	て、	利便性を考慮	慮した安全で	効率		~,,,,,											
	計	画	運営に努めた事業の	推進力	か 必 安 で	9 。																
		量会 事項																				

	No. 22 —	19 基本事務事	業名 商]	C振興事務	务	事務事	業名 市場	易公園管理事		公的関与	8 シ	一ト作成日	平成21年	
	部局名		業建設	-	課名	商工観決		主務課長		高橋弘一		-卜作成者名		佐賢二
	事業区分	○ 1 ソフト引			3 経常的事務事			金•負担金•支		 業運営方法	1 直			部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その	D他 事:	未连占力丛		·部委託		助等
					展するまちづくり			実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施		観光の振	興			1 該当	平		~ 平	成 年	☑ 期間	設定なし
		主要施策	(1)	観光∙交流拠	<u>l</u> 点の整備充実、ネット	ワーク化の	推進	2 非該当	根	拠法令等	阿波市補	助金交付規則	J	
		対象(誰を、 何を)	公園の利	川用者										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	市民の憩	いの場、レクリエー	ションの場	湯として、 「	市民が快適で第	どしく利用で	できる環境作り	に努めます	f .		
PL		たいのか)	今年度											
AN				舌動を行い	ゝますか。(主なも	の5つま	で)							
N		① 公園内の												
	事業の	② 公園内の												
	活動内容	③ 公園内トイ		帚										
		④ 遊具の点	検											
		5	_	I - 1 - 1 - 1 -		337 7 1								
		指標名	<u> </u>	計算式又	は指標設定理由	単位		平成 19		平成 20		平成 21		最終目標
	数値目標 (事業の目的	除草回数/年		施設を管	理していくため	回	目標 実績		10 10		10 10		10	10
	及び活動内容の達成度	公園等清掃回数	7/月	施設を管	理していくため	回	目標実績		8		8		8	8
	を測る指標)	W = L \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	· -	+	TTI -1.14 4		日標		12		12		12	12
		遊具点検回数/	牛	他設を官:	理していくため	回	実績		12		12			
	予算費目	会 計		一般		款	7 商		項	1 商工費		目 1	観光費	
				成 1	1 10410 101	平成	20	年度決算	平成	21 年	度予算		備考	
		国庫支出			0 千円			0 千円			0 千円			
		県 支 出	金		0 千円			0 千円			0 千円			
	直接事業費	地方	債		0 千円			0 千円			0 千円			
D	正汉于不兵	その他特定則			0 千円			0 千円			0 千円			
0		一般財	源		920 千円			920 千円			920 千円			
		計(A)		1	920 千円			920 千円			920 千円			
	/4	正職員工数·絲		050 人	306 千円	0.060	人	367 千円	0.060	人	<mark>377</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職		000 1		0.000			0.000		0 .=			
		臨時·嘱託工数·	社 質 0.	000 人	0 千円	0.000	人	0 千円	<u> </u>		0 千円			
	王净争	業費(A+B)			1,226 千円			1,287 千円			297 千円			

			チェ	ック項目				一次	マ評価		_	·次評価0	り説り	月		二次	評価	i
		1.	市が実施しなくても、公平 主体があり、事業を廃止・				0 :	少ない	① 大	きい	位置し、市	は市場町	い の場	となって		少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年	度以降実施す	する緊急性が認	忍められない。	0 :	ない	● ある	3	います。全	今後も市民 じ、年代を			0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の向上のために、	現在の手段、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	なし	Ŋ	の場を提				0	ある	0	ない
		4.	住民ニーズの低下がみられ 上回るサービスとなってい		自治体と比較し	_ン てニーズを	0	いる	• 11t	ない	の増進や れます。	地域文化	の向.	上が図	0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実現するために、	、事業内容が必	必ずしも適切とに	はいえない。	0	いえない	● いき	える	遊具・施記	という とり、誰でも			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施	施策への貢献度	が著しく高いと	はいえない。	•	いえない	O 17	える	用できる				•	いえない	0	いえる
C	性	3.	市が実施する施策の中で類	類似・重複した	と事務事業が存	存在する。	O .	する	● した	はい					0	する	0	しない
HE		4.	事業の継続をしても成果の)向上が期待で	できない。		O .	できない	でき	きる					0	できない	•	できる
C K		1.	目標設定に対して進捗状況	記が劣っている	ると思う。		0 1	目標に比	べて劣って	いる	安全な公占権を定	園を目指し期的に実施			0	目標に比べ	べて劣	っている
	達成	2.	目標設定に対して成果があ	うまり上がって	ていないと思う	5 。	O 7	あまり上か	べっていない	١	に、除草((清掃)作	業につ	いて	0	あまり上が	ってい	ない
	度	3.	目標設定に対して概ね目標	悪を達成してし	いると思う。		O #	概ね達成	している			業務委託を と好な状態			•	概ね達成	してい	<u>გ</u>
		4.	目標設定に対して十分に目	標を達成して	ていると思う。		O -	十分達成	たしている		います。				0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べてコストが高い	١ _°			0	高い	● 適	当		域を目標に 管理日数を			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや	新たな制度を	を活用できる。		•	できる	ਂ で	きない	件費を削				•	できる	0	できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で	、実施手段等	等を見直す余 均	也がある。	0	ある	ない	L)					0	ある	0	ない
		4.	電子化や契約方法の変更な	こどによりコス	スト削減の余均	也がある。	0	ある	なし	Ŋ					•	ある	0	ない
				一次評	•								次評	-				
	評值	点面	必要性 有効性 4 3	達成度	効率性 2	総合評	7価	ļ	<u> </u>	1	i 効性 3	達成月	5	<u> </u>	生	総	合評 B	価
	今往	後の	-	<u>3</u> 犬維持	<u></u>	B ○ 民間委詞	托等	0	<u>+</u> 拡大∙₃	 充実		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		<u></u> 方法改割		〇 民間	_ <u>B</u> 引委記	 £等
A		句性			廃止/休止			0	縮小		統合/終			廃止/休				
C				-						二次	評価での	指摘事項	頁及し	バー次評	価と	の相違点	į	
Ţ		題	施設の老朽化に伴う維持管理	理費用の増加	が見込まれます	す。												
0	HFI							宝彳	・計画に	公って	進めてくだ	さい						
N		草案 ミ行	市民から親しまれる施設を目		性を考慮した妄	そ全で効率的な	運営に		, n, m, e,	, д У С,	200 0 (12							
	計		めた事業の推進が必要です。	0														
		会 事項																

	No. 22 —	20 基本事務事	業名 商	工振興事	务	事系	8事業名	金清	公園管理	里事業		公的	月与 8	シート作	成日	平成21	年6月10日
	部局名	卢	E業建設	验部	課名	商コ	二観光課		主務認	果長名		高橋弘-	– :	シート作り	或者名	岩	台佐賢二
	事業区分	○ 1 ソフト?			3 経常的事務)		€•負担金			漢運営方		直営			全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持		○ 6 ₱	内部管	管理事務		他 ^{丁才}	连百刀。		一部委			補助等
					展するまちづく	くり			実施計	画				業の開始			
	総合計画	基本計画(施							1 該当		平月			平成			間設定なし
		主要施策	(1))観光•交流換	L点の整備充実、2	ネットワーク	化の推進		2 非該当	<u> </u>	根	拠法令等	阿波市	7補助金3	を付規則	IJ	
		対象(誰を、 何を)	観光客	·市民													
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	観光施設	の維持管理なる	どを行うこ	ことにより、	、受入	態勢を強	化し観	光客の誘	致を図り	ます。				
PL		たいのか)	今年度	Ę													
AN		具体的にどの	りような	活動を行し	ヽますか。(主な	なもの51	つまで)										
N		① 公園内の															
	事業の	② 公園内の															
	活動内容	③ 公園内ト		掃													
		④ 遊具の点															
		⑤ 白鳥の管															
		指標名	当	【計算式】	ては指標設定理	単由 単	位	130	平成	19 =		平成	20 年度		成 21		最終目標
	数値目標 (事業の目的	除草回数/年		施設を管	理していくため		美	標_ 積			3			3			3 3
	及び活動内 容の達成度	公園等清掃回数	数/月	施設を管	理していくため			標 装積			8			8			8 8
	を測る指標)	遊具点検回数/	⁄年	施設を管	理していくため	[標績			12 12			12 12		1:	2 12
	予算費目	会 計			会計			商工	費		項	1 商工	費		目 1	観光費	
			2	平成 1	9 年度決	算 平	成 2	20	年度決	算	平成	21	年度予算	Į		備考	
		国庫支出			0 -	千円			0	千円			0 Ŧ	円			
		県 支 出	金		0 -	千円			0	千円			0 Ŧ				
	直接事業費	地 方	債		0 -					千円			0 Ŧ				
D	臣以于不負	その他特定			0 -					千円			0 ∓				
0		一般財	源		1,100				1,100				1,100 ∓				
		計(A)	/ ∇ # -	2.050	1,100		200 '		1,100		0.000		1,100 ∓	_			
		正職員工数:		0.050 人	306	千円 0.0	060 人		367	千円	0.060	<u>ا</u>	377 ∓	円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		000 1		T.III. 0.1	200 1		0	- m	0.000		0 -				
	全 休車:	臨時·嘱託工数· 業费(Δ+B)	社負	0.000 人	1.406		000 人		1 467	千円	0.000 ,	<u>ا ا</u>	0 1				

					チェ	ック項目					_	-次評	平価		-	一次評価	の説	明		二次	評価	<u> </u>
		1.						、確保できる等 と響は大きくな		0	少ない	١ (大き	きい		園は市場 公園の中			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、	次年	度以降美	€施す	る緊急性が認	認められない。		ない	(ある	5		あることか			0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上のため	に、3	現在の手段	段、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	(● ない	Λ		ぎす。今後 ぎを行うこ			0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ				Í 隣自	お体と比較し	ンてニーズを -	0	いる	(• いね	すい	客の誘致	対が図れ	ます。 		0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するた	めに.	、事業内容	学が必	ずしも適切とに	まいえない 。	0	いえな	:(1)	● いえ	える	遊具・施	設等を良 より、誰で	好なりでも安か	大態に保 いして利	0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	シネリ化な	ど、旅	策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	:61	○ <i>い</i> え	t a		状態にな			•	いえない	0	いえる
CH	性	3.	市が実施する	る施策の中	中で類	類似・重複	夏した	事務事業が存	存在する。	0	する	(● しな	īl1					0	する	•	しない
E		4.	事業の継続る	をしても成	 大果の	向上が期	明待で	ぎきない。		0	できな	:L\ (● でき	きる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗	歩状汅	記が劣って	こいる	と思う。		0	目標に	比べ	て劣ってし	いる		☆園を目打 ご期的に			0	目標に比	べて針	らっている
	達	2.	目標設定に対	対して成界	見があ	まり上か	うて	いないと思う	5 。	0	あまり_	上がっ [・]	ていない		に、除草	(清掃)化	手業に	ついて	0	あまり上か	ってし	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね	a目標	票を達成し	てじ	いると思う。		0	概ね道	を成し ⁻	ている			業務委託 良好な状		色すること ₹たれて	0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	対して十分	引に目	標を達成	えして	いると思う。		0	十分這	達成し	ている		います。				0	十分達成	してし	る
		1.	効果に比べて	てコストか	が高い	١,				0	高い	(適当	当		減を目標 管理日数			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウィ	ハウヤ	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	(つ でき	きない	件費を削				•	できる	0	できない
	性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関	目係で	:、実施手	段等	を見直す余地	也がある。	0	ある	(● ない	Λ					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	的方法の変	変更な	だにより	リコス	く ト削減の余地	也がある。	0	ある	(つ ない	Λ					0	ある	0	ない
							次評	-								_	二次評					
	評値	西点	必要性	有効	性	達成	吏	効率性	総合評	平価		必	要性 4	1	<u>有効性</u> 3	達成		効率	生	総	合評	呼価
	今後	を の			現划	<u>3</u> *維持	0	2 方法改善	B C C C C C C C C C	托等	(○ <u>ŧ</u>	<u>4</u> 広大・充	 : : 実:		<u>」 </u>		<u> 2 </u> 方法改善	<u></u> 善	〇 民間	B 引委	 託等
A		句性				期設定	_	廃止/休止					宿小	To		以 期設定		廃止/休		0 1 4.1		
C				-			•							二次	(評価での	の指摘事	項及	び一次評	価と	の相違点	ā	
Ţ		面の問題	施設の老朽化	とに伴う維	持管	理費用の	増加な	が見込まれます	t.													
0	HPI	.,										电行言	土面に3	ひって	進めてくナ	ジオい						
N		革案 実行						て、利便性を考	慮した安全で	効率的		~111	ПШТСЛ	пос	ZE 67 C 17							
		·画	運営に努めた	- 事 業の推	進が	必要です。	0															
		員会 事項																				

	No. 22 —	21 基本事務事	業名商	□振興事系	务	事務事美	業名 大	月公園管理	事業		公的関与	8 シ	ート作成日		年6月10日
	部局名	産	業建設	-	課名	商工観決	光課	主務課	長名	岸	「橋弘一	シー	-卜作成者		·佐賢二
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務事			金•負担金•		車業温	運営方法		.営		全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・そ		学 未足	E 占 刀 仏		·部委託		甫助等
					展するまちづくり			実施計画	<u> </u>				の開始・絲		
	総合計画	基本計画(施		観光の振	興		0			平成	1.7	~ 平		年 🛂 期間	間設定なし
		主要施策	(1)	観光∙交流拠	<u>l</u> 点の整備充実、ネット	・ワーク化の	推進	2 非該当		根拠	法令等	阿波市補	助金交付規	見則	
		対象(誰を、 何を)	施設の和	川用者											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	施設を利	用する方が快適に	利用できる	環境作場	小に努めます	0						
PL		たいのか)	今年度												
AN				舌動を行い	ゝますか。(主なも	の5つまつ	で)								
N		① 公園内の													
	事業の	② 公園内の													
	活動内容	③ 公園内ト	イレの清	帚											
		4													
		5													
		指標名	<u> </u>	計算式又	は指標設定理由	単位		平成 1	19 年月		平成 20:		平成	21 年度	最終目標
	数値目標 (事業の目的	除草回数/年		施設を管	理していくため	回	目標 実績			3		3		3	3
	及び活動内		h / B	体設を答	 理していくため	回	目標			15		15		15	15
	容の達成度 を測る指標)	五图专用师回数	×> /1	心吹でも	生0 (0 (7:0)		実績			15		15			
	で 測る 拍保 /						目標								
							実績								
	予算費目	会 計		一般		款	7 商		- 1 -	項 1	商工費		目	1 観光費	
				成 1		平成	20	年度決算		F 成	21 年月	度予算		備考	
		国庫支出			0 千円			0 =	_			0 千円			
		県 支 出	金		0 千円			0 ∓				0 千円			
D	直接事業費	地 方 その他特定則	債		0 千円			0 =				0 千円			
0		一般財	源源		0 千円 820 千円			0 ∓ 820 ∓			0	0 千円			
		耐(A)	小尔		820 千円			820 1				20 千円 20 千円			
		正職員工数・総	込書 ∪	050 人	306 千円		人			0.060 人	_	77 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職		000 X	300 FF	0.000	<u> </u>	307	1 1 0.	,	3	111			
		臨時·嘱託工数·		000 人	0 千円	0.000	7	0 =	ΞД Λ	.000 人		0 千円			
	全体事	業費(A+B)	12.0	/\	1,126 千円			1,187 +			1,1	97 千円			

			=	エック項目					_	次評值	5		_	·次評価(の説り	明		二次	評価	Ī
		1.	市が実施しなくても、な主体があり、事業を廃」					0	少ない	•	大きい	`	大月公園 置し、県ご	直津田川!	島線を	上通行す	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、海	7年度以降3	実施す	する緊急性が認	忍められない。	0	ない	0	ある		る方の休今後も通				0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の向上のために	、現在の手	ひ、 方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない		された施	設を提供	するこ	とによ	0	ある	0	ない
		4.	住民ニーズの低下がみた 上回るサービスとなって		丘隣自	自治体と比較し	ンてニーズを 	0	いる	•	いない		り、市のイ す。	ſメージア 	ップカ	が図れま	0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実現するため	に、事業内	容が必	必ずしも適切とに	まいえない 。	0	いえなし	,	いえる		施設等をにより、誰				0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	, O	いえる		る状態に				0	いえない	0	いえる
C H	性	3.	市が実施する施策の中で	ご類似・重複	复し <i>た</i>	に事務事業が存	存在する。	0	する	0	しない						0	する	•	しない
E		4.	事業の継続をしても成り	見の向上が其	期待で	できない。		0	できなし	,	できる						0	できない	•	できる
C K		1.	目標設定に対して進捗	犬況が劣っ ⁻	ている	ると思う。		0	目標に	上べて針	らっている		安全な公 点検を定				0	目標に比	べて劣	っている
	達成	2.	目標設定に対して成果が	があまり上が	がって	ていないと思う	5 。	0	あまり上	がってし	ない		に、除草	(清掃)作	業に	ついて	0	あまり上が	ってい	ない
	度	3.	目標設定に対して概ね	標を達成	してし	いると思う。		0	概ね達	或してに	る		も、管理美により、良				0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対して十分に	こ目標を達成	せして	ていると思う。		0	十分達	成してに	13		います。				0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べてコストが高	引い。				0	高い	•	適当		コスト削減を抑制(管				0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハワ	フや新たな制	削度を	を活用できる。		•	できる	0	できな		件費を削				0	できる	0	できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係	系で、実施=	手段等	等を見直す余 均	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	0	ない
		4.	電子化や契約方法の変更	巨などにより	ノコフ	スト削減の余均	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	0	ない
			_		·次評	•									次評	-				
	評値	五点		達成	度	効率性	総合評	価		必要	性	有	i 効性 3	達成/	芰	<u> </u>	生	総	合評	価
	今後	後の	-	<u> </u>		<u> 2 </u>	B ○ 民間委割	托等			L 大•充∋	実		<u> </u>		<u></u>	<u></u>		B 引委記	 毛等
A		句性		終期設定	O	廃止/休止							統合/終			廃止/休				
C											=	次	評価での	指摘事項	頁及7	ゾー次評	価と	の相違点	į	
Ţ		面の 題	施設の老朽化に伴う維持	管理費用の	増加	が見込まれます	† 。													
0	杯	咫							+	خت≟⊥ت	豆1ー3八~	- ナ ソ	進めてくだ	+11						
N		草案 ミ行	利用する方に親しまれる		て、ラ	利便性を考慮し	た安全で効率	的な		11916	의(<u>~</u> /급*.	<i>)</i> (1	生め) しく/こ	۰٬۰۵۰						
	計		に努めた事業の推進が必	·要です。 																
		会 事項																		

	No. 22 —	22 基本事務事	業名 商	工振興事務	务	事務	事業名 [土柱公園管理	里事業		公的関与	9 8 シ	一卜作成日	平成21:	年6月10日
	部局名	卢	產業建設	验部	課名	商工	観光課	主務調	果長名		高橋弘一	シー	ート作成者名	3 岩	·佐賢二
	事業区分	○ 1 ソフト?			3 経常的事務			助金·負担金		* * *	運営方法	1 直			全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持		○ 6内	部管理事務		也	廷占刀仏		-部委託		補助等
					展するまちづく	(1)		実施計	画				の開始・終		
	総合計画	基本計画(施						○ 1 該当		平成				₹ ☑ 期間	間設定なし
		主要施策	(1))観光•交流拠	『点の整備充実、ネ	トットワークイ	上の推進	● 2 非該当	<u> </u>	根抄	心法令等	阿波市補	助金交付規	.則	
		対象(誰を、 何を)	観光客	·市民											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	観光施設	の維持管理など	ごを行うこと	こにより、	受入態勢を強	化し観:	光客の誘	致を図りまっ	す。			
PL		たいのか)	今年度	Ę											
AN		具体的にどの	のような	活動を行し	ゝますか。(主な	よもの5つ	まで)								
N		① 公園内の													
	事業の	② 公園内の													
	活動内容	③ 公園内ト		掃											
		④ 遊具の点	(検												
		5	_	I-125 12									- ·		
		指標名	<u> </u>	計算式入	スは指標設定理	自 単位			19 年		平成 20			1 年度	最終目標
	数値目標 (事業の目的	除草回数/年		施設を管	理していくため	回	目 実	漬		3		3		3	3
	及び活動内 容の達成度	公園等清掃回数	数/月	施設を管	理していくため	回	目 実糸			8		8		8	8
	を測る指標)	遊具点検回数/	/年	施設を管	理していくため	回	目相実統			12 12		12 12		12	2 12
	予算費目	会 計		一般	会計		款 7 i	商工費		項	1 商工費		目	1 観光費	
			2	平成 1	9 年度決算	算 平月	文 20) 年度決	:算	平成	21 左	F度予算		備考	
		国庫支出			0 =	千円		0	千円			0 千円			
		県 支 出	金		0 =				千円			0 千円	4		
	直接事業費	地 方	債		0 =				千円			0 千円			
D	正汉于不兵	その他特定			0 =				千円			0 千円			
0		一般財	源		1,440 =			1,440				,440 千円			
		計(A)	/∇ # •	2050 1	1,440 =		20 1		千円	0.000 '	_	,440 千円	4		
	1 /4 建 / ラン	正職員工数·語		0.050 人	306	千円 0.06	30 人	367	千円	0.060 人		377 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託耶 臨時·嘱託工数·		0.000 人	0	千円 0.00	00 1	^	- m	0.000 人		0 7 5			
	全 休車:	上午, 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	性其	J.000 A	1 746		00 人	1 207		人 000.0		0 千円 817 エ四			

				チェ	ック項目					_	次評価		_	-次評価の	の説明	明		二次	評価	i
		1.	市が実施しなくてき 主体があり、事業を						0	少ない	② 大	こきい	位置し、な	は阿波町 公園の中の	り「阿	波の土	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中	中、次年	度以降実	態を	「る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	● あ	3		の天然記念 ことから観			0	ない	•	ある
	性		住民満足度の向上のた						0	ある	○ ta	il١	ています	。今後も施	設の	維持管	0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの低下が上回るサービスとが			上隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	• L	ない		行うことに [、] 図れます		観光客	0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実現する	るために	、事業内容	₹が必	がずしも適切とは	はいえない。	0	いえなし	را © را	える		設等を良好 より、誰で			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化	など、旅	逆策への 貢	献度/	が著しく高いとに	はいえない。	0	いえなし	\ \ \ \ \ \ \ \	える		状態になっ			0	いえない	0	いえる
C	性	3.	市が実施する施策の	の中で類	類似・重複	更した	- 事務事業が存	在する。	0	する	О	ない					0	する	•	しない
X O M H O		4.	事業の継続をしても	も成果 <i>の</i>	向上が期	待て	ごきない。		0	できなし	○ で	きる					0	できない	•	できる
K		1.	目標設定に対して近	進捗状 沥	記が劣って	いる	ると思う。		0	目標に	とべて劣って	ている		園を目指 期的に実			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対して原	成果があ	まり上が	うて	いないと思う	j 。	0	あまり上	がっていなし	۸,	に、除草	(清掃)作	業につ	ついて	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対して構	既ね目標	票を達成し	てし	いると思う。		0	概ね達	或している			業務委託を と好な状態			0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対して-	十分に目	標を達成	えして	こいると思う。		0	十分達	成している		います。				0	十分達成	してい	3
		1.	効果に比べてコス	トが高い	١,				0	高い	適	鱼当		域を目標に 管理日数を			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体のノワ	新たな制	度を	た活用できる。		0	できる	O 7	きない		減)してい			0	できる	0	できない	
	性	3.	予算・人員と成果の	也がある。	0	ある	○ t₃	il١					0	ある	•	ない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地が4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地が							0	ある	0 ts	il١	1				0	ある	0	ない
					_	次評	価							=	次評	価				
	評値	点点		効性	達成原	芰	効率性	総合評	価		必要性	7	有効性	達成原	支	効率	生	総	合評	·価
	今往	を の	4	3 ○ 現状	<u>3</u> :維持		<u>2</u> 方法改善	B ○ 民間委詞	千等		<u>4</u>)拡大・	<u>し</u> 充実	3 │ ○ 現∜	<u>3</u> 		<u> 2 </u> 方法改善	<u></u>		B]委i	 £等
Δ		句性			期設定	0	廃止/休止	0 1011721					統合/終			廃止/休				
Ĉ												二次	(評価での)指摘事项	頁及で	ゾー次評	価と	の相違点	į	
ACT-OZ		画の 題	施設の老朽化に伴う	維持管理	理費用の増	増加:	が見込まれます	۲.												
ON										—— 実	行計画に	沿って	進めてくだ	ごさい 。						
	وع ا	草案 実行 画	観光客・市民から親は 運営に努めた事業の	しまれる)推進が	公園を目 必要です。	指して 。	て、利便性を考	慮した安全でダ	効率的											
		員会 i事項																		

	No. 22 —	23 基本事務事	業名 商コ	L振興事和	务	事務事業	業名 浦洋	也親水公園管	理事業		公的関与 8	ノート作成日		丰6月10日
	部局名	産	業建設	部	課名	商工観光	光課	主務課長	名	高	橋弘一シ	ート作成者名		佐賢二
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務事			金・負担金・ヲ		1 幸温		直営		部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・そ	の他	十木년		一部委託		助等
					展するまちづくり			実施計画				業の開始・終		
	総合計画	基本計画(施					0	· H21 —		平成			■ ☑ 期間	設定なし
		主要施策	(1)	観光·交流拠	!点の整備充実、ネッ!	マーク化の	推進 ①	2 非該当		根拠》	法令等 阿波市神	補助金交付規則	則	
		対象(誰を、 何を)	公園の利	川用者										
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	市民の憩	いの場、レクリエー	-ションの場	易として、ī	市民が快適で	楽しく利用	できる	る環境作りに努めま	きす。		
PL		たいのか)	今年度											
AN				舌動を行い	ゝますか。(主なも	の5つま	で)							
N		① 公園内の												
	事業の	② 公園内の	清掃											
	活動内容	3												
		4												
		5		1-1						_			<i>-</i>	
		指標名	<u> </u>	計算式又	は指標設定理由	単位		平成 19		_	平成 20 年度	平成 21		最終目標
	数値目標 (事業の目的	除草回数/年		施設を管	理していくため	□	目標 実績			6 6		6	6	
	谷の连戍及	公園等清掃回数	文/月	施設を管	理していくため	回	<u>目標</u> 実績			1	-	1 <u> </u>	1	1
	を測る指標)						目標							
							実績							
	予算費目	会 計		一般		款	7 商.		項	1	商工費	目 1	観光費	
				成 1		平成	20	年度決算	平成	2	21 年度予算		備考	
		国庫支出			0 千円			0 千円			0 1 F			
		県 支 出	金		0 千円			0 f f			0 1 F	_		
	直接事業費	地方	債		0 千円			0 ↑ F			0 ↑ F	_		
DO		その他特定則			0 千円			0 ↑ F			0 ↑ ₽	_		
U		一般財	源		120 千円			120 千円			120 ∓₽			
		計(A)	又弗	050 1	120 千円			120 ∓₽			120 1 F			
	上供弗(口)	正職員工数·絲		050 人	306 千円	0.060	人	367 壬円	0.060	人	377 ∓₽	1		
	人件費(B)	臨時·嘱託職 臨時·嘱託工数·		000 人	0 m	0.000		0 0	0.000	1	0	,		
	全体事	<u> 臨時・鴻武工数:</u> 業費(A+B)	性	000 人	0 千円 426 千円		<u> </u>	0 千円 487 千円		人	0 千円 497 千円	_		
	- TT 7	1-2-11			.=-				-			* 1		

			チェック	ク項目				一次	マ評価		_	·次評価の	り説り	月		二次	評価	i
		1.	市が実施しなくても、公平性 主体があり、事業を廃止・休				0	少ない	• 7	大きい	部に位置	公園は土し,市民の	憩い	の場と	0	少ない	0	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度	と 以降実施す	る緊急性が認	忍められない。	0	ない	O a	ある		ます。今後 Sいを感じ			0	ない	0	ある
	性	3.	住民満足度の向上のために、現る	在の手段、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	O 10	はい	た交流の	場を提供 ⁻	するこ	とによ	0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの低下がみられた 上回るサービスとなっている		治体と比較し	_ン てニーズを	0	いる	• ı	いない	り、福祉の 上が図れ)増進や ^比 ます。	地域文	化の向	0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実現するために、	事業内容が必	ずしも適切とに	はいえない 。	0	いえない	0 l	ハえる	施設等をにより、誰	良好な状態でも安心			0	いえない	0	いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策	でへの貢献度が	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	0 L	ハえる		なっていま		1713 CC	•	いえない	0	いえる
C H	性	3.	市が実施する施策の中で類似	以・重複した	:事務事業が存	存在する。	0	する	Ο Ι	しない					0	する	•	しない
E		4.	事業の継続をしても成果の向	1上が期待で	きない。		0	できない	O 7	できる					0	できない	0	できる
C K		1.	目標設定に対して進捗状況が	ぎっている	と思う。		0	目標に比	べて劣っ	ている		園を目指し期的に実活			0	目標に比べ	べて劣	っている
	達成	2.	目標設定に対して成果があま	り上がって	いないと思う	5 。		あまり上か	べっていな	:L\	に、除草	(清掃)作	業につ	いて	0	あまり上が	ってい	ない
	度	3.	目標設定に対して概ね目標を	達成してい	ると思う。		0 :	概ね達成	している			業務委託を と好な状態			•	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対して十分に目標	票を達成して	いると思う。		O .	十分達成	たしている		います。				0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べてコストが高い。				0	高い	O i	適当		域を目標に 管理日数を			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新	fたな制度を	活用できる。		0	できる	0 7	できない	件費を削				•	できる	0	できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で、	実施手段等	を見直す余均	也がある。	0	ある	O 10	はい					0	ある	0	ない
		4.	電子化や契約方法の変更など	によりコス	ト削減の余地	也がある。	0	ある	O to	はい					•	ある	0	ない
				一次評	-	_							次評	-				
	評値	五点	必要性 有効性 4 3	達成度	効率性	総合評	価	į	<u> </u>	. 1	与 <u>効性</u> 3	達成月	支	<u> </u>	生	総	合評	価
	今後	後の	-		2 方法改善	B ○ 民間委詞	£等	0	<u>+</u> 拡大・	<u> </u> · 充実		、 維持			Ė.	〇 民間	<u>B</u>]委詞	 £等
A		句性			廃止/休止		<u> </u>	0	縮小		統合/終			廃止/休				
C										二次	評価での	指摘事項	夏及て	バー次評	価と	の相違点	į	
Ţ		面の 題	施設の老朽化に伴う維持管理語	費用の増加が	が見込まれます	† 。												
0	HAY							宝衫	-計画に	一公って	進めてくだ	オ ロ						
N		草案 ミ行	▋中氏から稅しまれる施設を日指	追して、利便性	生を考慮した安	全で効率的な	運営に		,	-/11 5 (200 6 (12							
	計		めた事業の推進が必要です。															
		会 事項																

	No. 22 —	24 基本事務事	業名一商コ	L振興事 和	务	事務事為		戈地区公衆トイ	「レ管理事	工業 公的関与	8 シ	一卜作成日	平成21年	
	部局名		業建設		課名	商工観決		主務課長		高橋弘一		-卜作成者名		佐賢二
	事業区分	○ 1 ソフト?			3 経常的事務事			金・負担金・支		業運営方法	1 直			部委託
	争未四万	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部管	管理事務・その)他 デ	未连占力丛		·部委託		助等
					展するまちづくり			実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施						1 該当	平		~ 平		☑ 期間	設定なし
		主要施策	(1)	観光・交流拠	<u>l</u> 点の整備充実、ネット	ワーク化の	推進	2 非該当	根	拠法令等	阿波市補	助金交付規則	<u>I</u> J	
		対象(誰を、 何を)	施設の利	用者										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	誰もが快	適に使用できるトイ	レにするこ	ことにより、	、当市のイメー	ジアップが	図れます。				
P		たいのか)	今年度											
A				舌動を行い	ゝますか。(主なも	の5つまで	で)							
N		① 施設清掃	ł											
	事業の	2												
	活動内容	3												
		4												
		5	-	1=1 <i>b</i> =±=		22/ J.L.		T = 10	<i>-</i> -		<i>F</i>	T = 0.1	<i>F</i>	
		指標名	<u> </u>	計昇式又	は指標設定理由	単位		平成 19		平成 20		平成 21		最終目標
	数値目標	施設清掃回数/	/月	施設を管	理していくため	回			15 15		15 15	_	15	15
	(事業の目的 及び活動内								13		15			
	容の達成度						<u> </u>							
	を測る指標)						 目標							
							実績							
	予算費目	会 計		一般	会計	款	7 商コ		項	1 商工費		目 1	観光費	
			平	成 1	9 年度決算	平成	20	年度決算	平成	21 年	度予算		備考	
		国庫支出	1 金		0 千円			0 千円			0 千円			
		県 支 出	金		0 千円			0 千円			0 千円			
	直接事業費	地 方	債		0 千円			0 千円			0 千円			
D	但该于未具	その他特定原			0 千円			0 千円			0 千円			
0		一般財	源		650 千円			650 千円			650 千円			
		計(A)			650 千円			650 千円			<mark>50</mark> 千円			
	I III =#5 / _ 5	正職員工数:		050 人	306 千円	0.060	人	367 千円	0.060	人	<mark>77</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職				0.655	.		0.655					
		臨時·嘱託工数·	経費 0.	000 人	0 千円	0.000	人	0 千円	0.000		0 千円			
		業費(A+B)			956 千円			1,017 千円		1,0	27 千円			

				J	エック項	目					次評価		_	-次評価(の説	明		二次	評価	
		1.					が確保できる等 影響は大きくな		0	少ない		大きい	土成地区	公衆トイル	ノはコ	上成町の	0	少ない	• 大	きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、炎	7年度以1	幹実施 で	する緊急性が認	忍められない。	0	ない	○ a	ある		方の休憩 今後も通行			0	ない	ある	3
	性	3.	住民満足度の	句上のために	、現在の	手段、ブ	ち法等の改善の:	余地がある。	0	ある	○ t _c	はい	潔に整備	おれた施	設を担	是供する	0	ある	ない	١١
		4.	住民ニーズの 上回るサーt			近隣目	自治体と比較し	_ン てニーズを	0	いる	• ı	いない	ことによ ^り 図れます	り、市のイ - 。	メーシ	ジアップが	0	いる	● しいろ	ない
		1.	施策の目的を	実現するため	に、事業	内容が必	ひずしも適切と!	はいえない。	0	いえなし	, O 1	ハえる		・良好な状 准でも安心			0	いえない	● い	える
	有効	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、	施策への	貢献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	, O 1	ハえる		なっている			0	いえない	O 11	える
CH	性	3.	市が実施する	る施策の中で	: 類似• :	重複し#	た事務事業が存	存在する。	0	する	Ο ι	しない					0	する	● した	はい
E		4.	事業の継続る	をしても成界	見の向上が	が期待で	できない。		0	できなし	۱ 🔾 ۲	できる					0	できない	で	きる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状	対況が劣・	っている	ると思う。		0	目標に	比べて劣って	ている		を管理業 、良好な状			0	目標に比	べて劣って	いる
	達	2.	目標設定に対	対して成果だ	「あまり_	こがって	ていないと思う	ō 。	0	あまり上	がっていな	:L\	います。	C DXI G D	.,6.1~	pk72.10 C	0	あまり上が	っていない	S
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成	 してし	ハると思う。		0	概ね達	成している						•	概ね達成	している	
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を迫	権成して	ていると思う。		0	十分達	成している						0	十分達成	している	
		1.	効果に比べて	てコストが高	らい。				0	高い	O j	適当		減を目標に 管理日数る			0	高い	● 適	当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウ	7や新た7	制度を	を活用できる。		0	できる	0 7	できない		川減)してい			0	できる	でき	きない
	性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係	系で、実施	5手段等	等を見直す余均	也がある。	0	ある	O 10	ない					0	ある	ない	١,
		4.	電子化や契約	的方法の変更	などに。	こりコス	スト削減の余均	也がある。	0	ある	O to	はい					0	ある	ない	ر ۱
						一次評								=	次評					
	評値	五点	必要性	有効性	達	或度 2	効率性	総合評	F価		必要性	. 7	有効性 3	達成/	芰	効率性	生	総	合評価	
	今後	 复の			<u></u>	3	<u> 2 </u>	B	托等		- · · ·	<u> </u> · 充実		<u>」 </u>	0	<u> 2 </u> 方法改善	<u> </u>			Į.
A		句性			終期設定						縮小		統合/終		Ō	廃止/休				
C				•		•						二次	マ評価での)指摘事]	頁及(び一次評	価と	の相違点	į	
Ţ		面の題	施設の老朽仏	とに伴う維持	管理費用	の増加	が見込まれます	す 。												
0	Heli										:行計画に	- 沿って	進めてくた	ジオい						
N		草案 毞行				して、	利便性を考慮し	た安全で効率	的な			C/L J C)E 0) C (/.							
	計	画	に努めた事業	€の 推進が必	要です。															
		員会 i事項																		

	No. 22 —	25 基本事務事	業名商	□振興事剂	务	事務事美	業名 中央	央公園管理事	業		公的関与 8 シ	一卜作成日		年6月10日
	部局名	産	業建設	部	課名	商工観決	光課	主務課長	:名	高	橋弘一 シー	ート作成者名		佐賢二
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務事			金・負担金・ヲ		李准		営		全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・そ	の他 ^す	木廷		-部委託		助等
					展するまちづくり			実施計画				の開始・終		
	総合計画	基本計画(施					0	· H2 ·		7成			耳 🗸 期間	設定なし
		主要施策	(1)	観光∙交流拠	!点の整備充実、ネット	・ワーク化の	推進	2 非該当		根拠》	去令等 阿波市補	助金交付規	.則	
		対象(誰を、 何を)	公園の利	川用者										
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	市民の憩	いの場、レクレエー	-ションの均	易として、	市民が快適で	楽しく利用	できる	る環境作りに努めま	す。		
PL		たいのか)	今年度											
AN				舌動を行い	ゝますか。(主なも	の5つま	で)							
N		① 公園内の												
	事業の	② 公園内の	清掃											
	活動内容	3												
		4												
		5		I - 1 - 1 - 1 -		1 22/11							<i>-</i> -	
		指標名	<u> </u>	計算式又	は指標設定理由	単位		平成 19		_	平成 20 年度		21 年度	最終目標
	数値目標 (事業の目的	除草回数/年		施設を管	理していくため	回	目標 実績		(6		6	6
	谷の连戍及	公園等清掃回数	女/月	施設を管	理していくため		目標 実績			2	2		2	2
	を測る指標)						目標			1				
							実績			1				
	予算費目	会 計		一般	会計	款	7 商		項	1	商工費	目	1 観光費	
				成 1	9 年度決算	平成	20	年度決算	平成	2	11 年度予算		備考	
		国庫支出			0 千円			0 千円	3		0 千円			
		県 支 出	金		0 千円	I .		0 千円			0 千円	4		
	直接事業費	地 方	債		0 千円			0 千円			0 千円	4		
D	正汉于不兵	その他特定則			0 千円			0 千円			0 千円			
0		一般財	源		120 千円			120 千円			120 千円			
		計(A)			120 千円			120 千円			120 千円	4		
	L // # /->	正職員工数·網		050 人	306 千円	0.060	人	367 千円	0.060	人	377 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職		000	0 :=	0.000		0 :-	0.000		0 :=			
	A/+市·	臨時·嘱託工数·	社 質 0.	000 人	0 千円		<u>۸</u>	0 千円		人	0 千円			
	王仲争	業費(A+B)			426 千円			487 千円	i i		497 千円	1		

			チェック項目		— <u>ұ</u>	欠評価	一次評価の説明		二次	(評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	● 大きい	中央公園は土成町の中央部 位置し、市民の憩いの場とな	って	○ 少ない	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	ある	います。今後も市民が憩いや おいを感じ、年代を超えた交		○ ない	ある
	性		住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	● ない	の場を提供することにより、裕	富祉	ි	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	● いない	の増進や地域文化の向上が れます。	図	○ เงื	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえない	● いえる	施設等を良好な状態に保つこ により、誰でも安心して利用で		○ いえない	● いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえない	○ いえる	る状態になっています。		いえない	○ いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない			○ する	● しない
CHECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できない	● できる			○ できない	● できる
K		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標に比	とべて劣っている	安全な公園を目指し、施設の 全点検を定期的に実施する		○ 目標に比	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上が	がっていない	もに、除草(清掃)作業につい	て	○ あまり上が	うていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	0	概ね達原	 成している	も、管理業務委託を実施した により良好な状態に保たれて		● 概ね達成	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	0	十分達成	或している	ます。		〇 十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当	コスト削減を目標に管理業務 を抑制(管理日数を減少して		○ 高い	適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	○ できない	件費を削減)しています。		● できる	○ できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	● ない			<u></u>	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	○ ない			ある	○ ない
			一次評価				二次評価		į.	
	評値	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評 4 3 3 2 B	価		必要性 7 4	有効性 達成度 効 3 3 3	<mark>)率性</mark> 2	総	合評価
	今往	を の	4 3 3 2 B ○ 拡大·充実 ○ 現状維持 ● 方法改善 ○ 民間委計	等	0					B 引委託等
A		句性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止		C	4.1		_/休」		
C			•			二次	マ評価での指摘事項及びース	欠評個	面との相違点	ā
ACT-O	当課	面の題	施設の老朽化に伴う維持管理費用の増加が見込まれます。							
N	74-	H			——実	行計画に沿って	進めてください。			
K	と多	革案 実行 ·画	市民から親しまれる施設を目指して、利便性を考慮した安全で効率的な過めた事業の推進が必要です。	運営(に努					
		員会 i事項			-					

	No. 22 —	26 基本事務事	業名 商	工振興事	務	事務事	事業名 宮	3川内ダム4	:園管	理事業	公的関与	8 シ	ート作成日	平成21:	年6月10日
	部局名	卢	E業建設	设部	課名	商工観	見光課	主務誤	長名	ľ	高橋弘一	シ-	ート作成者名	岩	佐賢二
	事業区分	○ 1 ソフト?			3 経常的事務			b金·負担金			運営方法	1 直			全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持) 6 内部	部管理事務•		也	连百刀瓜		−部委託		甫助等
					展するまちづく	IJ		実施計	画				€の開始・終		
	総合計画	基本計画(施						○ 1 該当		平成				☑ 期間	設定なし
		主要施策	(1))観光•交流挑	心点の整備充実、ネ	ットワーク化	の推進 <mark>(</mark>	● 2 非該当	<u> </u>	根拠	<u>l</u> 法令等	阿波市補	助金交付規	則	
		対象(誰を、 何を)	観光客	∙市民											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	包 観光施設	の維持管理など	を行うこと	により受え	入態勢を強化	し、観か	光客の誘致	めを図ります	0			
PL		たいのか)	今年度	Ŧ											
AN		具体的にどの	りような	活動を行い	いますか。(主な	もの5つき	まで)								
N		① 公園内の													
	事業の	② 公園内の	清掃												
	活動内容	3													
		4													
		5													
		指標名	各	計算式又	スは指標設定理	由単位			19 年		平成 20		平成 21		最終目標
	数値目標 (事業の目的	除草回数/年		施設を管	理していくため	回	目標 実績			2		2		2	2
	及び活動内 容の達成度	公園等清掃回数	数/月	施設を管	理していくため	□	目標実績			1		1		1	1
	を測る指標)						目標					·			
							実績								
	予算費目	会 計		一般	会計	泉	欠 7 7	有工費		項 1	商工費		目 1	観光費	
				平成 1	9 年度決算	平成 平成	20	年度決	算	平成	21 年	度予算		備考	
		国庫支出			0 Ŧ				千円			0 千円			
		県 支 出	金		0 Ŧ				千円			0 千円			
	直接事業費	地方	債		0 +				千円			0 千円			
D	四汉于水文	その他特定			0 +				千円			0 千円			
0		一般財	源		300 T			300				300 千円			
		計(A)	₩ # /	0.050	300 ∓		0 1		千円	0.000		300 千円			
		正職員工数·		0.050 人	306 ₹	円 0.060	0 人	367	千円	0.060 人		<mark>377</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託耶 臨時·嘱託工数·		0.000 人	0 T	円 0.000	0 人	0	千円	0.000 人		0 千円	-		
	全 休車:	<u> 晒吋・隅式工数・</u> 業費(Δ+R)	性貝 (U.UUU /	606 =		· /\	667		0.000		677 4四			

					ック項目					_	次評	価		_	·次評価(の説明	明		二次	:評価	5
		1.	市が実施しな主体があり、						0	少ない	•	大き	٠L١	宮川内ダ 部に位置	し、周辺に	こは阿]波市の	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況	況の中、次年	=度以降実	施す	「る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある		特産物の				0	ない	0	ある
	女性	3.	住民満足度の向	上のために、	現在の手段	と、方	法等の改善の余	余地がある。	0	ある	O	ない		訪れてい				0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの仕上回るサービ			隣自	目治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•	いな	い	持管理な 光客の誘				0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	現するために	、事業内容	『が必	がずしも適切とは	はいえない。	0	いえなり	۰,۱ (いえ	る	施設等をにより、誰	良好な状態でも安心			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマンス	ネリ化など、旅	施策への貢献	献度/	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	۰, C	いえ	る	る状態に			1711 CC	•	いえない	0	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で類	類似・重複	した	- 事務事業が存	存在する。	0	する	•	しなり	い					0	する	•	しない
X O M H O		4.	事業の継続を	しても成果の	向上が期	待て	ごきない。		0	できなし	۰, (でき	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	して進捗状況	記が劣って	いる	らと思う。		0	目標に	比べて	劣ってい	る	安全な公 全点検を				0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	して成果があ	まり上が	うて	こいないと思う	j °	0	あまり上	がって	いない		ともに、除	草(清掃))作業	につい	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目標	悪を達成し	てし	いると思う。		0	概ね達	成して	 いる		ても、管理 とにより良				0	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対	して十分に目	標を達成	えして	こいると思う。		0	十分達				います。	C) 1 0 1 1 1 2	341 — IPI	.,_,,	0	十分達成	してい	<u>る</u>
		1.	効果に比べて	コストが高い	١,				0	高い	•	適当	á	コスト削減を抑制(管				0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体の	のノウハウヤ)新たな制	」度を	と活用できる。		0	できる	С) でき	ない	件費を削				•	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係で	・実施手	段等	手を見直す余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約に	方法の変更な	こどにより	コス	スト削減の余地	かある。	0	ある	С	ない		1				•	ある	0	ない
					<u> </u>	次評	価								Ξ	次評	価				
	評値	五点	必要性	有効性	達成原	吏	効率性	総合評	価		必要		7	与 効性	達成原	芰	効率	生	総	合評	価
		を の		3 実 ┃ ○ 現物	3 		<u> 2 </u> 方法改善	B ○ 民間委詞	千笙			<u>·</u> 大•充	<u> </u> 宝		<u>3</u> ₹維持		<u>2</u> 方法改氰	É		B 引委記	チ <u>等</u>
lacksquare		句性		○ 統合/終			廃止/休止	O ECHISCI	1647		分縮		$\widehat{\Box}$	統合/終			廃止/休		O EGIF	11 24 11	
C							72						二次	評価での		_			の相違点	Ī.	
ACT-0	当課	画の	施設の老朽化に	こ伴う維持管	理費用の均	曾加加	が見込まれます	۲.			· / I ·			># vi / 18							
Ň	と多	革案 実行 画	観光客・市民か 運営に努めた事				て、利便性を考	慮した安全でダ	沙率 的	-	《打計》	画に沿	さって	進めてくだ	さい。						
		員会 事項																			

	No. 22 —	27 基本事務事	業名四	国のみち管	哲理事業	事務事為	業名 四	国のみち管理	!業務		公的関与 7 5	ノート作成日	平成21年	丰6月10日
	部局名	產	業建設	部	課名	商工観決		主務課長		高	橋弘一 シ	ート作成者名		兼 徹
	事業区分	○ 1 ソフト를			3 経常的事務事			金•負担金•ラ		車業涯		直営		部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・そ	の他	学 未进	2	一部委託	4 補	亅
					展するまちづくり			実施計画				業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施		観光の振	興)1 該当		平成		<u>年</u> 年	☑ 期間	設定なし
		主要施策					<u> </u>)2 非該当		根拠	去令等			
		対象(誰を、 何を)	四国のみ	かち(阿波市	ī土成町高尾~阿沥	皮市土成町	丁秋月)							
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	四国のみ	ち整備									
PL		たいのか)	今年度											
A				舌動を行い	ますか。(主なも	の5つまつ	で)							
N		① 四国のみ	ち整備											
	事業の	2												
	活動内容	3												
		4												
		5	-			337.7.1							<i></i>	
		指標名	<u> </u>		は指標設定理由	単位		平成 19	4	-	平成 20 年度	平成 21	年度	最終目標
	数値目標 (事業の目的	利用者数		調査ができ	きていないため数 できない。	人	目標実績							
	及び活動内						目標							
	容の達成度 を測る指標)						実績							
	で別の指標)						目標							
	- 45 Th -			1.0	A =1		実績						65 de #h	
	予算費目	会 計	· · ·	一般:		款	7 商.		1 77		商工費	目 2		
				^Z 成 19		平成	20	年度決算	平	<u> </u>	1 年度予算		備考	
		国庫支出			0 千円			0 f P			0 f F	_		
		県 支 出	金		0 千円			292 FP			292 ∓₽	_		
D	直接事業費	地 方 その他特定則	債		0 千円			0 f p			0 f F	_		
O			源源								0 f F	⊣		
		一 般 財 計(A)	// / / / / / / / / / / / / / / / / / /		0 千円 0 千円			0 千P 292 千P	_		0 千円 292 千円	_		
		正職員工数:	終費 0	.000 人	0 千円	0.110	1	292 +P 673 +P		110 人	292 千円 691 千円	⊣		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		.000 人	U TI	0.110	<u> </u>	0/3 TF	1 0.		091 TF	4		
	八斤貝(口)	臨時·嘱託工数·		.000 人	0 千円	0.000	7	0 ∓P	9 00	000 人	0 千円	-		
	全体重	業費(A+B)			0 千円	0.000	/\	965 1 ₽			983 ∓₽	_		

			チェック項目		<u> </u>	次評価	一次評価の説明	二次	マ評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	● 大きい	四国のみち利用者の調査が できていないため整備する必	○ 少ない	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	ある	要があるかどうかが不明であ	○ ない	ある
	性		住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	○ ない	ると考えます。	ある	○ ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	● いない		○ いる	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	•	いえなし	ヽ ○ いえる	四国のみち保全という観点だと有効です。	○ いえない	● いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえなし	ヽ ○ いえる	乙 有劝 C 9 。	いえない	○ いえる
C	効 性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない		○ する	● しない
CHECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	•	できなし	ヽ ○ できる		○ できない	● できる
K		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標に	比べて劣っている	現在の利用者がどれぐらいいるのかが把握できていないた	○ 目標に比	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上	がっていない	め目標設定ができないと思わ	● あまり上か	ぶっていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	0	概ね達	 成している	れます。	○ 概ね達成	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	0		成している		○ 十分達成	えしている
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当	県からの委託金額が年々縮 小されているため現在の委託	○ 高い	適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	● できない	金額では整備についても縮小	○ できる	● できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	○ ない	せざるをえないと考えます。	ある	○ ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	● ない		೦ ಹತ	● ない
			一次評価				二次評価		
	評値	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	価		必要性 7	有効性 達成度 効率 l	生 総	合評価
	今往	多の	3 1 2 3 D ○ 拡大・充実 ● 現状維持 ○ 方法改善 ○ 民間委割	£等			3 2 3_ ┃	美 ○ 民	<u>D</u> 間委託等
Δ		句性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止	<u> </u>			統合/終期設定 ○ 廃止/休		
C			•			二次	評価での指摘事項及び一次評	価との相違が	<u></u>
ACT-O	当 課	面の問題	県と協議をして、委託料の増額をお願いしていきたいと思います。						
N	⊒ <i>h</i> ; 1	<u>革案</u>				き続き事業を推定	進してください。		
	وع ا	半条 実行 ·画	徳島県県民環境部に現地確認を要請し、今後の委託事務について協議を行いた ております。	といと	考え				
		員会 事項	一部通行に支障がある部分があるため利用者がいない。県からの委託	を受り	ナている	が、管理ができれ	ないため今後協議が必要です。		

	No. 22 —	28 基本事務事	業名商	L振興事和	务	事務事為	集名 蛭子	一公園緑化推進委	員会育成	事業 公的関与		一卜作成日		年6月10日
	部局名		業建設	-	課名	商工観決		主務課長		高橋弘一		-卜作成者名		佐賢二
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務事			金•負担金•支		業運営方法	1 直			È部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その	D他 Ti	未连占力丛		-部委託		輔助等
					展するまちづくり			実施計画				の開始・終		
	総合計画	基本計画(施						1 該当			~ 平		F 🔽 期間	設定なし
		主要施策	(1)	観光∙交流拠	l点の整備充実、ネット	ワーク化の	推進	2 非該当	相	! 拠法令等	阿波市補	助金交付規	則	
		対象(誰を、 何を)	公園の利	川用者										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	市民の憩	いの場、レクリエー	ションの場	書として、 ī	市民が快適で楽	どしく利用で	できる環境作り	こ努めます	す 。		
PL		たいのか)	今年度											
AN					ゝますか。(主なも	の5つまつ	で)							
N		① 公園内の	除草•剪	定										
	事業の	2												
	活動内容	3												
		4												
		5	7			22//			<i></i>	T - 2		T L	. <i>b-</i>	
		指標名	5	計昇式又	は指標設定理由	単位	口柵	平成 19	年度 1	平成 20	年度 1	平成 2	<u> </u>	最終目標
	数値目標 (事業の目的	除草回数/年		施設を管	理していくため	回	目標 実績		1		1			
	谷の珪成皮	剪定回数/年		施設を管	理していくため	回	目標 実績		1		1		1	1
	を測る指標)						目標							
							実績							
	予算費目	会 計		一般		款	7 商二		項	1 商工費		目 1	観光費	
				成 1		平成	20	年度決算	平成	21 年月	变予算		備考	
		国庫支出			0 千円			0 千円			0 千円			
		県 支 出			0 千円			0 千円			0 千円			
	直接事業費	地方	債		0 千円			0 千円			0 千円			
D		その他特定原			0 千円			0 千円			0 千円			
0		一般財	源		127 千円			122 千円			22 千円			
		計(A) 工聯号工数 (▽書 ○	050 1	127 千円	0.000		122 千円	0.000		22 千円			
	1 /4 建 / ラン	正職員工数·網		050 人	306 千円	0.020	人	122 千円	0.020	人 1	26 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託崩 臨時·嘱託工数·		000 1	0	0.000		0	0.000		0 75			
		<u> ^{臨時・嘱託工剱・}</u> 業費(A+B)	程 頁 ⋃.	000 人	0 千円 433 千円	0.000	<u> </u>	0 千円 244 千円	0.000		0 千円 48 千円			
	工件书表	不見(ハーロ)			TUU T 🗆			<u> </u>			U			

			チェック項目		一 岁	欠評価	一次評価の説明		二次評価	
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	● 大きい	蛭子公園は市場町の北西部に 位置し、市民の憩いの場となって	〇 少:	ない ② 大き	い
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	\bigcirc	ない	ある	います。今後も市民が憩いやうる おいを感じ、年代を超えた交流	ない	○ ある	
	性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	● ない	の場を提供することにより、福祉	○ ある	⑤ ない	
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	● いない	の増進や地域文化の向上が図 れます。	O 17	③ いない	い
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえない	● いえる	遊具・施設等を良好な状態に保 つことにより、誰でも安心して利	○ w	えない 💿 いえる	გ
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	•	いえない	○ いえる	用できる状態になっています。	● い?	えない 〇 いえる	3
C	性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない		する	③ しなし	١١
CHECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できない	● できる		でき	きない ① できる	3
K		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標に比	とべて劣っている	安全な公園を目指し、遊具等の 点検を定期的に実施するととも	〇 目 [‡]	標に比べて劣ってい	る
	達世	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上た	がっていない	に、除草(清掃)作業について	೦ ಹಕ	きり上がっていない	
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	0	概ね達成		も、管理業務委託を実施したこと により良好な状態に保たれてい	● 概	ね達成している	
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	0	十分達成		ます。	O +:	分達成している	
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当	コスト削減を目標に管理業務費 を抑制(管理日数を減少して人	〇高	い 適当	i
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	•	できる	○ できない	件費を削減)しています。	でき	きる ○ できた	ない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	● ない		<u></u>	3	
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	•	ある	○ ない		ある	3 O ない	
			一次評価			•	二次評価			
	評化	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評(4 3 3 2 B	価		必要性 7 4	有効性 達成度 効率	生	総合評価	
	今往	を の	4 3 3 2 B C B C C B C C B C C	E.等	0	4 拡大∙充実		善	B)民間委託等	
Δ		句性		<u> </u>	0		統合/終期設定 ○ 廃止/休			_
C			,			二次	評価での指摘事項及び一次評	価との村	目違点	
ACT-OZ		面の!題	施設の老朽化に伴う維持管理費用の増加が見込まれます。							
0					実	行計画に沿って	進めてください。			
K	وع	革案 実行	市民から親しまれる公園を目指して、利便性を考慮した安全で効率的な遺めた事業の推進が必要です。	軍営						
		·画								
		員会 事項								

	No. 22 —	29 基本事務事	業名商	L振興事務	务	事務事業	美名 貴船	公園管理事	事業		公的関与 8	シート作成日	 平成21年	丰6月10日
	部局名	産	業建設	部	課名	商工観光	 往課	主務課長	名	高	橋弘一	シート作成者名		佐賢二
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務事			金・負担金・ラ		車業涯		直営		部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理 🔘	6 内部管	管理事務∙そ		尹 未廷	2	2 一部委託		助等
					展するまちづくり			実施計画			事	業の開始・終		
	総合計画	基本計画(施						1 該当		平成	17 年 ~			設定なし
		主要施策	(1)	観光•交流拠	!点の整備充実、ネット	ワーク化の	推進	2 非該当		根拠	去令等 阿波市	7補助金交付規	則	
		対象(誰を、 何を)	公園の和	川用者										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	市民の憩	いの場、レクリエー	ションの場	iŁLT, ī	市民が快適で	楽しく利	月できる	る環境作りに努め	ます。		
PL		たいのか)	今年度											
AN				舌動を行い	ゝますか。(主なも	の5つまで	ご)							
N		① 公園内の	除草											
	事業の	2												
	活動内容	3												
		4												
		5		I - 1 - 1 - 1 - 1		W 11		- ·					<i></i>	
		指標名	<u> 5</u>	計算式又	は指標設定理由	単位		平成 19	年度		平成 20 年度	平成 21		最終目標
	数値目標 (事業の目的	除草回数/年		施設を管理	理していくため	回				1		1	1	
	及び活動内						目標							
	容の達成度						実績							
	を測る指標)						目標							
							実績							
	予算費目	会 計		一般:	会計	款	7 商コ	工 費		項 1	商工費	目 1	観光費	
				成 19	9 年度決算	平成	20	年度決算	平月	或 2	21 年度予算	Ť	備考	
		国庫支出			0 千円			0 ∓ F	9		0 Ŧ	-円		
		県 支 出	金		0 千円			0 ↑ F			0 T			
	直接事業費	地 方	債		0 千円			0 ↑ F			0 T			
D	正汉于不兵	その他特定則			0 千円			0 ↑ F	_		0 =			
0		一般財	源		45 千円			42 ∓F			42 +			
		計(A)			45 千円			42 ∓F			42 T			
	L 101 = th />	正職員工数:		010 人	61 千円	0.020	人	122 千F	∃ 0.0	20 人	126 T	円		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		000		2.225				20 1				
		臨時·嘱託工数·	社 費 0.	000 人	0 千円	0.000	人 <u> </u>	0 ∓F		00 人	0 +			
	王 14 争 3	業費(A+B)			106 千円			164 千F	4		168 T	·円 I		

			チェックス	頁目				一次	マ評価		_	·次評価 <i>0</i>	説	明		二次	評価	
		1.	市が実施しなくても、公平性・ 主体があり、事業を廃止・休止				0	少ない	• 大	きい	位置し、F	は阿波町の 大民の憩い	の場	まとなって		少ない	0	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以	降実施す	る緊急性が認	忍められない。	\circ	ない	● あ	る		今後も市民 じ、年代を			0	ない	0	ある
	性	3.	住民満足度の向上のために、現在の	D手段、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	な	い	の場を提	供すること	世んによ	り、福祉	0	ある	0	ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり 上回るサービスとなっている。	、近隣自	お体と比較し	ノてニーズを	0	いる	• (v	ない	の増進や れます。	地域文化	の向 ——	上が図	0	いる	0	いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業	美内容が必	ずしも適切とに	まいえない 。	0	いえない	● い	える		良好な状態			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策へ	の貢献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	O 11	える		なっていま		1713 CC	•	いえない	0	いえる
C	性	3.	市が実施する施策の中で類似・	重複した	- 事務事業が存	存在する。	0	する	○ し7	ない					0	する	0	しない
HE		4.	事業の継続をしても成果の向上	が期待で	ぎきない。		0	できない	● T	きる					0	できない	0	できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣	っている	と思う。		0	目標に比	べて劣って	こいる		園を目指した を実施した			0	目標に比べ	べて劣	っている
	達成	2.	目標設定に対して成果があまり	上がって	いないと思う	5.	0	あまり上た	ぶっていなし	,1		に保たれて			0	あまり上が	ってい	ない
	度	3.	目標設定に対して概ね目標を達	成してい	いると思う。		0	概ね達成	している]				•	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対して十分に目標を	達成して	いると思う。		0	十分達成	えしている						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べてコストが高い。				0	高い	● 適	i当	コスト削減制している	域を目標に	補助	金を抑	0	高い	0	適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新た	:な制度を	活用できる。		0	できる	O 7:	きない	1,1,10 00 0	34 7 6			•	できる	0	できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で、実	施手段等	を見直す余地	也がある。	0	ある	な	い					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約方法の変更などに	よりコス	(ト削減の余地	也がある。	0	ある	○ な	い					•	ある	0	ない
				一次評	-								欠評	-				
	評値	五点	必要性 有効性 達 4 3	を成度 3	効率性	総合評	価		<u> </u>	1	<u>有効性</u> 3	達成度	Ŧ Ž	<u> </u>	生	総	合評	価
	今後	 後の		_	2 方法改善	B ○ 民間委詞	七等	0	<u> </u>	<u></u> 充実			<u> </u>	<u></u> 方法改善	<u></u>	〇 民間	<u>B</u>]委記	
A		句性			廃止/休止		<u> </u>	O			統合/終			廃止/休				
C			-	<u>-</u>						二次	評価での	指摘事項	及で	バー次評	価と	の相違点	į	
Ţ		画の 題	施設の老朽化に伴う維持管理費月	用の増加が	が見込まれます	t.												
0	HPT								テ計画に	沿って	進めてくだ	さい。						
N		草案 팋行	▋中氏から稅しまれる公園を日뒴し	て、利便性	生を考慮した安	全で効率的な	運営に			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		. • •						
	計	画	めた事業の推進が必要です。															
		員会 事項																

	No. 22 -	30 基本事務事業名		推進事務	事務事業	名 消費	者協会支援事	事業		ノート作成日 平成21年	₹6月10日
	部局名	産業	建設部	課名	商工観光記		主務課長名		高橋弘一シ		村百合子
	事業区分	○ 1 ソフト事業		3 経常的事務事			・負担金・支持 かんりゅう かんりゅう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょう かんしょう かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう				部委託
	争未区力	○ 2 ハード事業	¥ ○	4 施設の維持管理	里 ○ 6	内部管	管理事務・その	他	□ 2	一部委託 ☑ 4 裈	亅
		基本構想(政策)	2. 安全•安/	心のまちづくり			実施計画		事	巣の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施策)				_	1 該当	平月		<mark>子成 年 ☑ 期間</mark>	
		主要施策	(1)消費者	枚育・啓発の推進		•	2 非該当	根	拠法令等 権限移	襄(商工会法第44条第4]	項)
		対象(誰を、 何を)	費者∙消費者協	会(旧阿波·市場·土	成•吉野)						
	事業の 対象・目的	目的(どうい 最)う状態にし	終的市民の優	建全な暮らしや生活の	の向上、消費	者問題	意識の高揚及	び消費者	トラブルの防止を目的	とします。	
P		たいのか) 今:					肖費者トラブルの	の防止を目	的とする県の開催の	講演会の参加をし研修を	行います。
A				ハますか。(主なもの	か5つまで)						
N			D開催を支援し								
	事業の		美務の支援をし								
	活動内容)	料理講習を開	催します。							
		4									
		5		7.4.长.带	¥ / .		∓	左连	平片 00 左座		
		指標名		又は指標設定理由	単位	目標	平成 19		平成 20 年度	平成 21 年度 200	最終目標
	数値目標	安心安全料理講習 参加数	3会 情報を抗 者数をは	供する場への参加		実績		200 120	200		200
	(事業の目的 及び活動内	9711 XX	1 2 2 2 10	(<i>7</i> , 10)		天順 目標		120	117		
	容の達成度					実績					
	を測る指標)					目標					
						実績					
	予算費目	会 計		会計		7 一般	i Ž	項	1 消費者行政推進	事務 目 3会	
			平成	19 年度決算	平成	20	年度決算	平成	21 年度予算	備考	
		国庫支出金		0 千円			0 千円		0 f p	1	
		県 支 出 金		0 千円			0 千円		0 千円		
	直接事業費	地 方 債		0 千円			0 千円		0 千円	1	
D		その他特定財源		0 千円			0 千円		0 f P	⊣	
0		一般財源	l e	310 千円			294 千円		282 ∓₽	_	
		計(A)	0.400	310 千円	0.440		294 千円	0.100	282 FP	⊣	
	1 /4 弗 / 豆 >	正職員工数·経費	0.100 人	612 千円	0.110 人	<u> </u>	673 千円	0.100	人 628 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職種 臨時·嘱託工数·経費	0.000 1	0 7 5	0.000 1		0 7 111	0.000	0 ~=	1	
	全休車:	L協時·鴻武工剱·経貨 業費(A+B)	0.000 人	0 千円 922 千円	0.000 人	<u> </u>	0 千円 967 千円	0.000	人 0 千P 910 千P		
	土 件 尹 :	不良(八十日)		322 干円			707 干円		310 TP	'	

			チェック項目		— ;	欠評価	一次評価の説明	二次	評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	大きい	地場産業の発展を図り、また 振り込み詐欺・多重債務の防	○ 少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	ある	止等の講演会に参加し、相談	○ ない	ある
	性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	○ ない	に応じるためには必要です。	ある	○ ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	● いない		ાગ્ઢ	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえない	○ いえる	安心・安全な食べ物の消費拡 大には不可欠です。	○ いえない	● いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえない	○ いえる	CALCIA TABLE CA .	○ いえない	● いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない		する	● しない
CHECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できない	● できる		○ できない	● できる
K		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標にと	比べて劣っている	地産地消のPR不足です。	○ 目標に比/	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	•	あまり上	がっていない		● あまり上が	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	0 :	概ね達用	 或している		○ 概ね達成	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。			成している		○ 十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当	消費者団体の育成をする事	○高い	● 適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	•	できる	○ できない	により地域の消費拡大にも期 待できます。	● できる	○ できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	○ ない]	ある	○ ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	● ない		ある	○ ない
			一次評価		T		二次評価		
	評値	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合部 3 4 2 3 B	価		必要性 3	i i	生 総	合評価
	今往	多の	3	托等	C			美 ○ 民間	_ <u>B</u>]委託等
A		句性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止)縮小 〇	統合/終期設定 ○ 廃止/休	止	
C			消費者協会の認知度が低いため、PRにより市民に伝えます。しかし、そ	- O E i	<u> </u>	二次	(評価での指摘事項及び一次評	価との相違点	į
ACT-O	当门 課	面の問題	多重債務等の相談をするにあたり消費者協会の方に知られると困るとし リットが発生します。	ハうディ	`	行計画に外っ	て進めてください。		
N	إع	革案 実行 ·画	消費者によるトラブルの防止と適切な対応のため、県消費生活情報セン 係機関との連携を図ります。また、食の安全においては、地域資源の指 増やし、消費者に安心・安全な食品を提供することです。		等関		C.E.G. C.V.C.G.		
		員会 第事項							

	No. 22 —	31 基本事務事	業名 商	工振興事	务	事務事	業名工業	集団地管理第	業務		公的関与	6 シ	一卜作成日	3 平成21:	年6月10日
	部局名	卢		:部	課名	商工観:	光課	主務課長	長名	高	橋弘一	シー	−ト作成者	名 岩	佐賢二
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務事			金•負担金•〕		車業温	営方法	1 直		✓ 3 €	全部委託
	尹未匹刀	○ 2 ハード			4 施設の維持管		6 内部	管理事務・そ		尹未足	各刀広		-部委託		補助等
		基本構想(政	(策) 5.	産業が発	展するまちづくり			実施計画				事業	の開始・絲	冬了	
	総合計画	基本計画(施						1 該当		平成				年 🗸 期間	間設定なし
		主要施策	(3))企業誘致	女の推進		0	2 非該当		根拠	法令等	阿波市工	場設置奨励	动条例	
		対象(誰を、 何を)	西長峰二	C業団地及	び土成工業団地										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	工業団地	の適正な維持管理	埋を行うこと	こにより、ほ	団地の環境保	全を図	切ります。					
P L		たいのか)	今年度												
A		具体的にどの	りようなえ	舌動を行し	ヽますか。(主なも	の5つま	で)								
N		① 西長峰工	業団地及	及び土成工	業団地の除草作業	業									
	事業の	② 西長峰工	業団地流	巡回監視											
	活動内容	3													
		4													
		⑤													
		指標名	各	計算式又	スは指標設定理由	単位		平成 1			平成 20		平成		最終目標
	数値目標	除草面積			を管理していくた	m²	目標			5000		85000		85000	85000
	(事業の目的	177 H. D.		め			実績		85	5000		85000			
	及び活動内						目標								
	容の達成度 を測る指標)						実績								
	C X1 0 16 18 /						目標								
	予算費目	会 計		67.	ᄉᆗ	± <i>b</i>	実績	一串		4	女 一 弗				地 英田 弗
	了 异复日	会 計	l vi		会計 9 年度 決 算	款 平成	7 商 20	└負 年度決算	- I 37/		商工費 21 年	度予算	目	4 工業団 備考	心官理負
		国庫支出		- 192、 I	9 千及 <u>次</u> 异 0 千P		20	1	_	- 13X A	<u> </u>	文 J[′] 并 0 千円			
		県支出	金		1,745 f P			1,711 🛨			3 (002 千円			
		地方	<u></u>		1,743 TT 0 千P			0 f l			5,0	0 千円			
D	直接事業費	その他特定			12 f p			0 +1				0 千円			
O		一般財	源		920 ∓₽			602 ∓			1 7	748 千円			
		計(A)	*****		2,677 千P	_		2,313 千I	_			7 <mark>50</mark> 千円			
		正職員工数:	経費 0	.100 人	612 ∓P		人	673 ∓I		.110 人		91 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		/ \			7 7		3.						
		臨時·嘱託工数·		.000 人	0 ∓P	9 0.000	人	0 ∓।	円 0.	.000 人		0 千円			
	全体事	業費(A+B)			3.289 ∓₽	_		2.986 ∓I			5.4	41 千円	1		

				チュ	ック項目					_	次評個	<u> </u>		_	-次評価(の説	明		二次	:評価	<u> </u>
		1.		なくても、公 ^ュ 事業を廃止					0	少ない	0	大きい	1	工業団地 整池等を	也(未分譲 良好な状	地)・r 態に	市道・調 保つため	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政権	犬況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	思められない。	0	ない	0	ある		管理が必	必要です。			0	ない	0	ある
	性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手段	、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない						0	ある	0	ない
		4.		の低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	, てニーズを	0	いる	•	いない						0	いる	0	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	が必	ずしも適切とに	まいえない 。	0	いえない	۰,۱	いえる			也(未分譲 良好な状			0	いえない	0	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	シネリ化など、カ	施策への貢献	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなり	', O	いえる		により、	事故を防ぐ			•	いえない	0	いえる
CH	性	3.	市が実施する	る施策の中で舞	頁似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	0	しない		す。				0	する	0	しない
Ε		4.	事業の継続る	をしても成果の	の向上が期	待で	ごきない 。		0	できなし	,	できる						0	できない	0	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて劣	らっている			(未分譲地 及び土砂の			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果があ	あまり上が	うて	いないと思う	j .	0	あまり上	がってい	ない		緑地帯の	除草を年4 工業団地内	回実的	をしていま	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	票を達成し	てじ	いると思う。		0	概ね達	成してい	·る		務を月6回	回実施しては	39.E		•	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対	対して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		0	十分達	成してい	งอ		態に保た	れています	0		0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高い	N _o				0	高い	•	適当			工業団地管 し札を実施			0	高い	0	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウヤ	か新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できな	l1	落札され	ています。	また	緑地帯	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係で	で、実施手	段等	Fを見直す余 ^均	也がある。	0	ある	0	ない			こついても るため、こ			0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	的方法の変更な	ょどにより	コス	く ト削減の余地	也がある。	0	ある	0	ない		減は難し	い状況で	す。		0	ある	0	ない
					— <u>;</u>	次評	価								Ξ	次評	価				
	評値	西点	必要性 4	有効性	達成原	支	効率性	総合評	[価		必要4	性	有	<u> </u>	達成	芰	効率性	生	総	合評	価
	今後	を の	4 ○ 拡大·充	│ 3 Ē実 ┃ <mark>●</mark> 現丬	<u>│ 3</u> 犬維持 ┃		<u> 4 </u> 方法改善	A ○ 民間委託	托等			L 大•充孚	ŧ I	3 ● 現物	<u> 3 </u> 犬維持		<u> 4 </u> 方法改善	<u></u> 長		A 引委記	 托等
A		句性	○ 縮小	○ 統合/終			廃止/休止)縮/				期設定		廃止/休				
C												=	次	評価での	り指摘事項	頁及(ゾー次評	価と	の相違点	Ī.	
TIO		面の !題	不法投棄の『	方止。							14I -	=1-:N	·	# 4 / 1	٠ بـــــــ						
N	と多	革案 実行 ·画	不法投棄看材 を図ります。	反の設置及び隙	幸作業の	回数	を増やすことに	こより、不法投	棄の『		:1丁訂世	凹に沿つ) (<u>;</u>	進めてくた	c						
		員会 事項																			

	No. 22 —	32 基本事務事	業名工	美団地誘 致	改事務	事務事	業名工	業団地誘致事		公的関	与 7 シ	/一ト作成日	平成21年	年6月10日
	部局名	產	E業建設 [.]	部	課名	商工観	光課	主務課長	名	高橋弘一	シー	−ト作成者名		寸百合子
	事業区分	① 1 ソフト를	事業	0	3 経常的事務事	第 〇	5 補助	金•負担金•支	援	美運営方法	. 🗸 1 ّ [3 全	≧部委託
	尹未匹刀	○ 2 ハード			4 施設の維持管		6 内部	管理事務・その	D他 ^{丁才}	建名刀心	2 -	−部委託		亅
					展するまちづくり			実施計画				┊の開始・終⁻		
	総合計画	基本計画(施		工業の振	長興			1 該当	平原	式 17 <mark>左</mark>	₣~ 平	·成 年	☑ 期間	設定なし
		主要施策	(3)	企業誘致	め推進		O	2 非該当	根	拠法令等	権限移譲	(商工会法第	44条第4	項)
		対象(誰を、 何を)	工業団地	也用地取得	者									
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	企業等の	早急な誘致による	5工業団地	の完売を	図ります。						
PLAN		たいのか)	今年度											
A					ヽますか。(主なŦ		で)							
N					して周知を図りま	す。								
	事業の	② 企業誘致												
	活動内容	③ 工業団地	!の環境係	R全を図り	ます。									
		4												
		5												
		指標名	<u> </u>	計算式又	ては指標設定理6	自 単位		平成 19		平成 2		平成 21		最終目標
	数値目標	西長峰工業団	地	完売数		区画	目標		3		3		3	3
	(事業の目的						実績		0		0			
	及び活動内 容の達成度						目標							
	を測る指標)						実績 目標							
							実績					_		
	予算費目	会 計			수計	款	7 一	】 投	項	1 工業団	也管理·誘致	事務 日 4	 工業団t	也誘致事務
	7 97 24	A 111	平		9 年度決算	平成	20	年度決算	平成		年度予算	733 1 7	備考	
		国庫支出			0 T F			0 千円	1 774		0 千円		1713 3	
		県 支 出			0 f F			0 千円			0 千円	4		
	+ ++ + * # #	地方	債		0 f F			0 千円			0 千円	_		
DO	直接事業費	その他特定則			0 f F	9		0 千円			0 千円	1		
0		一 般 財	源		0 f F	9		0 千円			0 千円	1		
		計(A)			0 千F	ŋ		0 千円			0 千円	1		
		正職員工数:	経費 0.	100 人	612 千F	፵ 0.110	人	673 千円	0.100	V.	628 千円	1		
	人件費(B)	臨時·嘱託職												
		臨時·嘱託工数·	経費 0.	000 人	0 千F		人	0 千円	0.000 ,	人	0 千円			
	全体事業	業費(A+B)			612 千F	9		673 千円			628 千円			

					ック項目					_	次評	価		_	-次評価(の説	明		二次	評価	5
		1.	市が実施しなく主体があり、事						0	少ない	•	大きい	١	致が必要	E化を図る であり、I	工業区		0	少ない	0	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況	の中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	!められない。	0	ない	•	ある		境保全が	「必要です	0		0	ない	0	ある
	性	3.	住民満足度の向上	のために、	現在の手具	没、ブ	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	С	ない						0	ある	0	ない
		4.	住民ニーズの低 上回るサービス			隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いない	١					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実現	!するために	、事業内容	容が必	ひずしも適切と	はいえない。	0	いえな	,	いえる)	県と連携地の良好	し、誘致化な状態を			0	いえない	0	いえる
	有	2.	事業内容のマンネ	リ化など、カ	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	۱۷ <u>(</u>	いえる)	故·災害(0	いえない	0	いえる
C	効性	3.	市が実施する施	策の中で類	類似・重複	した	:事務事業が存	在する。	0	する	•	しない	١					0	する	0	しない
CHECK		4.	事業の継続をし	ても成果の	向上が期	待で	きない。		0	できなり	۰, (e	できる	1					0	できない	0	できる
K		1.	目標設定に対し	て進捗状況	記が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて	劣っている	3	西長峰団と低いが			48.8% 草作業な	0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対し	て成果があ	まり上が	って	いないと思う	0	0	あまり上	がって	いない		ど充分に	環境は保			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対し	て概ね目標	髪を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成して	いる		す。				0	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対し	て十分に目	標を達成	して	いると思う。		0	十分達	成して	いる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べてコ	ストが高い	١,				0	高い	•	適当			い100% 効果をあり		用を図る	0	高い	0	適当
	効	2.	他の実施主体の	ノウハウギ	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	С	できな	ili	峰工業団	加えるの	価格	を下げま	0	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員と成	果の関係で	、実施手	段等	を見直す余地	!がある。	0	ある	•	ない		した。				0	ある	0	ない
		4.	電子化や契約方法	法の変更な	こどにより	コス	ト削減の余地	がある。	0	ある	С	ない]				0	ある	0	ない
						次評	•									.次評					
	評値	西点	必要性 3	有効性	達成原		効率性	総合評	[価		<u>必要</u>		1	対性	達成/	度	効率	生	総	合評	価
	今後	 发の		4 ┃ ○ 現状	 2 	0	2 方法改善	B ○ 民間委詞	托等			 大·充》	 実	4 ○ 現状	<u> ∠ </u>	0	<u></u> 方法改善	<u> </u>		B 引委記	 £等
Δ		句性	○ 縮小 ○				廃止/休止		=)縮		O	統合/終		Ŏ	廃止/休		0 141		
C												=	二次	評価での)指摘事]	項及(ゾー次評	価と	の相違点	į	
ACTIO		面の	企業誘致の促進	と工業団地	の不法投	棄の	防止です。														
N		革案	県営工業団地の	販売価格な	エげたの	~		ページケでも	` +: Z		と連打	隽し情報	强収:	集を図り、	企業誘致	の促	進に努め	てくた	ごさい 。		
		定行 ·画	宗宮工業団地の をします。	双ル川山竹で	1177207	C \ 12	△兆応、ハーム	· ・ ノ守 () c !	J'4'@	ייי דל											
	委員指摘	員会 i事項																			

	No. 22 —	33 基本事務事	業名 道(の駅管理	事務	事務事	業名道	の駅維持管	理事	務	公的関与	6 シ	一卜作成日	平成21:	年6月10日
	部局名	卢	E 業建設	部	課名	商工観	光課	主務課	長名	Ę	「橋弘一	シー	−ト作成者		意兼 徹
	事業区分	○ 1 ソフト	事業		3 経常的事務署			金•負担金•		_ + + -	軍営方法		営	3 4	全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持領		6 内部	管理事務•-			5名刀仏		-部委託		甫助等
					展するまちづく	·J		実施計画	亘				の開始・総		
	総合計画	基本計画(施)観光の排				1 該当		平成		~ 平	成	年 🕗 期間	間設定なし
		主要施策	(1)	観光•交流換	型点の整備充実、ネ <u>、</u>	ットワーク化の	の推進 🌘	2 非該当		根拠	法令等				
		対象(誰を、 何を)	道路利用	用者·市民											
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	道路利用	者や市民などの	利便性の向	上及び道	値の駅としての	の情報	提供の充	実				
PL		たいのか)	今年度												
A		具体的にどの	りようなジ	活動を行し	ヽますか。(主な・	もの5つま	で)								
N		① 道の駅「る	どなり」駐	車場∙公衆	トイレの維持管理	1.清掃業剤	多及び周辺	型樹木等の剪	定作	業					
	事業の	② 情報提供	機器の拡	広充											
	活動内容	3													
		4													
		⑤													
		指標名	名	計算式又	スは指標設定理的	由単位		平成	19 年	度	平成 20	年度	平成	21 年度	最終目標
	数値目標	駐車場及びト	イレの利		しいため道の駅	来	目標					25000		25000	25000
	(事業の目的	用者数		館者数と	同じ		実績		2	21460		23218			
	及び活動内						目標								
	容の達成度 を測る指標)						実績								
	で活の1月1年/						目標								
	7 体 带 口	A = 11		60	A = 1	+1.	実績	- #			女一帯			- D¥ o ED/	% TIII #₽
	予算費目	会 計	1 7		会計	款			- 1 -	項 1	1-3-20	立マ広	目	5 道の駅	官埋質
				F成 1	9 年度決算		20	年度決算		平成	21 年	度予算		備考	
		国庫支出県支出			0 +			0.400 =			0.0	0 千円			
		県 支 出 地 方	<u>金</u> 債		2,400 +			2,400 =	-円		Ζ,2	200 千円 0 千円			
D	直接事業費	その他特定			147 千				-円			0 千円			
0		一般財	源源		3,879 千	_			-円		1 5	545 千円			
		計(A)	//示		6,426 1				-円			745 千円 745 千円			
		正職員工数:	経費 0).800 人	4,895 1		人	<u> </u>		0.800 人		27 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		,.000 X	7,000	0.000	<u> </u>	4,000		0.000	0,0	111			
		臨時·嘱託工数·		.000 人	0 千	円 0.000	人	0 =	-円 (0.000 人		0 千円			
	全体事	業費(A+B)			11.321 ∓				·円	2.000 /	8.7	772 千円			

			チェック項目		— <u>}</u>	欠評価		一次評価	の説	明	_	次評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	大きい	地域	利用者や阿河 の活性化を(足進し	観光等の	○ 少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	ある		として設置し や設置してあ			○ ない	ある
	女性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	○ ない		で設直してあ			ある	○ ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	いない	なら	ないと考えま	す。		○ いる	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえない	● いえる		駅としての機 ています。	能は-	├分達成	○ いえな	い ● いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえない	● いえる		20 04 7 0			○ いえな	い の いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない					○ する	● しない
X O M I O		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できない	● できる					○ できな	い ● できる
K		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標に比	とべて劣っている		駅としての機 むね達成でき			○ 目標に	比べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上っ	がっていない	れま	す。今後正確	な利用	用者を調	○ あまり_	上がっていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	0	概ね達原	大している	一 す。	ていく必要が	あると	思いま	● 概ね道	成している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。								〇 十分這	重成している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当		の委託契約 <i>の</i> よあまり評価			○高い	● 適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	○ できな			C C 10	0 C/B(1)	● できる	○ できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	● ない					🔾 ಹಕ	ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	○ ない					ある	○ ない
			一次評価					=	二次評	価		_
	評値	五点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	価		必要性	有効性			効率	生	総合評価
	<u>ا</u>	を の	3 4 3 2 B C C C C C C C C C	千笙	C		4	<u>3</u> 現状維持		<u>2</u> 方法改氰	<u> </u>	<u> B </u> 民間委託等
Α		句性			Č			/終期設定		廃止/休		WIFI STO V
A C T						<u>-</u>	次評価	での指摘事	項及0	ゾー次評	価との相違	皇点
Ţ		面の題	施設及び設備が老朽化しているため、今後県と協議しなければいけない す。	と考え	えま							
0	卟	, KEE	, ,			定答理者と調	重堆Ⅰ 対	率的な管理	雷ヴィ	タムナノナ	ジオハ	
Ň		草案 毞行	老朽箇所を点検し必要がある箇所については、県との協議で修繕します		110	CEZECE	=1350, 3/		坐台 10	.53 67 6 47		
		·画										
		員会 事項										

	No. 22 —	34 基本事務事	業名 道 0	D駅管理事	事務	事務事業	美名 土成	地域資源活力工	房指定管理	業務公的	関与 6 シ	一卜作成日	平成21年	F6月10日
	部局名		業建設		課名	商工観光		主務課長		高橋弘		−ト作成者名		兼徹
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務事			金•負担金•支		業運営方	. 注			部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理 🔘	6 内部	管理事務・その	の他 ^ザ	未连占刀	✓ 2 –	-部委託		助等
					展するまちづくり			実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施						1 該当		·成 19		成 21 年		設定なし
		主要施策	(2)	新たな観	光・交流の場の倉	川出	O	2 非該当	木	見拠法令等	弄 土成地域	資源活力工房	設置管理	条例
		対象(誰を、 何を)	道の駅「。	どなり」内に	こある土成地域資源	活力工房	(餐の館	')						
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	道路利用	者∙観光客∙地域住	民などの	利便性の	向上及び市内	観光等の	拠点とした	地域の活性化	•		
PL		たいのか)	今年度											
AN					きすか。(主なも									
N		\circ	なり」内	にある土成	地域資源活力工房	受の館)	の管理道	重営業務						
	事業の	2												
	活動内容	3												
		4												
		5		I = 1 tele 12									<i></i>	
		指標名	1	計算式又	は指標設定理由	単位		平成 19	年度	半成	20 年度	平成 21		最終目標
	数値目標	来館者数		調査及び	報告	人	目標		01.100		25000		25000	25000
	(事業の目的						実績		21460		23218			
	及び活動内 容の達成度						目標 実績							
	を測る指標)						 目標							
						-								
	予算費目	会 計		一般:	수計	款	7 商	 Г	項	1 商工	· 費	目 5	道の駅管	5 理 書
	7 77 74 1	A 11	<u> </u>	成 19		平成	20	- 人 年度決算	平成	21	年度予算	, ii	備考	
		国庫支出			0 千円			0 千円	_		0 千円		1111	
		県支出	金		0 千円			0 千円			0 千円			
	+ ++ + ** #	地方	債		0 千円			0 千円			0 千円			
D	直接事業費	その他特定則	才源		0 千円			0 千円			0 千円			
0		一 般 財	源		1,800 千円			1,800 千円			1,800 千円			
		計(A)			1,800 千円			1,800 千円			1,800 千円			
		正職員工数·約	圣費 0.	200 人	1,224 千円	0.200	人	1,224 千円	0.200	人	1,257 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職	種											
		臨時·嘱託工数·編	経費 0.	000 人	0 千円	0.000	人	0 千円		人	0 千円			
	全体事	業費(A+B)			3,024 千円			3,024 千円			3,057 千円			

				チェ	ック項目					_	次評個	<u> </u>	-	-次評価(の説	明		二次	評価	
		1.	市が実施しな主体があり、				確保できる等 響は大きくな		0	少ない	•	大きい		者や、人			0	少ない	• ;	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	状況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	忍められない。	0	ない	0	ある	点として	設置してし	ます	0	0	ない	• 7	ある
	性	3.	住民満足度の向	月上のために、	現在の手段	、方	法等の改善の急	余地がある。	0	ある	0	ない					0	ある	• 1	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			隣自	治体と比較し	ンてニーズを 	0	いる	•	いない					0	いる	Ο (いない
		1.	施策の目的を実	≅現するために	、事業内容	が必	ずしも適切とに	まいえない 。	0	いえない	۰,۱	いえる		可の地域道 原活力工房			0	いえない	Ο (ハえる
	有効	2.	事業内容のマン	ネリ化など、カ	施策への貢献	状度か	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなり	γ <u>Ο</u>	いえる	定管理者			営が必要	0	いえない	• ı	ハえる
CH	性	3.	市が実施する	施策の中で舞	頃似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	0	しない	です。				0	する	Ο Ι	しない
E		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期	待で	きない。		0	できなり	۰٬ (できる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	けして進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて劣	らっている		■者制度に 繋がりま			0	目標に比	べて劣っ	ている
	達	2.	目標設定に対	して成果があ	あまり上が	って	いないと思う	5 。	0	あまり上	がってい	ない		マ増加し			0	あまり上が	っていな	い
	成度	3.	目標設定に対	けして概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成してい	る					0	概ね達成	している	
		4.	目標設定に対	けして十分に目	目標を達成	して	いると思う。		0	十分達	成してい	る					0	十分達成	している	
		1.	効果に比べて	コストが高い	,\ _o				0	高い	•	適当		型者制度に 繋がりま			0	高い	O ;	適当
	効率	2.	他の実施主体	のノウハウ	や新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できない		々増加し			•	できる	0 -	できない
	性	3.	予算・人員と	:成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余り	也がある。	0	ある	0	ない					0	ある	O 1	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	ょどにより	コス	ト削減の余地	也がある。	0	ある	0	ない					0	ある	O 1	ない
						欠評								=	次評					
	評値	五点	必要性 4	有効性	達成度	Ŧ	効率性	総合評	[価		必要	性	<u>有効性</u> 4	達成	芰	効率性	生	総	合評信	五
	今後	を の			<u>│ 3</u> 犬維持 ┃		<u>3</u> 方法改善	A ○ 民間委詞	托等			<u> </u>	<u> </u>	<u> 3 </u> 犬維持		<u> 3 </u> 方法改善	<u></u>		_ <u>A</u> 『委託	<u></u>
A		句性		○ 統合/終			廃止/休止)縮/		11 4 11			廃止/休				
C												二	欠評価での)指摘事]	頁及7	ゾー次評	価と	の相違点	į	
TIO			ギャラリースペ を行っていきた			産業	を の活性化にな	るような催し物	物や展		. 一	日本しま	#1 *******	5.4×5年 131 13	= 半1-	ついてヤヤ	ムー	/+°+1\		
N	اع	草案 実行 画	地元のケーブ	ルテレビやHP	を活用し周	知宣	【伝も行いたい	と思います。		16	上官店	€日 € 建货	携し、効率的	いら 日 住児		. ンいて労	م) د ۱	\/Z&\\\ ₀		
		員会 事項																		

	No. 22 —	35 基本事務事業	名道の	駅管理事	事務	事務事業	集名 土成	地域資源活力工原	房維持管理	業務 公的関与	96 シ	一卜作成日	平成21年	丰6月10日
	部局名		美建設部	-	課名	商工観光		主務課長		高橋弘一		−ト作成者名		兼徹
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務事			金•負担金•支		業運営方法	✓ 1 値			全部委託
	争未区力	○ 2 ハード事			4 施設の維持管	理 🔘	6 内部	管理事務・その)他	未连占刀仏		-部委託	4 補	助等
					展するまちづくり			実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策						1 該当	平					設定なし
		主要施策	(2)	新たな観	光・交流の場の倉	川出	<u> </u>	2 非該当	根	拠法令等	土成地域	資源活力工房	設置管理	条例
		対象(誰を、 何を)	の駅「と	ごなり」内に	こある土成地域資源	活力工房	受の館	;)						
	事業の 対象・目的	目的(どうい 最 う状態にし ―	是終的	運営開始	時と同じ状態を維持	持								
P		たいのか)	7年度											
A					きすか。(主なも									
IV.			より」内に	こある土成	地域資源活力工房	民(餐の館)	の維持領	管理業務						
	事業の	2												
	活動内容	3												
		4												
		⑤		三体子口	7.4.比插乳中田市	兴止		T T + 10	左曲	T. C. 00	、左曲	표 라 어	左曲	目幼口+雨
		指標名		訂昇	は指標設定理由	単位	目標	平成 19	午度	平成 20) 年度	平成 21	午及	最終目標
	数値目標			指標の設	定になじまない	-	実績							
	(事業の目的 及び活動内						目標							
	容の達成度						実績							
	を測る指標)						目標							
						}	実績							
	予算費目	会 計		一般:	会計	款	7 商		項	1 商工費		目 5	道の駅管	三 理費
			平	成 19	9 年度決算	平成	20	年度決算	平成	21 £	F度予算		備考	
		国庫支出金	金		0 千円			0 千円			0 千円			
		県 支 出 🕏	金		0 千円			0 千円			0 千円			
	直接事業費		責		0 千円			0 千円			0 千円			
D	旦按爭未良	その他特定財活			0 千円			0 千円			150 千円			
0			源		1,155 千円			733 千円			752 千円			
		計(A)			1,155 千円			733 千円			902 千円			
		正職員工数·経		00 人	612 千円	0.100	人	612 千円	0.100	人	628 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職種												
		臨時·嘱託工数·経	費 0.0	000 人	0 千円	0.000	人	0 千円	0.000		0 千円			
	全体事	業費(A+B)			1,767 千円			1,345 千円		1	.530 千円			

			ギー…ク項目		*/	7 = 1 / 工	次記年の 説明	— <i>\</i>	=亚/ 正
			チェック項目		<u> </u>	文評価	一次評価の説明	二次	. 計11四
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0 :	少ない	大きい	道路利用者や、人と産業、 地域の活性化を促進し、観	○ 少ない	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	O 7	ない	ある	光等の拠点施設としての維	○ ない	ある
	性		住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0 ;	ある	● ない	持を行います。		● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	いない		○ <i>い</i> る	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえない	● いえる	道の駅内の地域振興施設(土成地域資源活力工房)として	○ いえない	● いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0 1	いえない	● いえる	の機能を十分に発揮していま	○ いえない	● いえる
CH	性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	O .	する	● しない	す。	する	● しない
Ε		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0 .	できない	● できる		○ できない	● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0 1	目標に比	べて劣っている	現状維持ができていると思います。	○ 目標に比/	べて劣っている
	達成	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	O a	あまり上た	がっていない	よ り。	○ あまり上が-	っていない
	度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● ‡	既ね達成			● 概ね達成し	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	O -	十分達成	 		○ 十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	O i	高い	● 適当	施設が年々老朽化しているた め修繕箇所が増えてきていま		● 適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	•	できる	○ できない	す。	● できる	○ できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0 7	ある	● ない		<u></u>	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0 7	ある	● ない			● ない
			一次評価				二次評価		
	=± <i>l</i> :	= =	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	<u>·</u> 価		必要性 7	自効性 達成度 効率	性 総	合評価
	6	西点	4 4 3 3 A			4	4 3 3		Α
	今征	後の	┃○ 拡大·充実 ┃◎ 現状維持 ┃○ 方法改善 ○ 民間委詞	托等	0	拡大•充実	┃◉ 現状維持 ┃○ 方法改善	善]委託等
A	方向	句性	│○ 縮小 │○ 統合/終期設定 │○ 廃止/休止 │		0		統合/終期設定 ○ 廃止/休		
C						二次	評価での指摘事項及び一次評	価との相違点	į
Ť	当市	面の	TB-LL の 4% 45 ナ 46 + ナ マ ナ ス トラノー 27 14 ナ ナ						
i	課	題	現状の機能を維持できるように努めます。						
0						(T-1 - T) - 7 -	一、4 4 一 / 4、上 、		
N	改造	革案			美	付計画にそつ	て進めてください。		
			現状の機能を維持できるように努めます。						
		·画							
	委員	員会							
		事項							

	No. 22 -	36 基本事務事業名	温泉セング	ター事	務	事務事業	業名 土村	主休養村温泉:	管理業務	公的関与	7 シ	ート作成日	平成21年	∓6月10日
	部局名		建設部		課名	商工観光		主務課長		高橋弘一		- 卜作成者名		田勝
	事業区分	○ 1 ソフト事業			経常的事務事			金·負担金·支		· 美運営方法		営		È部委託
	争未匹力	○ 2 ハード事	-17		施設の維持管理	理	6 内部	営理事務・そ ₫	D他 Table Table Ta	建口刀仏		-部委託		助等
		基本構想(政策			するまちづくり			実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策			1 5.1.1.50.11 5		0	1 該当	平月		~ 平			設定なし
		主要施策	(6)農林	集と連打	携した観光の展	長開	<u> </u>	2 非該当	根	処法令等	阿波市土柱休養村	管理センター及び阿波市土	<u>-</u> 柱休養村温泉の設	置及び管理に関する条例
		対象(誰を、 何を) 市[为外住民 ————————————————————————————————————											
	事業の 対象・目的	目的(どうい <mark>最</mark> う状態にし	終的 施設の	の管理道	運営をすることに	より、利月	用者の利何	更性を図ります。	0					
P L			年度											
ΑZ		具体的にどのよ	うな活動を	行いま	すか。(主なもの	の5つま ⁻	で)							
Ν		公衆浴場に	関する業務											
	事業の	土柱休養村(の総合案内第	養務										
	活動内容													
		指標名	計算	式又は	指標設定理由	単位		平成 19	年度	平成 20		平成 21		最終目標
	数値目標	入浴者	調査			人	目標		50101		60000		60000	60000
	(事業の目的						実績		59194		54745			
	及び活動内 容の達成度						目標 実績							
	を測る指標)						目標							
	,						実績							
	予算費目	会計		-般会詞	<u>:</u>	款	7 商	 「費	項	1 商工費		目 6	温泉セン	<u>/</u> /ター費
		-, -,	平成	19	年度決算	平成	20	年度決算	平成		度予算		備考	
		国庫支出金	Ž		0 千円			0 千円			0 千円			
		県支出金			0 千円			0 千円			0 千円			
	直接事業費	地 方 信			0 千円			0 千円			0 千円			
D	且汉尹未貝	その他特定財源			0 千円			0 千円			0 千円			
0		一般財源	Į.		6,958 千円			6,991 千円			,470 千円			
		計(A)	0.000		6,958 千円	0.000		6,991 千円	0.000	7	,470 千円			
		正職員工数・経費		۸	0 千円	0.000	人	0 千円	0.000	۸	0 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職種 臨時·嘱託工数·経費		1	0	0.000	1	0	0.000	1	0 Tm			
	全 体重等	<u>斷时・嘱託工数・経算</u> 業費(A+B)	0.000	۷	0 千円 6,958 千円	0.000	<u> </u>	0 千円 6,991 千円	0.000 ,	7	0 千円 .470 千円			
	エルザき	木具(ハ・ロ)			0,000 1 1			0,001 1 1		- 1	, TIU I []			

				チェ	ック項目					一次	評価		_	·次評価(の説ほ	仴		二次	評価	
		1 .		くても、公平 事業を廃止・					〇 少な	î۱۱	● 大き	l1	現在、憩り				0	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政状	状況の中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	3められない。	● ない	١	೦ ಹತ		者が訪れ 福祉の増				•	ない	0	ある
	女性	3 .	住民満足度の向	句上のために、:	現在の手段	と、方	法等の改善の急	除地がある。	🔾 ಹಕ		ない		す。	進にで1又	<u>17</u>) (יוב	0	ある	•	ない
		4 .		O低下がみられ ごスとなってい		隣自	治体と比較し	てニーズを	O 113	1	● いな	L1					0	เาอ	•	いない
		1 .	施策の目的を第	実現するために、	、事業内容	が必っ	ずしも適切とは	はいえない。	○ Nえ	ない	● いえ	გ	市内に類市の行政				0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	/ネリ化など、旅	施策への貢献	献度が	著しく高いと	はいえない。	● いえ	ない	いえ	3	管理者に	よる運営			•	いえない	0	いえる
С	姓	3 .	市が実施する	る施策の中で類	類似・重複	した	事務事業が存	在する。	する		○ しな	l I	と考えます	9 。			•	する	0	しない
HE		4 .	事業の継続を	としても成果の	向上が期	待で	きない。		○ でき	ない	● でき	გ					0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に対	付して進捗状況	ぴ劣って	いる	と思う。		〇 目標	に比べ	べて劣ってい	13	指定管理 入前に比				0	目標に比り	て劣	っている
	達成	2 .	目標設定に対	付して成果があ	まり上が	って	いないと思う),	あま	り上が:	ていない		繋がりまし	した。しか	し、類	似施設	•	あまり上が	ってい	ない
	度	3 .	目標設定に対	付して概ね目標	悪を達成し	てい	ると思う。		〇 概ね	達成し	ている		の参入な 収入が減				0	概ね達成	ノてい	3
		4 .	目標設定に対	付して十分に目	標を達成	して	いると思う。		〇 十分)達成し	している						0	十分達成	してい	ర
		1 .	効果に比べて	コストが高い	١.				〇高	ı	● 適当	í	指定管理 入前に比				0	高い	•	適当
	効率	2 .	他の実施主体	‡のノウハウ ギ)新たな制	度を	活用できる。		○ でき	3	● でき	ない	繋がりまし		7.1021	JJ//-X/IC	0	できる	•	できない
	性	3 .	予算・人員と	に成果の関係で	ご、実施手	段等	を見直す余地	りがある。	೦ ಹತ		● ない						0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契約	的方法の変更な	こどにより	コス	ト削減の余地	りがある。	O ಹತ		ない						0	ある	•	ない
				_		次評									次評					
	評值	点面	必要性 3	有効性 2	達成度	复	効率性 4	総合評	価	必	S要性 3	7	有効性 2	達成E 2	甚	効率性	生	総	合評	価
	今後	きの			<u>2</u> 	O	 方法改善	民間委託	〔	\bigcirc	_ 3 拡大·充	実			•	 方法改割	통	○ 民間	委記	£等
Α		自性		○ 統合/終			廃止/休止			·	縮小	0	統合/終	期設定	0	廃止/休	止			
C			今後は、入浴料	4金の値上げなと	ごの検討が必	必要で	あると考えます	。また、当施設の	D老朽化			二次	(評価での	指摘事項	頁及で	ゾー次評	価との	の相違点	Ţ	
THO	当課	題	今後市の将来的 め存続させるの	箇所も増えてきて 的な行財政運営 [?] Dか、または廃止	を踏まえ、当 するのか方	á施設 針をご	の役割を検討し なてる必要があ	、投資をし施設 ると考えます。	価値を高			と連	携し、住民	€のニース	ズへの	の対応、抗	施設領	管理の効	率化	どに努め
N		では、	況にあります。し	争激化や施設の: しかし、指定管理の効果的かつ効薬	料を増やす	الاحا	は現状では困難	であるため、現在	生の指定	,,,	ごさい 。									
		員会 事項																		

# 京		No. 22 —	37 基本事務事	業名温男	泉センター	·事務	事務事	業名 金清	温泉活用セン	ノター管理			7 シ	一卜作成日	平成21年	年6月10日
学来区プ ② 1小下事業 ⑩ 4 施設の維持管理 ⑥ 6 内部管理事務・その他 学来連島力法 ② 2・那番社 ② 4 権助等 基本精想(股策)15、産業が発展するまちづくり 実施制園 事業の対象・目的 平成 20 年~ 平成 24 年		部局名	産	賃業建設				光課	主務課	長名	Ę	「橋弘一	シー	-卜作成者名		
2 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -		事業区分									車業沿	3 学方注				
総合計画 基本計画(施策) (4)観光の振興 ○ 1 該当 平成 20 年 ~ 平成 24 年 □ 期間設定なしま要施策 (6)農林業と連携した観光の展開 ○ 2 非該当 根拠法令等 阿凉布金湯自然窓境品用センター会園及び管理に寄する条 何を							理	6 内部			学术 员	主百刀瓜				助等
主要施策 (6) 農林業と連携した観光の展開 ② 2 非該当 根拠法令等 阿皮市金油自然海洋活用センター设置及び管電に関する条 対象(値を、							2 110 2									
対象・目的							U									
TPO TP				(6)	農林業と	:連携した観光の原	展開	<u> </u>	2 非該当		根拠	法令等	阿波市金清	自然環境活用セン	/ター設置及び	管理に関する条例
対象・目的		事業の 対象・目的		市内外住民												
大いのか 今年度				最終的	施設の管理運営をすることにより、利用者の利便性を図る。											
事業の 注																
事業の 注	A			具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
活動内容 3 飲食の提供。 4 線地、運動広場の管理。 5 5 5 5 5 5 5 5 5	N		0													
4 緑地、運動広場の管理。 1																
1																
指標名 計算式又は指標設定理由 単位			<u> </u>													
数値目標																
大冷者 調査		(事業の目的 及び活動内 容の達成度	指標名		計算式又は指標設定埋由		単位		半成	平成 19 年度 				半成 21		
及び活動内容の達成度を測る指標)			入浴者		調査				EE02		F000				60000	60000
Page Page										3;	5030		38202			
下の			宿泊者		調査				25		2576 2580					
大学費目 会計									237		2370	770 2000			-	
予算費目 会 計																
PR		予算費目	会計		一般	会計	款		 L費		項 1	商工費		目 6	温泉セン	ター費
直接事業費 県 支 出 金 0 千円 10,059 千円				<u> </u>	成 1	9 年度決算	平成	20	年度決算	算 平	成	21 年.	度予算		備考	
Lib 方 債 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 その他特定財源 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 一般財源 11,528 千円 9,900 千円 10,059 千円 10,059 千円 計(A) 11,528 千円 9,900 千円 10,059 千円 10,059 千円 上職員工数・経費 0.500 人 3,059 千円 0.500 人 3,059 千円 0.500 人 3,142 千円 協時・嘱託工数・経費 0.000 人 千円 0.000 人 0 千円 0.000 人 0 千円 0.000 人 0 千円		直接事業費	国庫支出	│ 金		0 千円			0 =	f円			0 千円			
D 目接事業質 その他特定財源 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 10,059 千円																
CO 他特定財源 0 千円 10,059 千円 10,0					I I											
(A) 11,528 千円 9,900 千円 10,059 千円 正職員工数·経費 0.500 人 3,059 千円 0.500 人 3,059 千円 0.500 人 3,142 千円 人件費(B) 臨時・嘱託職種 0.000 人 千円 0.000 人 0 千円 0.000 人 0 千円 0.000 人 0 千円																
上職員工数·経費 0.500 人 3,059 千円 0.500 人 3,059 千円 0.500 人 3,142 千円 人件費(B) 臨時·嘱託職種 0.000 人 千円 0.000 人 0 千円 0.000 人 0 千円 0.000 人 0 千円	O															
人件費(B) 臨時·嘱託職種 0.000 人 10 千円 0.000 人 10 千円 0.000 人 10 千円 10 千円						·					500 '					
臨時・嘱託工数・経費 0.000 人 0 千円 0.000 人 1 0 千円 0.000 人 1 0 千円		人件費(B)			人 000	3,059 千円	0.500	<u>۸</u>	3,059	rн 0.	人 000.	3,1	42 千円			
					000 1	0 111	0.000		0 -	rm 0	000 1		0 T III			
		全体事		平主县 U.	.000 人	14,587 千円		<u> </u>			.000 <u>/</u>	13.2				

	チェック項目				-次評価	一次評価の説明	二次評価				
	必要性	1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	、 ● 大きい	現在、憩いの場・癒しの場として 市内外から年間約55千人の入	○ 少ない	大きい			
		2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	ある	浴者が訪れています。また市民 の福祉の増進にも役立っていま	○ ない	ある			
		3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<u></u>	● ない	す。	🔾 ಹತ	● ない			
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	いる	● いない		いる	いない			
	有効性	1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえな	い のいえる	市内に類似施設がありますが、 市の行政財産(一部財団所有)	○ いえない	● いえる			
		2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえな	い のいえる	であり今後も指定管理者による	○ いえない	● いえる			
CH		3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない	運営が必要であると考えます。	○ する	● しない			
E		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できな	:い 💿 できる		○ できない	● できる			
CK	達成度	1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に	こ比べて劣っている	指定管理者制度導入により、導 入前に比べて、委託料の削減に	○ 目標に比べて劣っている				
		2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	● あまり。	上がっていない	繋がりました。しかし、類似施設	と ● あまり上がっていない				
		3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね道	達成している	の参入などで、宿泊客や宴会客 は減り、収入が減少している状	○ 概ね達成している				
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	〇 十分道	達成している	況です。	○ 十分達成している				
	効率性	1.	効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	指定管理者制度導入により、導 入前に比べて委託料の削減に繋	○ 高い	● 適当			
		2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	● できる	○ できない	がりました。	● できる	○ できない			
		3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<u></u>	● ない		೦ ಹತ	● ない			
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	ある	○ ない		ある	○ ない			
			一次評価		二次評価						
	評值	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合部 4 4 2 2 B	· 価	必要性 ⁷	有効性 達成度 効率 4 2 2	性	合評価 B			
	今往	を の		モ等	∴ 拡大·充実	● 現状維持 ○ 方法改善	善○民間				
A	方「	句性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止		○ 縮小 ○	統合/終期設定 ○ 廃止/休					
CT-O		面の !題	当面の課題として、類似施設の競争激化による宿泊売上や料理売上とし入の減少状況にあります、今後は、入浴料金や宿泊料金の値上げなどの必要であると考えます。	の検討が							
N	اع	革案 実行 ·画	類似施設の競争激化や施設の老朽化等により、指定管理者による施設の運営が難しいれす。しかし、指定管理料を増やすことは現状では困難でるため、現在の指定管理者に施設かつ効率的な運営を、一層高めていくことを求めていきたいと考えています。	況にありま	in a contract of the contract						
		員会 i事項									